

(受交政 8 - 1)

京阪三室戸駅前自転車等駐車場改修工事

図面番号	建築図面名称	図面番号	電気設備図面名称		
A - 0 0	表紙・図面リスト	E - 0 1	電気設備工事特記仕様書 - 1		
A - 0 1	建築改修工事特記仕様書 - 1	E - 0 2	電気設備工事特記仕様書 - 1		
A - 0 2	建築改修工事特記仕様書 - 2	E - 0 3	引込柱詳細図・照明姿図・仮設電気工事		
A - 0 3	建築改修工事特記仕様書 - 3	E - 0 4	改修前電灯 各階平面図		
A - 0 4	建築改修工事特記仕様書 - 4	E - 0 5	改修後電灯 各階平面図		
A - 0 5	建築改修工事特記仕様書 - 5	E - 0 6	管理人室平面図 (撤去図・改修図)		
A - 0 6	建築改修工事特記仕様書 - 6				
A - 0 7	建築改修工事特記仕様書 - 7				
A - 0 8	建築改修工事特記仕様書 - 8				
A - 0 9	建築改修工事特記仕様書 - 9				
A - 1 0	建築改修工事特記仕様書 - 1 0				
A - 1 1	建築改修工事特記仕様書 - 1 1				
A - 1 2	アスベスト対策工事仕様書				
A - 1 3	付近見取り図 仮設計画図 (改修図)				
A - 1 4	仕上表				
A - 1 5	1階平面図 天井伏図 (改修図)				
A - 1 6	2階梁伏図 2階平面図 (改修図)				
A - 1 7	スロープ部断面、西側立面図 (改修図)				
A - 1 8	南立面図・北立面図 (改修図)				
A - 1 9	1階駐輪場展開図 (改修図)				
A - 2 0	管理人室平面図 (撤去図・改修図)				
A - 2 1	管理人室展開図・天井伏せ図 (撤去図・改修図)				
A - 2 2	片流れ駐輪場 平面図・立面図 (撤去図 改修図)				

建築改修工事 特記仕様書

【1】 工事概要

1. 工事場所 宇治市 菟道谷下り 60番地の8ほか

2. 敷地面積 591.89 m²

3. 建築物概要

棟名	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備考
本体駐輪場ほか	鉄骨造 ほか	2階	334.77m ²	645.43m ²	執務並行改修 全館無人改修
					執務並行改修 全館無人改修
					執務並行改修 全館無人改修

4. その他

【2】 適用範囲

現場説明書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。すべての設計図書は相互に補充するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）をいう。（以下、これを「改修標仕」という。）本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「改修標仕」の適用を受けるものとする。

【3】 工事区分

設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】 工事仕様

- 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標仕」のほか別記の適用基準による。
- 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、印の付いたものを適用する。印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。印と 印の付いた場合は、共に適用する。印が抹消された場合は、印のみ適用する。
- 項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は「改修標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
1	適用基準等	公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 令和7年版（監修：国土交通省） 建築工事標準詳細図 令和4年改定（監修：国土交通省） 敷地調査共通仕様書 令和4年改定（監修：国土交通省） 建築構造設計基準、同資料 令和3年改定（監修：国土交通省） 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 令和7年版（監修：国土交通省） 公共建築木造工事標準仕様書 令和7年版（監修：国土交通省） 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和7年版（監修：国土交通省） 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） 令和7年版（監修：国土交通省） <small>（注：監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を示す）</small>
	建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」にある材料とする。また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとして行うことができる。（評価名簿によるもの） 床型枠用鋼製デッキプレート（ワタゲット）、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材（プレキャスト形、現場調合形）、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材（防水立上部）、陶磁器質タイル、既製調合モルタル（タイル工用）、既製調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材（タイル用）、アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類（シリング錠錠、レバー錠錠、シリング本錠り錠）、クローザー類（ドアクローザー、ピグクローザー、ドアピグ）、自動扉機構（制御装置・駆動装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置）、自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オートヘッドア、ガラス（フロートガラス、型板ガラス、網入板ガラス、線入板ガラス、熱線吸収ガラス、倍強度ガラス、熱線反射ガラス）、ガラスブロック（中空）、防水剤、現場発泡断熱材、ポリウレタン（3000N、5000N）、可動間仕切、移動間仕切（スライド）、トイレブス、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム（屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム）、トップライト、エポキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、鋳鉄製ふた（マンホールふた・弁拵ふた）

章	項目	特記事項																									
1	3 特別な材料の工法	設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。																									
	4 風圧力及び積雪に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速（Vo） 3.2 （平成12年5月31日建設告示第1454号） 地表面粗度区分 多雪地帯の指定 なし あり																									
	5 現場代理人	本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。																									
	6 工事工程報告	月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。 日報は監督職員の指示による。 週報は毎週（ ）曜日に提出する。																									
	7 工事実績情報の登録（1.1.4）	適用する（適用事項は、現場説明書による）																									
	8 設備工事との取合い	施工範囲 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ 自動閉鎖装置取付け箇所切込み及び補強 施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。																									
	9 施工図等の取扱い（1.2.3）	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用权は、発注者に移譲される。																									
	10 工事写真（1.2.4）	工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（最新版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）によるほかは監督職員の指示による。 下記ものを監督職員に提出する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>部数(ネガ1枚につき)</th> <th>分類・規格</th> <th>原版の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着工前</td> <td>1</td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>工事中</td> <td>1</td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">完成時</td> <td>屋内</td> <td>2</td> <td>カラーサービス版 24×36以上</td> </tr> <tr> <td>()箇所</td> <td>2</td> <td>カラーサービス版 60×70以上</td> </tr> <tr> <td>外観</td> <td>2</td> <td>カラーサービス版 24×36以上</td> </tr> <tr> <td>()箇所</td> <td></td> <td>カラーバネル半切 60×70以上</td> </tr> </tbody> </table> 写真をデジタル写真で撮影する場合には、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。 完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。 完成写真撮影業者は、監督職員の承諾する撮影業者（建築写真専門業者）とする。		部数(ネガ1枚につき)	分類・規格	原版の大きさ(mm)	着工前	1	カラーサービス版	24×36以上	工事中	1	カラーサービス版	24×36以上	完成時	屋内	2	カラーサービス版 24×36以上	()箇所	2	カラーサービス版 60×70以上	外観	2	カラーサービス版 24×36以上	()箇所		カラーバネル半切 60×70以上
		部数(ネガ1枚につき)	分類・規格	原版の大きさ(mm)																							
	着工前	1	カラーサービス版	24×36以上																							
工事中	1	カラーサービス版	24×36以上																								
完成時	屋内	2	カラーサービス版 24×36以上																								
	()箇所	2	カラーサービス版 60×70以上																								
	外観	2	カラーサービス版 24×36以上																								
()箇所		カラーバネル半切 60×70以上																									
11 電気保安技術者（1.3.3）	適用する																										
12 施工条件（1.3.5）	現場説明書による																										
13 発生材の処理等（1.3.12）	引渡しを要するもの（ ） 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの（ ） 指定副産物の搬出（詳細は現場説明書による） アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地（詳細は現場説明書による） 指定地処分（ ） 自由処分（最寄りの再資源化施設へ搬出すること）（ ） 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理（ ） 特別管理産業廃棄物 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ（臭化リチウム）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ（蓄電池電解液）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 廃石綿の処分地（ 東京都環境保全公社瑞穂センター ）	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ（臭化リチウム）		廃酸・廃アルカリ（蓄電池電解液）		S F 6ガス使用機器											
種類	処理方法																										
廃石綿等																											
P C Bを含む機器類																											
P C B含有シーリング																											
廃油																											
廃酸・廃アルカリ（臭化リチウム）																											
廃酸・廃アルカリ（蓄電池電解液）																											
S F 6ガス使用機器																											
	せっこうボードの処理方法 石綿含有せっこうボードの処理 改修標仕9.1.5による ひ素・カドミウム含有のせっこうボードの処理 製造業者にて処分 埋立処分 その他のせっこうボードの処理 最終処分 再資源化																										

章	項目	特記事項																																								
1	14 石綿含有建材の調査（1.5.1）	調査 行う 石綿の除去に当たり、あらかじめ関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を下記により行い、結果を取りまとめ、監督職員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。 調査範囲 図示による 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法 行わない 石綿含有分析方法 行う(分析結果を監督職員に提出する) JIS A 1481に基づくこと <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 行わない 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし	材 料 名	定性分析	定量分析	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()																									
	材 料 名	定性分析	定量分析																																							
	()	()	()																																							
	()	()	()																																							
	()	()	()																																							
	()	()	()																																							
	15 調査のための破壊部分の補修（1.6.3）	既存破壊部分の補修方法 図示による																																								
	16 技能士（1.7.2）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>左官作業 型枠工作業 コックリ圧送工作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>構造物鉄工作業 とび作業</td> </tr> <tr> <td>アロック及びALCN補工事</td> <td>コックリアロック工作業 ALCN補工作業</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>金属製カーテンウォール工作業 ビル用ガラス工作業 ガラス工作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>アスファルト防水工作業 シーリング防水工作業 外防水系塗膜防水工作業 セメント系防水工作業 アクリル系塗膜防水工作業 FRP防水工作業 合成ゴム系シート防水工作業 塩化ビニルシート防水工作業 改質アスファルトシート工法防水工作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>大工工作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>鋼製下地工作業 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>ビル用ガラス工作業 自動ドア工作業 ガラス工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>ガラス系床仕上げ工作業 ガラス仕上げ工作業 家具手加工作業 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>溶融ベントナイトマーカ工作業 加熱ベントナイトマーカ工作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園工作業</td> </tr> </tbody> </table> ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 型枠工作業 コックリ圧送工作業	鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業	アロック及びALCN補工事	コックリアロック工作業 ALCN補工作業	カーテンウォール工事	金属製カーテンウォール工作業 ビル用ガラス工作業 ガラス工作業	防水工事	アスファルト防水工作業 シーリング防水工作業 外防水系塗膜防水工作業 セメント系防水工作業 アクリル系塗膜防水工作業 FRP防水工作業 合成ゴム系シート防水工作業 塩化ビニルシート防水工作業 改質アスファルトシート工法防水工作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工事	大工工作業	屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工作業	金属工事	鋼製下地工作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	ビル用ガラス工作業 自動ドア工作業 ガラス工作業	内装工事	ガラス系床仕上げ工作業 ガラス仕上げ工作業 家具手加工作業 壁装作業	排水工事	建築配管作業	舗装工事	溶融ベントナイトマーカ工作業 加熱ベントナイトマーカ工作業	植栽工事	造園工作業
	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																								
	仮設工事	とび作業																																								
鉄筋工事	鉄筋組立作業																																									
コンクリート工事	左官作業 型枠工作業 コックリ圧送工作業																																									
鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業																																									
アロック及びALCN補工事	コックリアロック工作業 ALCN補工作業																																									
カーテンウォール工事	金属製カーテンウォール工作業 ビル用ガラス工作業 ガラス工作業																																									
防水工事	アスファルト防水工作業 シーリング防水工作業 外防水系塗膜防水工作業 セメント系防水工作業 アクリル系塗膜防水工作業 FRP防水工作業 合成ゴム系シート防水工作業 塩化ビニルシート防水工作業 改質アスファルトシート工法防水工作業																																									
石工事	石張り作業																																									
タイル工事	タイル張り作業																																									
木工事	大工工作業																																									
屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工作業																																									
金属工事	鋼製下地工作業 内外装板金作業																																									
左官工事	左官作業																																									
塗装工事	建築塗装作業																																									
建具工事	ビル用ガラス工作業 自動ドア工作業 ガラス工作業																																									
内装工事	ガラス系床仕上げ工作業 ガラス仕上げ工作業 家具手加工作業 壁装作業																																									
排水工事	建築配管作業																																									
舗装工事	溶融ベントナイトマーカ工作業 加熱ベントナイトマーカ工作業																																									
植栽工事	造園工作業																																									

章	項目	特記事項																									
1	17 施工の検査等（1.7.5）	見本施工の実施 適用する（ ） 適用しない																									
	18 化学物質の濃度測定（1.7.9）	適用する（適用事項は、現場説明書による）																									
1	19 完成図（1.9.2）	作成する（提出部数 2部 部）詳細は監督職員の指示による。 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。																									
	20 保全に関する資料（1.9.3）	作成する（提出部数 2部 部） 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 建物を使用する上での注意事項 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。																									
2	仮設工事	足場その他（2.1.3） （2.2.1） <p>労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。</p> <p>外部足場 施行箇所面に枠組足場を設ける。 施行箇所面にくさび型足場を設ける。 施行箇所面に単管単足場を設ける。 仮設ゴンドラを使用する。 移動式足場を使用する。</p> <p>内部足場 脚立、足場板等</p> <p>防護シート等 防音バネル 防音シート 防災シート ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種（表2.2.1）</p> <p>足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 基発第0424001号）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柵及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971（屋根工事用足場及び施工方法）の施工標準に基づく足場及び装備機材を設置すること。</p>																									
	仮設間仕切り（2.3.2）	既存部分の養生 既存部分の養生 行う（ビニールシート、合板） 行わない 既存家具・既存設備等の養生 行う（ビニールシート） 行わない 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 行う 行わない 養生の方法 取り外しのうえ清掃 保管場所 室内にてカバー掛の上、適切保管 家具の移動 行う（図示） 行わない 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。																									
2	監督職員事務所（仮設管理室）（2.4.1）	仮設間仕切り（2.3.2） <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A種</td> <td>せっこうボード</td> <td>なし</td> <td>グラスウール</td> </tr> <tr> <td>種類 GB-R</td> <td>片面</td> <td>24kg/m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B種</td> <td>厚さ mm 9.5mm</td> <td></td> <td>厚さ 50mm</td> </tr> <tr> <td>合板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C種</td> <td>材質 珪藻土合板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚さ mm 9mm</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 設けない	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	A種	せっこうボード	なし	グラスウール	種類 GB-R	片面	24kg/m ²	B種	厚さ mm 9.5mm		厚さ 50mm	合板			C種	材質 珪藻土合板			厚さ mm 9mm		
	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填																							
A種	せっこうボード	なし	グラスウール																								
	種類 GB-R	片面	24kg/m ²																								
B種	厚さ mm 9.5mm		厚さ 50mm																								
	合板																										
C種	材質 珪藻土合板																										
	厚さ mm 9mm																										
2	図面番号	図面番号 A-01																									

<p>一級建築士事務所 事務所登録京都府知事（04A）第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生</p>	<p>作成日 2025/5 修正日 検印 縮尺</p>	<p>工事名 京阪三室戸駅前自転車等駐車場改修工事 図面名 特記仕様書－1</p>	<p>図面番号 A-01</p>
--	-------------------------------------	---	------------------

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																						
2	<p>工事用水 構内既存の施設 利用できない 利用できる (有償 無償)</p> <p>工事用電力 構内既存の施設 利用できない 利用できる (有償 無償)</p> <p>仮囲い等 図示による</p> <p>設計 G L 図示による 設計 G L = 現状 G L</p>	(2)	<p>土・鉄筋・コンクリート工事</p> <p>10 構造体強度補正值 (6.3.2)</p> <p>気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">予想平均気温 () 補正值 (S)</th> <th colspan="3">期 間 (打 設 日)</th> </tr> <tr> <th>普通</th> <th>早強</th> <th colspan="3">南部地域 中部地域 北部地域</th> </tr> <tr> <td>8以上 5以上</td> <td>3</td> <td>3/6 ~ 6/30</td> <td>3/11 ~ 7/20</td> <td>3/11 ~ 7/10</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>N/mm2</td> <td>9/11 ~ 11/15</td> <td>9/1 ~ 11/5</td> <td>9/1 ~ 10/31</td> </tr> <tr> <td>0以上 0以上</td> <td>6</td> <td>11/16 ~ 3/5</td> <td>11/ 6 ~ 3/10</td> <td>11/ 1 ~ 3/10</td> </tr> <tr> <td>8未満 5未満</td> <td>N/mm2</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>南部地域 (京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)</p> <p>11 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)</p> <p>12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3)</p> <p>13 寒中コンクリート (6.11.1)</p> <p>14 暑中コンクリート (6.12.2)</p> <p>コンクリートミキサの過積載防止対策等</p>	予想平均気温 () 補正值 (S)		期 間 (打 設 日)			普通	早強	南部地域 中部地域 北部地域			8以上 5以上	3	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10		N/mm2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	9/1 ~ 10/31	0以上 0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10	11/ 1 ~ 3/10	8未満 5未満	N/mm2				3	<p>防水改修工事</p> <p>断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm</p> <p>断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____</p> <p>ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____</p> <p>絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤーンクロス (70g/m²程度)</p> <p>立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0</p> <p>立上がり部の保護 乾式保護材</p> <p>保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm</p> <p>脱気装置 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m²)</p> <p>伸縮目地 成形伸縮目地材 _____</p> <p>屋上排水溝 図示による _____</p> <p>4 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)</p> <p>屋根露出防水密着工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>M 4 A S 工法</td> <td>AS-T1 AS-T2 AS-J2</td> <td>表3.4.1</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> </table> <p>屋根露出防水絶縁工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>M 3 A S 工法 P 0 A S 工法</td> <td>AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3</td> <td>表3.4.2</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> </table> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>M 3 A S I 工法 M 4 A S I 工法 P 0 A S I 工法</td> <td>ASI-T1 ASI-J1</td> <td>表3.4.3</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> </table> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 _____</p> <p>断熱材 (屋根露出防水絶縁断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____</p> <p>脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m²)</p> <p>防湿層 (屋根露出防水絶縁断熱工法) 設ける 設けない</p> <p>5 合成高分子系ルーフトレンシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>P 0 S 工法 S 4 S 工法 P 0 S I 工法 S 4 S I 工法 S 3 S 工法 S 3 S I 工法 M 4 S 工法 M 4 S I 工法</td> <td>S(1)-F1 PC部材入増張 (有り 無し) S(1)-F2 S(1)-M1 S(1)-M2 S(1)-F1 PC部材入増張 (有り 無し) S(1)-F2 S(1)-M1 S(1)-M2</td> <td>表3.5.1 表3.5.2 表3.5.3</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> </table> <p>断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____</p> <p>機械的固定工法の場合 _____</p> <p>接着工法の場合 _____</p> <p>S I - M 1 及び S I - M 2 の場合の防湿用フィルム 設置する</p>	種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料		M 4 A S 工法	AS-T1 AS-T2 AS-J2	表3.4.1	種類	使用量	種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料		M 3 A S 工法 P 0 A S 工法	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	表3.4.2	種類	使用量	種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料		M 3 A S I 工法 M 4 A S I 工法 P 0 A S I 工法	ASI-T1 ASI-J1	表3.4.3	種類	使用量	種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料		P 0 S 工法 S 4 S 工法 P 0 S I 工法 S 4 S I 工法 S 3 S 工法 S 3 S I 工法 M 4 S 工法 M 4 S I 工法	S(1)-F1 PC部材入増張 (有り 無し) S(1)-F2 S(1)-M1 S(1)-M2 S(1)-F1 PC部材入増張 (有り 無し) S(1)-F2 S(1)-M1 S(1)-M2	表3.5.1 表3.5.2 表3.5.3	種類	使用量	3	<p>防水改修工事</p> <p>接着工法の場合で、P Cコンクリート部材下地の場合 目地処理 図示による _____</p> <p>入隅部の増張り (S-F1、S-I-F1の場合) 図示による _____</p> <p>絶縁用シート及び可塑性移行防止用シート 発泡ポリエチレンシート _____</p> <p>仕上げ塗料 珪藻土 _____</p> <p>脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m²)</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。</p> <p>固定金具の材質及び寸法形状 防錆処理した鋼板、スチール鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの _____</p> <p>6 塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">種 別 及 び 工 程</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>P 0 X 工法</td> <td>X-1 X-2 X-1H X-2H</td> <td>表3.6.1</td> <td></td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> <tr> <td>L 4 X 工法</td> <td>X-1 X-2 X-1H X-2H</td> <td>表3.6.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>P 1 Y 工法</td> <td>Y-2</td> <td>表3.6.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>P 2 Y 工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>脱気装置(X-1) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m²)</p> <p>保護層 設ける 設けない</p> <p>7 漏水試験</p> <p>水張り試験を行う (屋内 屋外)</p> <p>8 保証書</p> <p>受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。(保証年限は工事目的引渡しより10年間以上とする。)</p> <p>9 施工標識</p> <p>工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 真鍮製エッチング仕上 150x100 設置数量 () 箇所</p> <p>10 シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)</p> <p>シーリング材の種類 改修構仕 表3.7.1による</p> <p>シーリング改修工法及び施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>改 修 工 法 の 種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>シーリング充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡幅シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブリッジ工法</td> <td></td> </tr> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 (図示による) _____</p> <p>目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 幅20mm以上、深さ10mm以上 _____</p> <p>ガラス回りの目地 幅5mm以上、深さ5mm以上 _____</p> <p>その他の目地 幅10mm以上、深さ10mm以上 _____</p> <p>シーリングの試験 簡易接着性試験 (部位 _____) 引張接着性試験 (部位 _____)</p> <p>とい(雨水) (3.8.2) (3.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 とい (外 気 に 接 す とい)</th> <th>材 種</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>ルーフトレン</td> <td>ルーフトレン (JCN 301)</td> <td>取付け 水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軒どい</td> <td>硬質塩化ビニル製 (角形)</td> <td>(前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>たてとい</td> <td>硬質塩化ビニル管 (VP)</td> <td>(カラー) 径 75mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>谷どい</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物</td> <td>改修構仕 表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの</td> <td>多雪地域の軒とこの取付間隔 0.5m 以下</td> <td></td> </tr> </table>	種 別 及 び 工 程		防水層	施工箇所	仕上塗料		P 0 X 工法	X-1 X-2 X-1H X-2H	表3.6.1		種類	使用量	L 4 X 工法	X-1 X-2 X-1H X-2H	表3.6.2				P 1 Y 工法	Y-2	表3.6.3				P 2 Y 工法						改 修 工 法 の 種 別	施 工 箇 所	シーリング充填工法		シーリング再充填工法		拡幅シーリング再充填工法		ブリッジ工法		外 とい (外 気 に 接 す とい)		材 種	そ の 他	ルーフトレン	ルーフトレン (JCN 301)	取付け 水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する		軒どい	硬質塩化ビニル製 (角形)	(前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm		たてとい	硬質塩化ビニル管 (VP)	(カラー) 径 75mm		谷どい				とい受け金物、足金物	改修構仕 表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの	多雪地域の軒とこの取付間隔 0.5m 以下	
予想平均気温 () 補正值 (S)		期 間 (打 設 日)																																																																																																																																											
普通	早強	南部地域 中部地域 北部地域																																																																																																																																											
8以上 5以上	3	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10																																																																																																																																									
	N/mm2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	9/1 ~ 10/31																																																																																																																																									
0以上 0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10	11/ 1 ~ 3/10																																																																																																																																									
8未満 5未満	N/mm2																																																																																																																																												
種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																										
M 4 A S 工法	AS-T1 AS-T2 AS-J2	表3.4.1	種類	使用量																																																																																																																																									
種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																										
M 3 A S 工法 P 0 A S 工法	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	表3.4.2	種類	使用量																																																																																																																																									
種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																										
M 3 A S I 工法 M 4 A S I 工法 P 0 A S I 工法	ASI-T1 ASI-J1	表3.4.3	種類	使用量																																																																																																																																									
種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																										
P 0 S 工法 S 4 S 工法 P 0 S I 工法 S 4 S I 工法 S 3 S 工法 S 3 S I 工法 M 4 S 工法 M 4 S I 工法	S(1)-F1 PC部材入増張 (有り 無し) S(1)-F2 S(1)-M1 S(1)-M2 S(1)-F1 PC部材入増張 (有り 無し) S(1)-F2 S(1)-M1 S(1)-M2	表3.5.1 表3.5.2 表3.5.3	種類	使用量																																																																																																																																									
種 別 及 び 工 程		防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																									
P 0 X 工法	X-1 X-2 X-1H X-2H	表3.6.1		種類	使用量																																																																																																																																								
L 4 X 工法	X-1 X-2 X-1H X-2H	表3.6.2																																																																																																																																											
P 1 Y 工法	Y-2	表3.6.3																																																																																																																																											
P 2 Y 工法																																																																																																																																													
改 修 工 法 の 種 別	施 工 箇 所																																																																																																																																												
シーリング充填工法																																																																																																																																													
シーリング再充填工法																																																																																																																																													
拡幅シーリング再充填工法																																																																																																																																													
ブリッジ工法																																																																																																																																													
外 とい (外 気 に 接 す とい)		材 種	そ の 他																																																																																																																																										
ルーフトレン	ルーフトレン (JCN 301)	取付け 水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する																																																																																																																																											
軒どい	硬質塩化ビニル製 (角形)	(前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm																																																																																																																																											
たてとい	硬質塩化ビニル管 (VP)	(カラー) 径 75mm																																																																																																																																											
谷どい																																																																																																																																													
とい受け金物、足金物	改修構仕 表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの	多雪地域の軒とこの取付間隔 0.5m 以下																																																																																																																																											
(2)	<p>埋め戻し及び盛土 (3.2.3)</p> <p>A種 砂質土 (山砂の類) を水締め又は機器による締固め (表3.2.1)</p> <p>B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め</p> <p>C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め</p> <p>D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め</p> <p>その他 (材料 _____ 工法 _____)</p> <p>建設発生土 (盛土材) の外部からの受入土量 (_____ m³) 発生場所 ()</p> <p>建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>下記に定めるほかは、現場説明書による</p> <p>構外指示の受入場所処分</p> <p>受入場所 (一財)城陽山砂利採取地整備公社 _____</p> <p>土壌調査 行う (受入場所指定の検査)</p> <p>京都府土砂等による土地の埋立等々の規制に関する条例 施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法</p> <p>仮置場所 _____</p> <p>構内指示の場所に敷き均し</p> <p>構内指示の場所にたい積</p> <p>(表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>径 (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">異形鉄筋</td> <td>S D 2 9 5</td> <td>D 1 6 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S D 3 4 5</td> <td>D 1 9 以上</td> <td></td> </tr> </table> <p>溶接金網 (5.2.2)</p> <p>網目の形状、寸法 _____ 100X100 鉄線の径 _____ 6 mm</p> <p>コンクリートの種類 (6.2.1)</p> <p>種類 普通コンクリート</p> <p>類別 類 類</p> <p>コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)</p> <p>設計基準強度 (F_c)</p> <table border="1"> <tr> <th>打 設 部 位</th> <th>F_c (N/mm²)</th> <th>スラブ (cm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">構造体</td> <td>基礎</td> <td>2 4</td> <td>1 5 1 8</td> </tr> <tr> <td>上部</td> <td>2 4</td> <td>1 5 1 8 土間スラブを含む</td> </tr> <tr> <td>土間コンクリート</td> <td>1 8</td> <td>1 5 1 8</td> <td>側溝・犬走り</td> </tr> <tr> <td>捨コンクリート</td> <td>1 8</td> <td>1 5 1 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽量コンクリート</td> <td>2 1</td> <td>2 1 1 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無筋コンクリート</td> <td>1 8</td> <td>1 5 1 8</td> <td>標仕6.14.1による</td> </tr> </table> <p>構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 { F_c + 構造体強度補正值 (S) } / N/mm² (6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない)</p> <p>セメントの類別 (6.3.1)</p> <p>普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</p> <p>高炉セメントB種 (適用箇所 _____)</p> <p>シリカセメント</p> <p>フライアッシュセメントB種 (施工箇所 _____)</p> <p>骨材 (6.3.1)</p> <p>粗骨材 砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) 高炉スラグ再生骨材H 電気炉酸化スラグ</p> <p>細骨材 砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) 高炉スラグ再生骨材H 電気炉酸化スラグ 珪石</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 A (無害) _____</p> <p>9 混和材料 (6.3.1)</p> <p>混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の種 (JIS A 6204)</p> <p>防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025)</p> <p>混和材 フライアッシュ (JIS A 6201) 種、 種若しくは 種</p> <p>コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206)</p> <p>コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207)</p> <p>コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)</p>	種類	種類の記号	径 (mm)	備 考	異形鉄筋	S D 2 9 5	D 1 6 以下		S D 3 4 5	D 1 9 以上		打 設 部 位	F _c (N/mm ²)	スラブ (cm)	備 考	構造体	基礎	2 4	1 5 1 8	上部	2 4	1 5 1 8 土間スラブを含む	土間コンクリート	1 8	1 5 1 8	側溝・犬走り	捨コンクリート	1 8	1 5 1 8		軽量コンクリート	2 1	2 1 1 8		無筋コンクリート	1 8	1 5 1 8	標仕6.14.1による	3	<p>防水改修工事</p> <p>1 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)</p> <p>既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない</p> <p>既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない</p> <p>既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 行う (M4AS M4AS1 M4C M4D1 L4X) 行わない</p> <p>2 既存下地の処理 (3.2.6)</p> <p>既存下地の修正箇所の形状、長さ、数量等 図示による _____</p> <p>3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)</p> <p>屋根保護防水工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>P 1 B 工法</td> <td>B-1 B-2</td> <td>表3.3.3</td> </tr> <tr> <td>P 1 B I 工法</td> <td>BI-1 BI-2</td> <td>表3.3.4</td> </tr> <tr> <td>P 2 A I 工法</td> <td>AI-1 AI-2 AI-3</td> <td>表3.3.5</td> </tr> <tr> <td>P 2 A 工法</td> <td>A-1 A-2 A-3</td> <td>表3.3.6</td> </tr> </table> <p>屋根露出防水工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>M 4 C 工法</td> <td>C-1 C-2 C-3 C-4</td> <td>表3.3.7</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> <tr> <td>M 3 D 工法</td> <td>D-1 D-2</td> <td>表3.3.8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>P 0 D 工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 M 4 D I 工法</td> <td>DI-1 DI-2</td> <td>表3.3.9</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> </table> <p>屋内防水工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>P 1 E 工法 P 2 E 工法</td> <td>E-1 E-2</td> <td>表3.3.10</td> </tr> </table>	種 別	防水層	施 工 箇 所	P 1 B 工法	B-1 B-2	表3.3.3	P 1 B I 工法	BI-1 BI-2	表3.3.4	P 2 A I 工法	AI-1 AI-2 AI-3	表3.3.5	P 2 A 工法	A-1 A-2 A-3	表3.3.6	種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料		M 4 C 工法	C-1 C-2 C-3 C-4	表3.3.7	種類	使用量	M 3 D 工法	D-1 D-2	表3.3.8			P 0 D 工法					種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料		P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 M 4 D I 工法	DI-1 DI-2	表3.3.9	種類	使用量	種 別	防水層	施 工 箇 所	P 1 E 工法 P 2 E 工法	E-1 E-2	表3.3.10	3	<p>防水改修工事</p> <p>6 塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3)</p> <p>脱気装置 (X-1) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m²)</p> <p>保護層 設ける 設けない</p> <p>7 漏水試験</p> <p>水張り試験を行う (屋内 屋外)</p> <p>8 保証書</p> <p>受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。(保証年限は工事目的引渡しより10年間以上とする。)</p> <p>9 施工標識</p> <p>工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 真鍮製エッチング仕上 150x100 設置数量 () 箇所</p> <p>10 シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)</p> <p>シーリング材の種類 改修構仕 表3.7.1による</p> <p>シーリング改修工法及び施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>改 修 工 法 の 種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>シーリング充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡幅シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブリッジ工法</td> <td></td> </tr> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 (図示による) _____</p> <p>目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 幅20mm以上、深さ10mm以上 _____</p> <p>ガラス回りの目地 幅5mm以上、深さ5mm以上 _____</p> <p>その他の目地 幅10mm以上、深さ10mm以上 _____</p> <p>シーリングの試験 簡易接着性試験 (部位 _____) 引張接着性試験 (部位 _____)</p> <p>とい(雨水) (3.8.2) (3.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 とい (外 気 に 接 す とい)</th> <th>材 種</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>ルーフトレン</td> <td>ルーフトレン (JCN 301)</td> <td>取付け 水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軒どい</td> <td>硬質塩化ビニル製 (角形)</td> <td>(前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>たてとい</td> <td>硬質塩化ビニル管 (VP)</td> <td>(カラー) 径 75mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>谷どい</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物</td> <td>改修構仕 表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの</td> <td>多雪地域の軒とこの取付間隔 0.5m 以下</td> <td></td> </tr> </table>	改 修 工 法 の 種 別	施 工 箇 所	シーリング充填工法		シーリング再充填工法		拡幅シーリング再充填工法		ブリッジ工法		外 とい (外 気 に 接 す とい)		材 種	そ の 他	ルーフトレン	ルーフトレン (JCN 301)	取付け 水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する		軒どい	硬質塩化ビニル製 (角形)	(前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm		たてとい	硬質塩化ビニル管 (VP)	(カラー) 径 75mm		谷どい				とい受け金物、足金物	改修構仕 表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの	多雪地域の軒とこの取付間隔 0.5m 以下														
種類	種類の記号	径 (mm)	備 考																																																																																																																																										
異形鉄筋	S D 2 9 5	D 1 6 以下																																																																																																																																											
	S D 3 4 5	D 1 9 以上																																																																																																																																											
打 設 部 位	F _c (N/mm ²)	スラブ (cm)	備 考																																																																																																																																										
構造体	基礎	2 4	1 5 1 8																																																																																																																																										
	上部	2 4	1 5 1 8 土間スラブを含む																																																																																																																																										
土間コンクリート	1 8	1 5 1 8	側溝・犬走り																																																																																																																																										
捨コンクリート	1 8	1 5 1 8																																																																																																																																											
軽量コンクリート	2 1	2 1 1 8																																																																																																																																											
無筋コンクリート	1 8	1 5 1 8	標仕6.14.1による																																																																																																																																										
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																											
P 1 B 工法	B-1 B-2	表3.3.3																																																																																																																																											
P 1 B I 工法	BI-1 BI-2	表3.3.4																																																																																																																																											
P 2 A I 工法	AI-1 AI-2 AI-3	表3.3.5																																																																																																																																											
P 2 A 工法	A-1 A-2 A-3	表3.3.6																																																																																																																																											
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																																																																										
M 4 C 工法	C-1 C-2 C-3 C-4	表3.3.7	種類	使用量																																																																																																																																									
M 3 D 工法	D-1 D-2	表3.3.8																																																																																																																																											
P 0 D 工法																																																																																																																																													
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																																																																										
P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 M 4 D I 工法	DI-1 DI-2	表3.3.9	種類	使用量																																																																																																																																									
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																											
P 1 E 工法 P 2 E 工法	E-1 E-2	表3.3.10																																																																																																																																											
改 修 工 法 の 種 別	施 工 箇 所																																																																																																																																												
シーリング充填工法																																																																																																																																													
シーリング再充填工法																																																																																																																																													
拡幅シーリング再充填工法																																																																																																																																													
ブリッジ工法																																																																																																																																													
外 とい (外 気 に 接 す とい)		材 種	そ の 他																																																																																																																																										
ルーフトレン	ルーフトレン (JCN 301)	取付け 水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する																																																																																																																																											
軒どい	硬質塩化ビニル製 (角形)	(前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm																																																																																																																																											
たてとい	硬質塩化ビニル管 (VP)	(カラー) 径 75mm																																																																																																																																											
谷どい																																																																																																																																													
とい受け金物、足金物	改修構仕 表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの	多雪地域の軒とこの取付間隔 0.5m 以下																																																																																																																																											

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																	
3 防水改修工事	内とい（V.P管は使用しない） <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>たてとい及び横走り管 SGP</td> <td>径 75mm</td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物 改修仕様表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの</td> <td>多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下</td> </tr> <tr> <td>防露巻き 改修仕様表3.8.3による</td> <td>F</td> </tr> </table> <p>掃除口を設ける（開放性のある自転車置き場のといを除く） 養生鉄管を設ける（径_____厚さ_____） 既存といの撤去及び養生（_____） 鋼管製といの防露巻（改修仕様表3.8.4による_____） たてとい受金物（_____）</p> <p>(表3.9.1)(表5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>幅</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表 面 処 理</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>250 形</td> <td>250</td> <td>1.6</td> <td>AB-1種 AB-2種</td> <td>隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>300 形</td> <td>300</td> <td>1.8</td> <td>AC-1種 AC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>350 形</td> <td>350</td> <td>2.0</td> <td>BA-1種 BA-2種 BB-1種 BB-2種 BC-1種 BC-2種 C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>既存竝木等の撤去 行う（範囲 図示 _____） 行わない _____</p> <p>下地補修の工法 図示 _____</p> <p>板材折曲げ形の竝木取付方法 図示 _____</p> <p>建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法 図示による _____</p>	材 質	そ の 他	たてとい及び横走り管 SGP	径 75mm	とい受け金物、足金物 改修仕様表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの	多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下	防露巻き 改修仕様表3.8.3による	F	種 類	幅	板厚(mm)	表 面 処 理	備 考	250 形	250	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。	300 形	300	1.8	AC-1種 AC-2種		350 形	350	2.0	BA-1種 BA-2種 BB-1種 BB-2種 BC-1種 BC-2種 C種		4 外壁改修工事	(4.1.4) (4.3.5) ~(4.3.8)	モルタル塗り仕上げ 樹脂注入方法 <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示 _____</p> <p>Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>タイル張り仕上げ 樹脂注入方法 <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示 _____</p> <p>タイル撤去後の補修 <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 変成シリコン樹脂 ウレタン樹脂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>サイディング仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>外部用合成樹脂エマルジョンパテ ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗替え工法 改修仕様表4.3.3による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 _____</p> <p>タイル張り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td>張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table> </p></p></p></p></p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	工 法	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 変成シリコン樹脂 ウレタン樹脂		タイル張替え工法			工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	外部用合成樹脂エマルジョンパテ ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)		タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)		4 外壁改修工事	(4.1.4) (4.3.11) ~(4.3.16)	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修仕様表4.4.2による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない <p>抜き部の補修方法 図示 _____</p> <p>セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法(4.3.10(3)による) ○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法(4.3.10(3)による) ○ シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル</p> <p>モルタル塗り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アカービン (本/m²) 一般部 指定部</th> <th>注入口 (箇所/m²) 一般部 指定部</th> <th>充填量 (箇所/ml)</th> <th>注入量 (箇所/ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>アカービン[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16 25</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13 20</td> <td>12 20</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13 20</td> <td>12 20</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9 16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9 16</td> <td>9 16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9 16</td> <td>9 16</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>注入工法用材料 ポリマーセメントスラリー <table border="1"> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (収縮) (%)</th> <th>引張接着性 (N/mm²)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>吸水性 (72時間) (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00 充填工法用材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 既製目地材 使用する(形状 _____) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 _____</p> <p>タイル張り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アカービン (本/m²) 一般部 指定部</th> <th>注入口 (箇所/m²) 一般部 指定部</th> <th>充填量 (箇所/ml)</th> <th>注入量 (箇所/ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>アカービン[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16 25</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13 20</td> <td>12 20</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13 20</td> <td>12 20</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>I[※] 樹脂注入工法</td> <td>20 20</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9 16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9 16</td> <td>9 16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9 16</td> <td>9 16</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16 16</td> <td></td> <td>25</td> <td>25</td> <td></td> </tr> </table> </p></p></p>	工 法	アカービン (本/m ²) 一般部 指定部	注入口 (箇所/m ²) 一般部 指定部	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所	アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16 25		25			アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13 20	12 20		25		アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13 20	12 20		50		注入口付アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9 16		25			注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9 16	9 16		25		注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9 16	9 16		50		広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	工 法	アカービン (本/m ²) 一般部 指定部	注入口 (箇所/m ²) 一般部 指定部	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所	アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16 25		25			アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13 20	12 20		25		アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13 20	12 20		50		I [※] 樹脂注入工法	20 20		25			注入口付アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9 16		25			注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9 16	9 16		25		注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9 16	9 16		50		I [※] 樹脂注入工法	16 16		25	25		4 外壁改修工事	(4.2.4) (4.4.7) ~(4.4.8)	アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>工 法 1箇所 (m²) 材 料 施 工 箇 所</p> <p>タイル部分張替え工法 0.25未満 ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)</p> <p>タイル張替え工法 張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修仕様表4.5.1による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない <p>抜き部の補修方法 図示 _____</p> <p>セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法(4.3.10(3)による) ○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル</p> <p>タイル張り仕上げ 目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 位置 改修仕様表4.4.2による 図示による 寸法(幅×深さ) コカー打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 20mm以上×10mm以上 その他 10mm以上×10mm以上</p> <p>樹脂注入工法 建築補修用注入エポキシ樹脂 低粘度形 中粘度形 ひび割れの幅 (mm) 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0以下 注入孔の間隔 (mm) 200程度 300程度 300程度 注入量 (CC/mm)</p> <p>自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 手動式エポキシ樹脂注入工法 機械式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 (抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 _____) (抜き部の補修方法 _____)</p> </p>
	材 質	そ の 他																																																																																																																																																																																																																						
たてとい及び横走り管 SGP	径 75mm																																																																																																																																																																																																																							
とい受け金物、足金物 改修仕様表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの	多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下																																																																																																																																																																																																																							
防露巻き 改修仕様表3.8.3による	F																																																																																																																																																																																																																							
種 類	幅	板厚(mm)	表 面 処 理	備 考																																																																																																																																																																																																																				
250 形	250	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。																																																																																																																																																																																																																				
300 形	300	1.8	AC-1種 AC-2種																																																																																																																																																																																																																					
350 形	350	2.0	BA-1種 BA-2種 BB-1種 BB-2種 BC-1種 BC-2種 C種																																																																																																																																																																																																																					
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																					
自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																					
手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																					
機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																					
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																					
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																					
自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																					
手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																					
機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																					
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																					
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																						
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 変成シリコン樹脂 ウレタン樹脂																																																																																																																																																																																																																							
タイル張替え工法																																																																																																																																																																																																																								
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																						
充填工法	外部用合成樹脂エマルジョンパテ ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																							
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																						
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																							
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																						
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																							
タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																							
工 法	アカービン (本/m ²) 一般部 指定部	注入口 (箇所/m ²) 一般部 指定部	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																			
アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16 25		25																																																																																																																																																																																																																					
アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13 20	12 20		25																																																																																																																																																																																																																				
アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13 20	12 20		50																																																																																																																																																																																																																				
注入口付アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9 16		25																																																																																																																																																																																																																					
注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9 16	9 16		25																																																																																																																																																																																																																				
注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9 16	9 16		50																																																																																																																																																																																																																				
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)																																																																																																																																																																																																																			
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																																																			
工 法	アカービン (本/m ²) 一般部 指定部	注入口 (箇所/m ²) 一般部 指定部	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																			
アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16 25		25																																																																																																																																																																																																																					
アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13 20	12 20		25																																																																																																																																																																																																																				
アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13 20	12 20		50																																																																																																																																																																																																																				
I [※] 樹脂注入工法	20 20		25																																																																																																																																																																																																																					
注入口付アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9 16		25																																																																																																																																																																																																																					
注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9 16	9 16		25																																																																																																																																																																																																																				
注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9 16	9 16		50																																																																																																																																																																																																																				
I [※] 樹脂注入工法	16 16		25	25																																																																																																																																																																																																																				
4 外壁改修工事	施工数量調査 (1.6.2) 調査範囲 外壁改修範囲 図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 _____ 調査報告書の部数 2部 _____ 施工に先立ち、建築仕上診断技術者 (BELCA) による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。 <p>サイディング仕上げ 樹脂注入方法 <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない（注入状況確認方法 _____） 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示 _____</p> <p>Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p> </p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	(4.1.4) (4.2.4) ~(4.2.7)	4 外壁改修工事	(4.1.4) (4.4.5) (4.4.7) ~(4.4.8)	4 外壁改修工事	(4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) ~(4.4.15)	5 目地改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.16)	5 目地改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.16)	7 Uカットシール材充填工法(4.2.6)	7 Uカットシール材充填工法(4.2.6)	8 アカービン [※] 注入工法(4.3.5)	8 アカービン [※] 注入工法(4.3.5)	9 注入口付アカービン [※] 注入工法(4.3.5)	9 注入口付アカービン [※] 注入工法(4.3.5)	10 モルタル塗替え工法(4.3.5)	10 モルタル塗替え工法(4.3.5)																																																																																																																																																																																				
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																					
自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																					
手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																					
機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																					
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																					
		一級建築士事務所 事務所登録京都府知事 (04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生		作成日 2025/5 修正日 検印 縮尺 1:100 図面名		工事名 京阪三室戸駅前自転車等駐車場改修工事 図面番号 A-03		建築改修工事特記仕様書-3																																																																																																																																																																																																																

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
4	11 タイル部分張替え工法 及びタイル張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) ~(4.4.8)	施工箇所及び タイルの種類 形状寸法(mm) 生地 釉薬 役物 色 耐凍害性 耐滑り性 工法 その他 図示 磁器 無釉 有釉 標準 有釉 陶器 施釉 無し 特注 無し	4	15 マスチック塗材 塗り (4.1.5) (4.6.2)	種別 A種 B種 (表4.6.1)	5	8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)
	12 窓下人研面台の 補修	既調合モルタル() タイルの試験張り 行わない 行う(施工箇所) タイルの見本境 行わない 行う(範囲、仕様は図示による) 施工後の確認及び試験(タイル部分張替え工法を除く) 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による接着力試験を行う 行わない	4	16 部分改修工法 (4.5.7)	仕上げ塗材の種類 薄付け仕上塗材 厚付け仕上塗材又は複層仕上塗材 防水形複層仕上塗材 マスチック塗材 施工箇所 別図に示す範囲	5	9 樹脂製建具 (5.3.2) ~(5.3.5)
	仕上塗材(4.1.5)	タイル張替え工法の伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標尺表4.4.2による 図示による	5	17 外壁用塗膜防水 材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)	外壁用塗膜防水塗り 仕上げの形状 工法 外壁用仕上げ塗材の耐候性 下地拳動緩衝材の適用 適用する 適用しない 吹付け工法の模様材の種類 所要量 (kg/m ²) 外壁用仕上げ塗材の種類 所要量 (kg/m ²)	5	10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) ~(5.4.4)
	(4.5.2) (4.5.6)	シール工法 (仕上げ塗材は外壁仕上塗材の上塗り材とする。) 塗膜防水 (弾性ウレタン系 エポキシ系) 外壁再塗装は7節アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(7.7.2)表7.7.1 薄付け仕上塗材(JIS A 6909) (表4.5.1)	5	1 性能	「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。	5	11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.5.2) ~(5.5.4)
		種 類(呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 外装薄塗材Si 砂壁状 ゆず肌状 吹付け ゆず肌状 さざ波状 ローラ塗り 可とう形外装薄塗材Si 砂壁状 ゆず肌状 吹付け ゆず肌状 さざ波状 ローラ塗り 外装薄塗材E 砂壁状 ゆず肌状 吹付け 平たん状 凹凸状 こて塗り ゆず肌状 さざ波状 ローラ塗り 着色骨材砂壁状 こて塗り 吹付け 可とう形外装薄塗材E 砂壁状 ゆず肌状 吹付け 平たん状 凹凸状 こて塗り ゆず肌状 さざ波状 ローラ塗り 防水形外装薄塗材E (増塗材) ゆず肌状 さざ波状 ローラ塗り 凹凸状 吹付け 外装薄塗材S 砂壁状 吹付け	5	2 施工数量調査 (1.6.2)	行う(建具金物 ガラス ガラス止め材) 施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。 行わない	5	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.2.2) (5.6.2) ~(5.6.5)
		厚付け仕上塗材(JIS A 6909) (表4.5.1)	5	3 改修工法 (5.1.3)	既存建具を新規建具に改修する場合 かぶせ工法(カバー工法 持出し工法 ノンシール工法) 撤去工法(はつり工法 引き抜き工法) 新規建具を設置する場合 新規建具を設ける壁の開口方法 図示による 新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示による	5	4 防火戸 (5.1.4)
		種 類(呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 外装厚塗材C 吹放し 凸部処理 吹付け 平たん状 凹凸状 こて塗り (上塗材) ひき起こし かき落とし 外装厚塗材Si 吹放し 凸部処理 吹付け 外装厚塗材E 平たん状 凹凸状 こて塗り (上塗材) ひき起こし ローラ塗り	5	4 防火戸 (5.1.4)	図示による 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 連動させる (建具表による) 連動させない	5	5 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6)
		複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)	5	6 防犯建物部品 (5.1.7)	建具見本の製作 行う(建具番号) 特殊な建具の仮組 行う(建具番号) ブラインドボックス等の再使用 ()	5	6 防犯建物部品 (5.1.7)
		種 類(呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 複層塗材C E 凸部処理 吹付け 複層塗材Si 凹凸状 複層塗材E 複層塗材RE ゆず肌状 ローラ塗り 可とう形複層塗材CE 凸部処理 凹凸状 吹付け ゆず肌状 ローラ塗り 防水形複層塗材CE 凸部処理 吹付け 防水形複層塗材E (増塗材) 凹凸状 防水形複層塗材RE ゆず肌状 ローラ塗り	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ ドア 適用箇所 () ・ サッシ 適用箇所 () ・ シャッター 適用箇所 ()	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		可とう形改修用仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
	種 類(呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 可とう形改修塗材E 平たん状 ローラ塗り 可とう形改修塗材RE さざ波状 ローラ塗り 可とう形改修塗材CE ゆず肌状 吹付け	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	性能等級 A種 B種 C種 耐風圧性 S-4 S-5 S-6 気密性 A-3 A-4 水密性 W-4 W-5 枠見込み(mm) 図示 70 100 図示	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	
	防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	
	仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	
	既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	既存塗膜の除去方法 試験施工実施 サンダー工法 高圧水洗工法(試験施工実施)(加圧力 30Mpa) 塗膜はく離工法(製造所:) 水洗い工法 (高圧水洗 高圧水洗 10~15pa) 既存塗膜の除去範囲 既存仕上げ面全体 既存壁面の(%) 別図に示す範囲	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: 製造所:) 行わない	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	表面処理 (表5.2.2)	5	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)
		既存塗膜等の除去 					

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
5	引き戸用検出装置性能値 改修標仕 表5.9.3による 放射無線周波数 電磁界耐性	20 ガラス留め材 (5.14.2)	建 具 の 種 類 材 質 アルミニウム製 シーリング材(SR-1) グレイジングチャンネル 樹脂製 グレイジングチャンネル 鋼製・鋼製軽量・ステンレス製 シーリング材(SR-1) パテ 1種 2種 木製 パテ(木製用)	6	揮発性有機化合物 対策 (6.5.2)～(6.5.4) (6.8.2)(6.9.2) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.11.5) (6.13.2)(6.14.2) (6.16.4)(9.5.3) (9.5.4)	5	建 具 改 修 工 事
15	自閉式上吊り 引戸装置 (5.10.3)	21 ガラスブロック (5.14.5)	寸 法 (mm) 厚 さ (mm) 色 調 パターン 防 火 認 定 x 図示 乳白 熱線反射 なし あり	2	他の部分との 取り合い等 (6.1.3)	15	性能値等の区分 (表5.10.1) 適用戸の総質量(kg) 40以下 40を超えるもの 手動開き力(N) 15以下 20以下 手動閉じ力(N) 15以下 20以下 性能等 品質・規格
16	重量シャッター ～(5.11.4)	22 木製建具 (5.7.2) ～(5.7.4)	建具材の加工、組立時の含水率の種別 代用樹種の適用 接着剤のホルムアルデヒド放散量 フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 表面材の合板の種類 合板の種類 規 格 等 備 考 普通合板 表面の樹脂 板面の品質(広葉樹1種) 接着の程度(1種 2種) 天然木化粧合板 樹種名 () 接着の程度(1種 2種) 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度(1種 2種) MDF 表面材の厚さ 図示による (表5.7.6) 引き戸の合わせかまちのいんろう付きの適用 適用しない 適用する かまち戸 かまち樹種() 鏡板樹種() 見込み寸法 36mm ふすま 表の種別 型 型 上張り(押入等の裏側以外) 鳥の子 新鳥の子又はビニル紙程度 見込み寸法 19.5mm 戸ぶすま 表面材の仕上 図示による 見込み寸法 30mm 紙張り障子 見込み寸法 30mm	6	既存床の撤去等 (6.2.2)	16	種 別 工 法 施 工 箇 所 ビニル床シート等 下地材の除去 図示による 合成樹脂塗床材 機械的除去工法 図示による 目荒し工法 フローリング張り床材 床タイル 床組 既存壁の撤去等 (6.3.2)
17	軽量シャッター (5.12.2) ～(5.12.4)	23 ポリカーボネイト 樹脂板	種類 厚さ mm	5	既存壁の撤去等 (6.3.2)	17	開閉方式 電動式(手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 耐風圧強度 Pa スラット 材 質 めっきの付着量 JIS G 3302 Z12又はF12を満足するもの JIS G 3312 Z12又はF12を満足するもの 開閉方式 電動式(手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 耐風圧強度 Pa スラット 材 質 めっきの付着量 形 状 JIS G 3312 Z06又はF06を満足するもの インターロッキング形 JIS G 3322 A290を満足するもの オーバーラッピング形
18	オーバーヘッド ドア (5.13.2) ～(5.13.4)			18	木下地等 (6.5.1) ～(6.5.9)	18	セクション材 スチールタイプ アルミニウムタイプ ファイバーグラス 耐風圧性能 Pa 開閉方式 バランス式 チェーン式 電動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 収納形式 スタANDARD形 ローヘッド形 ハイリフト形 パーチカル形 ガイドレール等 溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板
19	ガラス (5.14.2) ～(5.14.4)			19	JAS 1083(製材)に基づく製材 下地用製材 使用箇所 樹 種 寸 法 等級 含水率 保存処理 1級 2級 造作用製材 使用箇所 樹 種 寸 法 等級 含水率 保存処理 無節 上小節 小節 並 広葉樹製材 使用箇所 樹 種 寸 法 等級 含水率 保存処理 特等 1等 2等 JAS 1083(製材)以外の製材 (表12.2.2) 使用箇所 樹 種 寸 法 材面の品質 防虫処理 含水率 A種 B種		
						19	材料 種 別 種類等 種 別 種類等 7mm板ガラス 強化ガラス 要板ガラス 熱線吸収板ガラス 網入板ガラス 複層ガラス 線入板ガラス 熱線反射ガラス 合わせガラス 倍強度ガラス ガラス溝の大きさ (図5.14.1) 種 別 面クリアランス エッジクリアランス 掛り代 アルミニウム建具 建具製造所の仕様による 建具製造所の仕様による 建具製造所の仕様による 鋼製建具 ステンレス建具
							使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 工事完成までに、ウッドマイル-ジCO2京都の木認証書(京都府産木材証明書及びウッドマイル-ジCO2計算書)(注1)を提出する事を原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書(京都府産木材証明書)(注2)を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般財団法人京都府木材組合連合会 TEL: 075-802-2991 注1)認証書 注2)証明書は製材助、流通業者の全てが取扱事業者又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。 工事完成までに、京都府産木材の産地証明書を提出すること。 京都木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都木材規格(KTS)材証明書(発行機関: (一社)京都府木材組合連合会)を提出すること。 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 造作用集成材 使用箇所 品 名 樹 種 見付材面数 寸 法 見付材面の品質 1等 2等 化粧ばり造作用集成材 使用箇所 品 名 樹 種 寸法 化粧板厚 見付材面数 見付材面の品質 化粧材 芯材 1等 2等 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 造作用集成材 使用箇所 樹 種 寸 法 見付材面の品質 含水率 15%以下 化粧ばり造作用集成材 使用箇所 化粧樹種名 芯材樹種名 寸法 化粧板厚 見付材面の品質 含水率 15%以下 JAS 0701(単板積層材)に基づく造作用単板積層材 造作用単板積層材 使用箇所 品名 寸法 表面の品質 防虫処理 表面化粧加工なし 適用する 1等 2等 3等 適用しない 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工 JAS 0701(単板積層材)以外の造作用単板積層材 造作用単板積層材 使用箇所 寸法 表面の品質 含水率 防虫処理 表面化粧加工なし 14%以下 適用する 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工 適用しない JAS 3079(直交集成板) 施工箇所 品名 曲げ性能(強度等級) 種別 接着性能(使用環境) 樹種 寸法(mm)

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
6 内装改修工事	<p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>各種区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>15mm</td> <td>1 3 Pタイプ又は1 3 Mタイプ</td> </tr> </table> <p>JAS 0360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作材化粧面の釘打ち 隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし頭釘打ち 釘頭現し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1 [鉄鋼の垂鉛めっきの種類] のF種程度の垂鉛めっきを施したものを</p> <p>防蟻・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 _____</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理</th> </tr> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>K 2 K 3 K 4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 2 K 3 K 4</td> </tr> </table> <p>薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>薬剤の製造所の仕様による</td> <td>JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 適用部位 _____ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 _____</p> <p>防虫処理 行う (範囲:ラワン材等 「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) 行わない</p>	使用箇所	厚さ	各種区分		15mm	1 3 Pタイプ又は1 3 Mタイプ	使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理		適用部材	保存処理性能区分		K 2 K 3 K 4		K 2 K 3 K 4	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品	6 内装改修工事	<p>ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種 類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色 柄</th> <th>寸 法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">接着 形状</td> <td>コポジションビニル床タイル</td> <td>K T</td> <td>2.0 3.0</td> <td rowspan="3">無地 ○柄物</td> <td rowspan="3">300×300 ○450×450</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>単層ビニル床タイル</td> <td>T T</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>複層ビニル床タイル</td> <td>F T</td> <td>2.0 2.5 3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">置 敷 形</td> <td>置敷きビニル床タイル</td> <td>F O A</td> <td>4.0</td> <td></td> <td>500×500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>薄型置敷きビニル床タイル</td> <td>F O B</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>帯電防止床シート 帯電防止タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>性 能</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>体積抵抗値 1.0×10⁹ 以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形 状</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>塩化ビニル系</td> <td>3 0 0mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>レジンコンクリート系</td> <td>1 5 0mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>磁器又はセラミックタイル</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>耐動荷重性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>防滑性床シート 防滑性床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ビニル幅木</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>高 さ (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>軟質</td> <td>60 75 100</td> <td>1.5 2.0</td> </tr> </table> <p>ゴム床タイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>色 柄</th> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>寸 法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>単層品 積層品</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>織り方</th> <th>パイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色柄</th> <th>接合方法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td></td> <td></td> <td>適用</td> <td>無地</td> <td>ヒートド工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>つづり縫い</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>帯電性</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>グリッド工法 全面接着工法</td> <td>適用</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>パイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>一種</td> <td>ループパイル</td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場部分 市松敷き _____ 階段部分 模様流し _____</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種 2号 呼び厚さ8mm _____</p> <p>見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による _____</p>	区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施工箇所	接着 形状	コポジションビニル床タイル	K T	2.0 3.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450		単層ビニル床タイル	T T	2.0	複層ビニル床タイル	F T	2.0 2.5 3.0	置 敷 形	置敷きビニル床タイル	F O A	4.0		500×500		薄型置敷きビニル床タイル	F O B			○		種 類	性 能	厚 さ (mm)		体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下		種 類	形 状	備 考	塩化ビニル系	3 0 0mm角		レジンコンクリート系	1 5 0mm角		磁器又はセラミックタイル			種 類	厚 さ (mm)	備 考				種 類	寸 法	厚 さ (mm)				種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)	軟質	60 75 100	1.5 2.0	色 柄	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)		単層品 積層品			種 別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施 工 箇 所	A種			適用	無地	ヒートド工法		B種					つづり縫い		C種							パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所			グリッド工法 全面接着工法	適用		種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所	一種	ループパイル	500×500	6.5		二種					6 内装改修工事	<p>11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.11.2(2)による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>単層フローリング (表6.11.1)~(表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大 小</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>フローリング ボード1等</td> <td>なら</td> <td>15</td> <td>表6.11.1 12 8</td> <td>釘留め工法 根太張り工法 接着工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フローリング ブロック1等</td> <td>なら</td> <td>8 15</td> <td></td> <td>接着工法</td> <td>防水処理足金物付</td> </tr> </table> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>1×6タイプ フローリング ボードタイプ</td> <td>なら</td> <td>8 15</td> <td>釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法</td> <td>A種 B種 C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート _____</p> <p>仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形) B種 _____ オイルステインの上ワックス塗り 生地そのままワックス塗り _____</p>	種 類	樹 種	厚さ(mm)	大 小	工 法	備 考	フローリング ボード1等	なら	15	表6.11.1 12 8	釘留め工法 根太張り工法 接着工法		フローリング ブロック1等	なら	8 15		接着工法	防水処理足金物付	種 類	樹 種	厚さ(mm)	工 法	種 別	備 考	1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	8 15	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法	A種 B種 C種		6 内装改修工事	<p>12 畳敷き (6.12.2)</p> <p>せっこうボード、 その他ボード 及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____ 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか F _____ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 表面への化粧張り等の加工 図示による _____</p> <p>種別 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>規 格</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>等</th> </tr> <tr> <td>せっこうボード(GB-R)</td> <td>12.5(不燃)</td> <td>9.5(準不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧せっこうボード(GB-D)</td> <td>杉証模様 トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)</td> <td>12.5(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不燃積層せっこうボード(GB-NC)</td> <td>トラバーチン模様 模様なし</td> <td>9.5(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シーリングせっこうボード(GB-S)</td> <td>15(不燃)</td> <td>12.5(準不燃)</td> <td>9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>強化せっこうボード(GB-F)</td> <td>21(不燃)</td> <td>15(不燃)</td> <td>12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>ロックウール吸音ボード(RW-B)</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラスウール吸音ボード(GW-B)</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸音あなきせっこうボード(GB-P)</td> <td>9.5(準不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロックウール化粧吸音板(DR)</td> <td>内部用 フラット 立体模様 軒天用 フラット 立体模様</td> <td>12(不燃) 15(不燃) 12(不燃) 15(不燃)</td> <td>9(不燃) 12(不燃) 9(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム板(0.8FK)</td> <td>タイプ2(無石棉)</td> <td>8.0</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂化粧板</td> <td>JIS K 6903 による</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>難燃木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>火山性ガラス質被覆板</td> <td>研磨品 (3 6 9 9.5) 無研磨品 (3 6 9 9.5)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通合板</td> <td>厚さ 接着の程度 板面の品質</td> <td>表板樹種 防虫処理</td> <td>行う</td> </tr> <tr> <td>天然化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度</td> <td>なら しおし</td> <td>防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td>特殊加工化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度 表面性能 F FW W WS</td> <td>化粧加工の方法</td> <td>防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td>その他下張り用合板</td> <td>2類・タイプ 耐水ベニヤ 合板厚5.5mm</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>合板類の張付け (表6.13.3) A種 B種 _____</p> <p>せっこうボードの目地処理 継目処理 突付け 目透かし (表6.13.5) 突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 (表6.13.5) べベルエッジ【壁】 スクエアエッジ【天井】 _____</p>	種 類	規 格	厚 さ (mm)	等	せっこうボード(GB-R)	12.5(不燃)	9.5(準不燃)		化粧せっこうボード(GB-D)	杉証模様 トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)	12.5(不燃)		不燃積層せっこうボード(GB-NC)	トラバーチン模様 模様なし	9.5(不燃)		シーリングせっこうボード(GB-S)	15(不燃)	12.5(準不燃)	9.5(準不燃)	強化せっこうボード(GB-F)	21(不燃)	15(不燃)	12.5(不燃)	ロックウール吸音ボード(RW-B)	25			グラスウール吸音ボード(GW-B)	25			吸音あなきせっこうボード(GB-P)	9.5(準不燃)			ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用 フラット 立体模様 軒天用 フラット 立体模様	12(不燃) 15(不燃) 12(不燃) 15(不燃)	9(不燃) 12(不燃) 9(不燃) 12(不燃)	けい酸カルシウム板(0.8FK)	タイプ2(無石棉)	8.0	6.0	メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による	1.2		難燃木毛セメント板	30 25 20 15			断熱木毛セメント板	30 25 20 15			火山性ガラス質被覆板	研磨品 (3 6 9 9.5) 無研磨品 (3 6 9 9.5)			普通合板	厚さ 接着の程度 板面の品質	表板樹種 防虫処理	行う	天然化粧合板	厚さ 接着の程度	なら しおし	防虫処理 行う	特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 表面性能 F FW W WS	化粧加工の方法	防虫処理 行う	その他下張り用合板	2類・タイプ 耐水ベニヤ 合板厚5.5mm			6 内装改修工事	<p>壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)</p> <p>天井廻り縁</p> <p>16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)</p> <p>17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)</p> <p>18 セルフレベリング 材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3)</p> <p>7 塗装材料 (7.1.3) 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)</p>	6 内装改修工事	<p>防火性能・種類・規格・施工箇所 図示による 下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>施 行 箇 所</th> <th>防火性能</th> <th>品 質 ・ 規 格</th> </tr> <tr> <td>管理入室</td> <td>準不燃性能</td> <td>量産品(普及品)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>素地ごしらえ モルタル及びせっこうプラスター面 A種 B種 (表7.2.4) コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5) せっこうボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7)</p> <p>材質 アルミニウム製 塩化ビニル製</p> <p>モルタル 現場調合材料 既調合材料(_____) 既製目地材 設ける (形状 _____) 床目地 設ける 設けない 目地の種類 押目地 _____ 目地割り 2m程度 _____ 最大目地間隔 3m程度 _____</p> <p>伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと _____ 壁面 図示による _____</p> <p>タイルの試験張り 行わない 行う タイルの見本焼 行わない 行う 施工後の確認及び試験 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所・形状・ 目地の種類</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>工法 その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td>磁器 陶器 せっき</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>磁器 陶器 せっき</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>磁器 陶器 せっき</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>壁タイル張りの工法 内装タイル 密着張り 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 既調合モルタル _____ 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目荒し工法 _____</p> <p>塗厚(mm) 10 15 _____</p> <p>塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F _____</p> <p>塗替えで下地調整の種類がB種の場合の既存塗膜の除去範囲 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 全面撤去 (表7.2.1)~(表7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素 地</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>RA種 不透明塗料塗りの場合はRB種 RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>RA種 RB種 RC種</td> <td>○環境対応剥離剤 エスケー化研(株) ハクリタイトエコST 同等</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>RA種 RB種 RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル及び せっこうプラスター面</td> <td>RA種 RB種 RC種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び ALCパネル面</td> <td>RA種 RB種 RC種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び 押出成形セメント面</td> <td>RA種 RB種 RC種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード及び その他ボード面</td> <td>RA種 RB種 RC種</td> <td>管理事務所外壁・ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> </table> <p>外壁欠損部分補修: 外部用合成樹脂エマルジョンパテ 雨樋: 汚れ・付着物除去・研磨刷り _____</p>	施 行 箇 所	防火性能	品 質 ・ 規 格	管理入室	準不燃性能	量産品(普及品)				施工箇所・形状・ 目地の種類	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法 その他		磁器 陶器 せっき	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注			磁器 陶器 せっき	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注			磁器 陶器 せっき	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注		素 地	種 別	備 考	木部	RA種 不透明塗料塗りの場合はRB種 RC種		鉄鋼面	RA種 RB種 RC種	○環境対応剥離剤 エスケー化研(株) ハクリタイトエコST 同等	亜鉛めっき鋼面	RA種 RB種 RC種		モルタル及び せっこうプラスター面	RA種 RB種 RC種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	コンクリート面及び ALCパネル面	RA種 RB種 RC種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	コンクリート面及び 押出成形セメント面	RA種 RB種 RC種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	せっこうボード及び その他ボード面	RA種 RB種 RC種	管理事務所外壁・ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	6 内装改修工事	<p>一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生</p> <p>作成日 2025/5 修正日 _____</p> <p>工事名 京阪三室戸駅前自転車等駐車場改修工事 図面番号 A-06</p> <p>検印 _____ 縮尺 1: _____ 図面名 建築改修工事特記仕様書-6</p>
	使用箇所	厚さ	各種区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	15mm	1 3 Pタイプ又は1 3 Mタイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
使用箇所	等級	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	K 2 K 3 K 4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	K 2 K 3 K 4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
接着 形状	コポジションビニル床タイル	K T	2.0 3.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	単層ビニル床タイル	T T	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	複層ビニル床タイル	F T	2.0 2.5 3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
置 敷 形	置敷きビニル床タイル	F O A	4.0		500×500																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	薄型置敷きビニル床タイル	F O B			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 類	性 能	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種 類	形 状	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
塩化ビニル系	3 0 0mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
レジンコンクリート系	1 5 0mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
磁器又はセラミックタイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種 類	厚 さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	寸 法	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
軟質	60 75 100	1.5 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
色 柄	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	単層品 積層品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種 別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
A種			適用	無地	ヒートド工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
B種					つづり縫い																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		グリッド工法 全面接着工法	適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
一種	ループパイル	500×500	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
二種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種 類	樹 種	厚さ(mm)	大 小	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
フローリング ボード1等	なら	15	表6.11.1 12 8	釘留め工法 根太張り工法 接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
フローリング ブロック1等	なら	8 15		接着工法	防水処理足金物付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 類	樹 種	厚さ(mm)	工 法	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	8 15	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法	A種 B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種 類	規 格	厚 さ (mm)	等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
せっこうボード(GB-R)	12.5(不燃)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
化粧せっこうボード(GB-D)	杉証模様 トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)	12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
不燃積層せっこうボード(GB-NC)	トラバーチン模様 模様なし	9.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
シーリングせっこうボード(GB-S)	15(不燃)	12.5(準不燃)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
強化せっこうボード(GB-F)	21(不燃)	15(不燃)	12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ロックウール吸音ボード(RW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
グラスウール吸音ボード(GW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
吸音あなきせっこうボード(GB-P)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用 フラット 立体模様 軒天用 フラット 立体模様	12(不燃) 15(不燃) 12(不燃) 15(不燃)	9(不燃) 12(不燃) 9(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
けい酸カルシウム板(0.8FK)	タイプ2(無石棉)	8.0	6.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による	1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
難燃木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
断熱木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
火山性ガラス質被覆板	研磨品 (3 6 9 9.5) 無研磨品 (3 6 9 9.5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
普通合板	厚さ 接着の程度 板面の品質	表板樹種 防虫処理	行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
天然化粧合板	厚さ 接着の程度	なら しおし	防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 表面性能 F FW W WS	化粧加工の方法	防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
その他下張り用合板	2類・タイプ 耐水ベニヤ 合板厚5.5mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施 行 箇 所	防火性能	品 質 ・ 規 格																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
管理入室	準不燃性能	量産品(普及品)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
施工箇所・形状・ 目地の種類	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法 その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	磁器 陶器 せっき	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	磁器 陶器 せっき	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	磁器 陶器 せっき	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
素 地	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
木部	RA種 不透明塗料塗りの場合はRB種 RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
鉄鋼面	RA種 RB種 RC種	○環境対応剥離剤 エスケー化研(株) ハクリタイトエコST 同等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
亜鉛めっき鋼面	RA種 RB種 RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
モルタル及び せっこうプラスター面	RA種 RB種 RC種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
コンクリート面及び ALCパネル面	RA種 RB種 RC種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
コンクリート面及び 押出成形セメント面	RA種 RB種 RC種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
せっこうボード及び その他ボード面	RA種 RB種 RC種	管理事務所外壁・ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																		
8-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	5 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (8.20.5)	<p>摩擦面の処理 プラスト処理(表面粗度 5.0 μmRz以上) リン酸塩処理 図示による() すべり耐力等の確認方法 試験方法等 図示による (対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する)</p>	8-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	15 耐火被覆 (8.18.2)~(8.18.9)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>繊維混入ケイ酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スズり珪藻土塗り</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火塗料</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする</p>	種類	材料・工法	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール		耐火板張り	繊維混入ケイ酸カルシウム板		耐火材巻付け	高断熱ロックウール		スズり珪藻土塗り	-		耐火塗料			8-6 耐震補強工事(現場打ちRC壁の増設工事)	1 補強工法	<p>新設耐震壁 増打ち耐震壁 開口部閉鎖壁 新設袖壁 製造所及び専門業者 ()</p>	8-7 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)	3 既存部分の処理 (8.22.3)	<p>目荒しの程度 図示による 本特記仕様書8-6-3による。</p>
	種類	材料・工法		適用箇所(部位・部分)																									
	耐火材吹付け	乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール																											
	耐火板張り	繊維混入ケイ酸カルシウム板																											
	耐火材巻付け	高断熱ロックウール																											
	スズり珪藻土塗り	-																											
	耐火塗料																												
	6 溶接材料 (8.2.10)	<p>溶接材料 改修標準仕様書8.2.10(1)(2)による 図示による</p>		16 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3) 公共建築工事標準仕様書(84版)による。	2 既存部分の撤去 (8.21.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲 図示による 本工事に支障となる最小限の範囲を撤去し既存構造体を露出させる。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 既存構造体の撤去範囲 図示による</p>	4 既存構造体との取合い (8.22.7)	<p>割製補強筋 以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40~60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3~1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) 図示による</p>																					
	7 スカッフ (8.2.11)	<p>種類等 <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table></p>		呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	・16			・19			・22			適用 構造用アンカーボルト 材質 SNR400B アンカーフレームの形状及び寸法 図示による 建方用アンカーボルト 材質 SS400 アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1) 種類 A種 B種 柱底均しモルタルの厚さ 50mm 30mm	3 既存部分の処理 (8.21.3)	<p>目荒しの程度 既存柱・梁 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による</p>	5 仕上げ (8.22.9)	<p>図示による</p>									
	呼び名	呼び長さ(mm)		適用箇所																									
	・16																												
	・19																												
・22																													
8 工作図 (8.13.2)	<p>高力ボルト、普通ボルト及びアジャスターボルトの縁距距離、ボルト間隔、ケージ等 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)</p>	1 グラウト材 (8.2.12)	<p>グラウト材 早強型特殊セメント系無収縮モルタル</p>	4 鉄筋の加工及び組立て (8.21.6)	<p>割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 A種(鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 図示による</p>																								
9 ボルト孔 (8.13.8)	<p>母屋又は鋼縁の取付けに使用する普通ボルトの孔型 ねじの呼び径 +1.0 mm</p>	無収縮モルタルの調査 製造所で調査されたプレミックスタイプ 現場調査形	5 コンクリートの打込み工法 (8.21.8)	<p>開口付増設壁の開口部鉄筋及び増設そで壁の端部横筋 ダブル配筋=閉鎖型配筋、シングル配筋=フック(3d)付き 図示による</p>	1 補強工法	<p>溶接金網巻き工法 鋼板巻き工法 連続繊維補強工法</p>	溶接閉鎖フープ巻き工法 帯板巻き付け工法																						
10 仮組	<p>実施する 部位 () 実施しない</p>	無収縮グラウト材の品質 圧縮強度 (N/mm ²) 30以上 一般部コンクリートと同等以上の強度(鉄骨コンクリート壁増設工事の壁部) コンスファクト-J140-0値(秒) 6~10 乾燥収縮 (10 ⁻⁴) 0	6 既存構造体との取合い (8.21.9)	<p>8.19.9の方法による他、以下に注意する 開口周囲の既存壁をはずり、既存壁筋を露出させ、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。 開口周囲の既存壁にあと施工アンカーを打設し、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚く配筋の場合) 開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合) 図示による</p>	2 既存部分の撤去 (8.23.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲 本特記仕様書8-6-2による他、下記による。 垂れ壁・腰壁を撤去する場合には、風圧力等による安全性を確認の上、30mmのスリットを残して補強を行う。 図示による 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p>																							
11 技能資格者	<p>溶接作業者の技量付加試験 行わない 行う 試験の要領 図示による</p>	グラウト材の品質管理は次による 圧縮強度試験 行う 行わない コンシステンシー試験 行う 行わない	7 仕上げ (8.21.10)	<p>図示による</p>	3 既存部分の処理 (8.23.3)(8.24.3)	<p>目荒し程度 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による 柱及び梁の成型(連続繊維補強工法) 支障となる表面の不陸を調整し、コーナー部をグラインダー等により曲面に成型する。(30R) 図示による</p>	4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5)	<p>柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 打ち込むコンクリート又はグラウト材の厚さ mm 打込みの工法 流込み工法 圧入工法</p>																					
12 溶接接合 (8.15.4)(8.15.7)	<p>開先の形状 図示による 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による 鋼製エンドタブの切断 有 無 切断する箇所及び切断範囲 図示による 切断面の仕上げ グラインダーにより、粗さ100μm Rz程度以下及びノッチ深さ1mm程度以下に仕上げる スカラップの形状 図示による 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による 改良型スカラップ</p>	モルタルの種類 材料の調査等 厚さ 図示による 工法 A種 B種		1 補強工法	<p>内側補強工法 枠付き鉄骨K型ブレース 枠付き鉄骨X型ブレース 枠付き鉄骨類付ブレース 枠付き鉄骨マンサード型ブレース 枠付き有開口鉄板パネル 枠付き無開口鉄板パネル 製造所及び専門業者 () 外側補強工法 枠付き鉄骨ブレース直付け工法 枠付き鉄骨ブレース架橋増設工法 製造所及び専門業者 ()</p>	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)	<p>鋼板の加工 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 柱脚スリットを設ける場合の外剥落防止処理方法 小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工 グラウト材 グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による グラウト材の厚さ 20mm mm</p>																						
13 溶接部の試験 (8.15.12)	<p>H12建設省告示第146号第二号に関する外観試験方法等 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル(独立行政法人建築研究所)」3.5.2による受入検査 抜き取り検査 抜き取り検査 JASS 6 付則 6(鉄骨精度検査基準)の付則3「溶接」に関する試験方法等 JASS 10.4 [受入検査] e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波深傷試験の試験箇所と同一とする。 外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。</p>			2 既存部分の撤去 (8.22.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p>																								
14 錆止め塗料 (7.4.2)(8.17.2)(8.17.4)	<p>塗料の種類 鉄鋼面の錆止め塗料 表7.4.1による A種 B種 C種 ○ D種 E種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 表7.4.2による A種 B種 C種</p> <p>鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限り) 表7.4.1による A種 B種 C種 ○ D種 E種</p> <p>耐火被覆材の接着する面への塗装 行わない 行う 耐火被覆材の接着する面以外への塗装 行わない 行う (塗装範囲 図示による)</p>																												

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
8 8	6 連続繊維補強工法 (8.2.13) (8.24.6)	工法 (一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法	8 10	4 仕上げ (8.26.13)	図示による	8 12	1 既存部分の処理等 (8.28.2)	既存杭の撤去等 撤去範囲及び方法 図示による () 杭頭部の処理 図示による () 既存杭の補強 図示による () 既存杭の健全性を確認する試験 図示による ()	9	3 可動間仕切 (20.2.3)	種 類 構造形式 構成基材 表面仕上 遮音性 パネル式 スタッド式 メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付 H' 補内に取付ける建具 寸法・形状
		材料 炭素繊維 アラミド繊維 ガラス繊維 性能 引張強度 N/mm ² ヤング係数 N/mm ² 製造所 製品名 柱及び梁の隅角部の 面取りの大きさ 炭素繊維シート 20mm以上 アラミド繊維シート 10mm以上 仕上げモルタルの除去 構造躯体まで除去する ひび割れ部改修 コンクリート打放し仕上げ 樹脂注入工法 ひび割れ部改修 樹脂塗り仕上げ 樹脂注入工法 炭素繊維の目付量 図示による 炭素繊維シートの巻数 図示による 引張強度試験 行う 試験数量 () 付着強度試験 行う 試験数量 ()			4 仕上げ (8.26.13)			図示による			1 既存部分の処理等 (8.28.2)
8 9	7 仕上げ (8.23.7) (8.24.7)	図示による	8 11	5 耐火被覆 (8.26.14)	仕様	9	2 埋戻し及び盛土 (8.28.3)	埋戻し及び盛土の種別 改修標準仕様書8.28.1による A種 適用箇所 () B種 適用箇所 () C種 適用箇所 ()土質 () 受渡場所 () D種 (細粒分(75µm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする) 適用箇所 () その他 (材料 工法) 地盤の変形を防止する適切な措置を講ずるための鋼矢板等の抜き跡の処理 図示による 山留め壁等の存置箇所 (図示)	9	4 移動間仕切 (20.2.4)	パネル操作法による種類/パネル表面材・仕上/パネル圧接装置の操作法/遮音性能
		図示による			仕様 工法			2 埋戻し及び盛土 (8.28.3)			埋戻し及び盛土の種別 改修標準仕様書8.28.1による A種 適用箇所 () B種 適用箇所 () C種 適用箇所 ()土質 () 受渡場所 () D種 (細粒分(75µm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする) 適用箇所 () その他 (材料 工法) 地盤の変形を防止する適切な措置を講ずるための鋼矢板等の抜き跡の処理 図示による 山留め壁等の存置箇所 (図示)
8 9	1 耐震スリット新設工事 (8.25.2)	方向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 垂直方向 完全 (全貫通型) スリット 耐火型 有り 水平方向 せん断型部分スリット 非耐火型 無し 品質・規格 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存鉄筋の処理 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつり出し 切断 存置(部分スリット) 耐震スリットの幅及び深さ 図示による 耐震スリットの充填材 耐火材の使用 使用する 使用しない 適用箇所及び仕様 図示による 遮音材の使用 使用する 使用しない 適用箇所及び仕様 図示による 既存部分の撤去の補修 図示による	8 11	6 減衰材 (8.27.4) (8.27.6)	減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 H' 鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による 既存部分が鉄骨造の場合 割製補強筋 以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40-60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3-1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) 図示による	9	3 杭地業 (8.2.15) (8.28.4)	支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ 図示による () 杭の材料、工法、寸法、施行方法等 図示による () 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施行方法 図示による () 杭の継手の箇所数、材料、工法等 図示による () 杭の溶接継手 技能資格者の技量 図示による () 溶接部の確認 図示による () 杭頭の処理 処理する 処理しない 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) 図示による () 杭頭の中詰め材料 基礎のコンクリートと同割合のもの 杭の精度 水平方向の位置ずれ 杭径の1/4かつ100mm以下 評定等の評価内容による 建込み時の杭の鉛直度 1/100以内 評定等の評価内容による 記録する施工状況等 図示による ()	9	5 トイレブース (20.2.5)	表面材 メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 幅木型 足金物型 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F ドアエッジの材質 トイレブース製造所の仕様による
		図示による			減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 H' 鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による			3 杭地業 (8.2.15) (8.28.4)			支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ 図示による () 杭の材料、工法、寸法、施行方法等 図示による () 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施行方法 図示による () 杭の継手の箇所数、材料、工法等 図示による () 杭の溶接継手 技能資格者の技量 図示による () 溶接部の確認 図示による () 杭頭の処理 処理する 処理しない 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) 図示による () 杭頭の中詰め材料 基礎のコンクリートと同割合のもの 杭の精度 水平方向の位置ずれ 杭径の1/4かつ100mm以下 評定等の評価内容による 建込み時の杭の鉛直度 1/100以内 評定等の評価内容による 記録する施工状況等 図示による ()
8 10	1 既存部分の撤去 (8.26.5)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。	8 11	3 減衰材 (8.27.4) (8.27.6)	減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 H' 鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による 既存部分が鉄骨造の場合 割製補強筋 以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40-60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3-1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) 図示による	9	4 砂利地業等 (8.2.15)	材料 再生クラッシュラン 切込砂利 切込砕石 砂利厚さ 60mm 砂地業 山砂 川砂 砕砂	9	7 階段滑り止め (20.2.7)	材種 ステンレス製 (SUS304) 幅 約3 5 mm 形状 ビニルタイヤ入り 両端フットあり (ビニル SUS304) 取付工法 接着工法 埋込み工法
		図示による			減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 H' 鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による			4 砂利地業等 (8.2.15)			材料 再生クラッシュラン 切込砂利 切込砕石 砂利厚さ 60mm 砂地業 山砂 川砂 砕砂
8 10	2 既存部分の処理 (8.26.6)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 図示による 本特記仕様書8-6-3による。 壁 (増打ち壁増設の場合) 図示による 本特記仕様書8-6-3による。	8 11	3 減衰材 (8.27.4) (8.27.6)	減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 H' 鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による 既存部分が鉄骨造の場合 割製補強筋 以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40-60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3-1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) 図示による	9	5 捨コンクリート地業 (8.28.4)	捨コンクリートの厚さ 50mm	9	8 黒板及びホワイトボード (20.2.9)	区分 種類 色彩 備考 黒板 焼付け 鋼製黒板 緑 曲面 ホワイトボード ほうろう黒板 黒 スクリーン付引分け ほうろう白板 白 曲面 スクリーン付引分け 額縁金属 アルミ製 (表面処理の種類 B-2 B-1) 品質・規格
		図示による			減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 H' 鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による			5 捨コンクリート地業 (8.28.4)			捨コンクリートの厚さ 50mm
8 10	3 支承材・減衰材 (8.26.7) (8.26.10)	支承材 材質 諸元 減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 H' 鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による	8 11	3 減衰材 (8.27.4) (8.27.6)	減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 H' 鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による	9	1 家具、ユニット等の揮発性有機化合物対策	収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板類、MDF及びPVCボード等のホルムアルデヒド等の放散量 F 揮発性有機化合物対策 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤 ホルムアルデヒド等の放散量 F 含まれる可塑剤 7-カド-7-カド等を含有しない、難揮発性のもの	9	9 鏡 (20.2.10)	厚さ (mm) 5
		図示による			減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 H' 鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による			1 家具、ユニット等の揮発性有機化合物対策			収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板類、MDF及びPVCボード等のホルムアルデヒド等の放散量 F 揮発性有機化合物対策 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤 ホルムアルデヒド等の放散量 F 含まれる可塑剤 7-カド-7-カド等を含有しない、難揮発性のもの
8 10	2 既存部分の処理 (8.26.6)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 図示による 本特記仕様書8-6-3による。 壁 (増打ち壁増設の場合) 図示による 本特記仕様書8-6-3による。	8 11	3 減衰材 (8.27.4) (8.27.6)	減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 H' 鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による	9	2 フリーアクセスフロア (20.2.2)	建設技術評価制度「耐震型フリーアクセスフロア」の技術評価を取得した製品とする。 施工箇所 寸法 フロア 耐震性能 所定荷重 帯電防止 漏えい 性能 抵抗 スロープ及びボーダー 製造所の標準仕様 図示による コンセント等の取付け 製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) 配線用取出し用開口 対応品又は工場加工品 (施工箇所は図示) 空調用吹出しパネル あり (固定式 可変式 施工箇所は図示) 表面仕上げ材の品質、規模等は、標準19章内装工事による。 フリーアクセスフロアの試験方法 耐荷重性能 耐衝撃性能 ローリングロード性能 耐燃焼性能	9	8 黒板及びホワイトボード (20.2.9)	区分 種類 色彩 備考 黒板 焼付け 鋼製黒板 緑 曲面 ホワイトボード ほうろう黒板 黒 スクリーン付引分け ほうろう白板 白 曲面 スクリーン付引分け 額縁金属 アルミ製 (表面処理の種類 B-2 B-1) 品質・規格
		図示による			減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 H' 鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による			2 フリーアクセスフロア (20.2.2)			建設技術評価制度「耐震型フリーアクセスフロア」の技術評価を取得した製品とする。 施工箇所 寸法 フロア 耐震性能 所定荷重 帯電防止 漏えい 性能 抵抗 スロープ及びボーダー 製造所の標準仕様 図示による コンセント等の取付け 製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) 配線用取出し用開口 対応品又は工場加工品 (施工箇所は図示) 空調用吹出しパネル あり (固定式 可変式 施工箇所は図示) 表面仕上げ材の品質、規模等は、標準19章内装工事による。 フリーアクセスフロアの試験方法 耐荷重性能 耐衝撃性能 ローリングロード性能 耐燃焼性能

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																				
12	<p>石綿粉じん濃度測定(9.1.1)</p> <p>行う 測定時期 測定場所 測定点(各施工箇所ごと) 備考 除去作業前 除去作業室内 1点 2点 3点 点 調査対象室外部付近 1点 2点 点 除去作業中 除去作業室内 1点 2点 3点 点 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/秒以下の位置 除去作業室外の場合 除去作業後 除去作業室内 1点 2点 点 シート養生中 除去作業後 除去作業室内 1点 2点 3点 点 シート除去後 調査対象室外部付近 1点 2点 点 1週間以降</p> <p>周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。行わない</p> <p>測定方法 ・自動測定器による測定 測定場所 測定方法 集じん・排気装置の排出口 繊維状粒子自動測定器(ワザイム)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・JIS K 3850-1に基づいた測定 測定場所 ヌブレン材の直径(mm) 試料の吸引流量(L/min) 試料の吸引時間(min) 集じん・排気装置の排出口(除去作業室内) 25 5 30 47 10 120 47 10 240</p> <p>測定機関 (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。</p> <p>報告書提出部数 3部 部</p> <p>施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出すること。「吹付石綿粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築大学の建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。</p> <p>除去を行う範囲 図示による(仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認) 全ての室</p> <p>除去工法 改修標準9.1.3(2)(7)による</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 セメント固化 溶融固化</p> <p>除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 石綿等の保管場所であることの表示を行う。</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の処分方法 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p>	12	<p>石綿含有成形板等の除去(9.1.5)</p> <p>除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去の方法 湿潤化したのちに手ばらし 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕</p> <p>隔離養生(負圧不要)方法 ○ 図示による 隔離シート</p> <p>足場 ○ 図示による 脚立足場をシート養生</p> <p>除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融施設) 石綿含有成形板等(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の撤去 除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去した石綿含有成形板等の処分 石綿含有せっこうボード 埋立処分(管理型最終処分場) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融施設) 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板等(下地調整材)の撤去 除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去の方法 手ばらし</p> <p>養生の方法 養生シート</p> <p>除去した石綿含有仕上塗材の処分 埋立処分(安定型最終処分場) 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p> <p>除去を行う石綿成形板等の仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>種 類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化粧石膏ボード</td> <td>9.5</td> <td>石綿ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td>2.0</td> <td>石綿スレート(外装・内装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿保温材</td> <td></td> <td>押出成形セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>けいそう土保温材</td> <td></td> <td>化粧石綿セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>塩基性炭酸マグネシウム保温材</td> <td></td> <td>石綿セメントけい酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム保温材</td> <td></td> <td>化粧石綿セメントけい酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>親水性バークライト保温材</td> <td></td> <td>吸音穴あき石綿セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>7 断熱アスファルト防水改修工事 改修特記仕様書第3章による 工法の種類 P1BI M3DI P2AI M4DI P0DI</p> <p>8 外断熱改修工事(9.2.2) ~ (9.2.4) 断熱材 種類 厚さ(mm) 断熱材の施工 断熱材製造所の仕様による 不陸等の下地調整 外装材製造所の仕様による 外装材 取付ける (種類 防火性能) 外装材の施工 断熱材製造所の仕様による 既存外壁 仕上げ材の撤去 下地面の清掃 下地の欠損部の改修(4.1.4[外壁改修工法の種類]による)</p> <p>9 断熱・防露改修工事(9.3.2) (9.3.3) 断熱材 種類 厚さ(mm) 断熱材の施工 断熱材製造所の仕様による 通気層 有(厚さ mm) 無 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法</p>	種 類	厚さ(mm)	種 類	厚さ(mm)	化粧石膏ボード	9.5	石綿ロックウール		ビニル床タイル	2.0	石綿スレート(外装・内装)		石綿保温材		押出成形セメント板		けいそう土保温材		化粧石綿セメント板		塩基性炭酸マグネシウム保温材		石綿セメントけい酸カルシウム板		けい酸カルシウム保温材		化粧石綿セメントけい酸カルシウム板		親水性バークライト保温材		吸音穴あき石綿セメント板		繊維混入けい酸カルシウム板				12	<p>(9.3.4)</p> <p>断熱材後張り工法 断熱材の種類 断熱材の厚さ(mm) 張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張り付け工法</p> <p>10 屋上緑化(9.4.2) ~ (9.4.4) 樹木の種類、寸法、数量等 図示による 下表による 種類 寸法 数量 備考 芝・地被類の種類 図示による コウライシバ(目地張り) ノシバ(目地張り) セダム類(カット ふるい プラグ苗)</p> <p>材料 見切材 舗装材 排水孔 材</p> <p>かん水装置 設置する(種類) 設置しない</p> <p>支柱材 杉(焼き丸太) 竹 ひのき から松(皮はぎ) 形式 図示による 防露処理方法 加圧式防露処理丸太</p> <p>幹巻用材料 幹巻き用テープ わら及びこも</p> <p>既存保護層の撤去 行う(工法は3.2.3[既存保護層等の撤去]による) 行わない</p> <p>新植芝及び地被類の枯補償 引渡しの日から1年 引渡しの日から年</p> <p>11 透水性アスファルト舗装改修工事(9.5.2) ~ (9.5.5) (9.5.9) 既存舗装の撤去及び再利用 図示による 路床の材料 種類 材料 厚さ(mm) 盛土 A種 B種 C種 図示 凍上抑制層 再生クラッシュラング クラッシュラング 図示 切込み砂利 砂 フィルター層 砂 図示 (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) 行う 行わない 路床安定処理 適用する 適用しない 路床安定処理の方法 置き換え工法 安定処理工法 ・路床安定処理用添加材料 種類 普通ポルトランドセメント 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 生石灰(特号1号) 消石灰(特号1号) 添加量 kg(目標CBR 3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 安定処理土のCBR試験 ジオテキスタイル 60g/m²以上 単位面積質量 0.5~1.0 厚さ(mm) 引張強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 1.5×10cm/sec以上 試験 路床土の支持力比(CBR)試験 行う 行わない 現場CBR試験 行う 行わない 路床締固め度の試験 行う 行わない</p>	12	<p>路盤 路盤の厚さ 図示 路盤材料 種類別 砕石 クラッシュラング 粒度調整砕石 再生材 再生クラッシュラング 再生粒度調整砕石 クラッシュラング鉄鋼スラグ 粒度調整鉄鋼スラグ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</p> <p>舗装の構成 図示による 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない</p> <p>舗装の平たん性 著しい不陸がないもの</p>
種 類	厚さ(mm)	種 類	厚さ(mm)																																								
化粧石膏ボード	9.5	石綿ロックウール																																									
ビニル床タイル	2.0	石綿スレート(外装・内装)																																									
石綿保温材		押出成形セメント板																																									
けいそう土保温材		化粧石綿セメント板																																									
塩基性炭酸マグネシウム保温材		石綿セメントけい酸カルシウム板																																									
けい酸カルシウム保温材		化粧石綿セメントけい酸カルシウム板																																									
親水性バークライト保温材		吸音穴あき石綿セメント板																																									
繊維混入けい酸カルシウム板																																											
4	<p>石綿含有吹付け材の除去(9.1.3)</p>	7	断熱アスファルト防水改修工事	10	屋上緑化	12	環境配慮改修工事																																				
5	<p>石綿含有保温材等の除去(9.1.4)</p> <p>除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去方法 原形のまま手ばらし 手ばらし以外(この場合は改修標準9.1.3(1)による隔離とする)</p> <p>除去した石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の処分 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p>	8	外断熱改修工事	11	透水性アスファルト舗装改修工事																																						

アスベスト対策工事仕様書

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	適用範囲 (9.1.1)	アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。 アスベスト含有吹付け材除去工事 除去工法 () 封じ込め工法 () 囲い込み工法 () アスベスト含有保温材等除去工事 アスベスト含有成形板除去工事	13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	仕上げ工事 (9.1.1)	アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 図示による	13	9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)
	法令等の遵守	施工にあたっては、「大気汚染防止法（昭和43年法律97号）」「労働安全衛生法（昭和47年法律57号）」「石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令21号）」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）」「建築基準法（昭和25年法律201号）」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）（平成12年法律104号）」「京都府建築物の解体等に伴う石綿の飛散防止に関する緊急措置条例（平成17年京都府条例45号）」等、石綿除去に関する諸法令に基づき適正に作業を行う。諸法令の適用及び運用は、受注者の負担と責任において行う。ただし、当該工事に関係のない事項は適用しない。	7 特別管理産業廃棄物管理責任者 (9.1.2)	特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板の除去工事を除く。	9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)	除去を行う範囲 図示による	13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事
石綿含有建材の調査 (1.5.1)	事前調査 ・施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示し、その写しを工事の現場に備え置く。 なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。 ・施工計画に先立ち、石綿障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。 事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石綿含有建材調査者、石綿作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書の写しを監督職員に提出する。 調査範囲 図示による 管理入室：天井・壁・床 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法 アスベスト含有分析 行う（分析結果を監督職員に提出する） 材 料 名 定性分析方法 定量分析方法 化粧せつこうボード (箇所数) (箇所数) 石綿板 VP (箇所数) (箇所数) Pタイル (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) サンプル数 1箇所あたり3サンプル JIS A 1481に基づくこと。 行わない 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1) アスベスト粉じん濃度測定 ○ 行う 測定時期 測定場所 測定点(各施工箇所ごと) 備 考 除去作業前 除去作業室内 1点 2点 3点 点 調査対象室外部付近 1点 2点 点 除去作業中 除去作業室内 1点 2点 3点 点 負圧粉じん装置の吹出し風速1m/秒以下の位置 排出吹き出し口 各 1点 2点 3点 除去作業室外 1点 2点 3点 点 除去作業後 除去作業室内 1点 2点 点 シート養生中 除去作業室内 1点 2点 3点 点 シート除去後 調査対象室外部付近 1点 2点 点 1週間以降 周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 行わない 測定機関 (公社) 日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。 報告書提出部数 3部 部	8 アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.3)	施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。 除去を行う範囲 図示による（仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認） 全ての室 除去工法 改修標仕9.1.3(b)(1)による 除去を行うアスベスト含有吹付け材の仕様 種 類 種 類 吹付け石綿 石綿含有吹付けロックウール 石綿含有吹付けひる石 石綿含有吹付けバーライト 除去したアスベスト含有吹付材等の飛散防止 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 セメント固化 溶融固化 除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地（（株）京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431） なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。	ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地（（株）京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431） なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。	除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地（（株）京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431） なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。	除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。アスベスト含有石膏ボード（管理型最終処分場における埋立処分）を除くアスベスト含有成形板 石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地（（財）宇治廃棄物処理公社 京都府宇治市池の尾仙郷山6-2 TEL 0774-21-2807） なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。

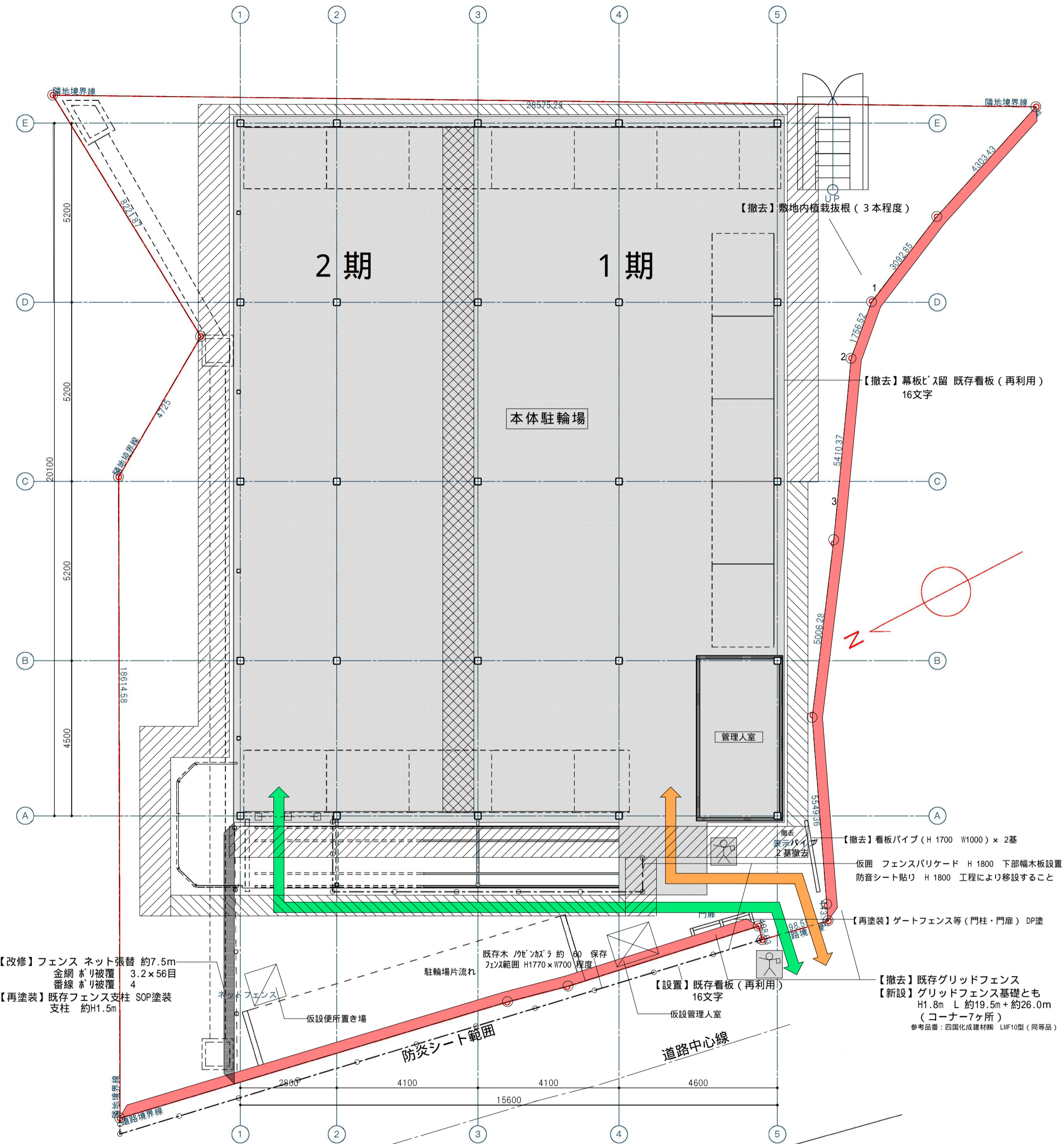


1. 工事車両入り口には、交通誘導員を常駐させる。
2. 工事範囲並びに、工事車両進入経路にある床、会所、側溝、その他の設備等について鉄板等により、損傷のないように充分養生を行う事。構外へ出る場合は、土、泥、碎石等が歩道等に出ない様に注意する。
3. 工事完成に際して、工事に使用した敷地は、清掃整地を十分に行い、損傷部分がある場合には補修する。又、工事により敷地内を荒らした場合は、清浄な山砂を敷均し、転圧する。建物内についても、清掃等を十分に行う。
4. 仮設計画等については参考とし、現場に応じ監督職員と協議し、承認を得たものとする。
5. 工事に必要な範囲の最小限度の樹木の枝払いと、雑草等の刈取りは、本工事に含む。又、これ等の発生材は受注者にて処分する。

仮設計画	
①	仮囲い フェンスバリケード H 1800 下部幅木板設置 防火シート貼り H 1800 工程により移設すること
②	カラーコーン H = 700 を示す コーンウエイトゴム製+コーンパーL = 2000共

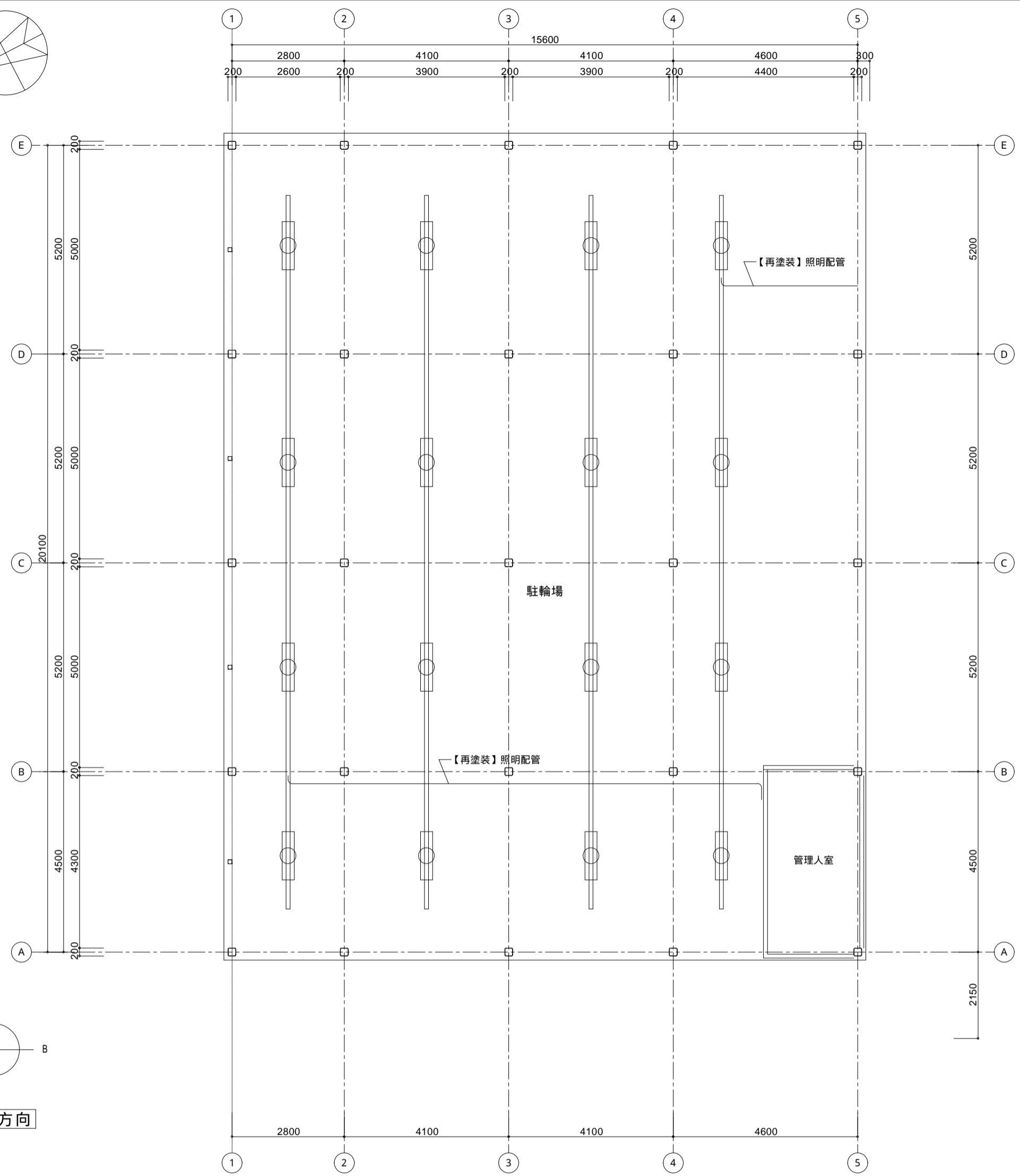
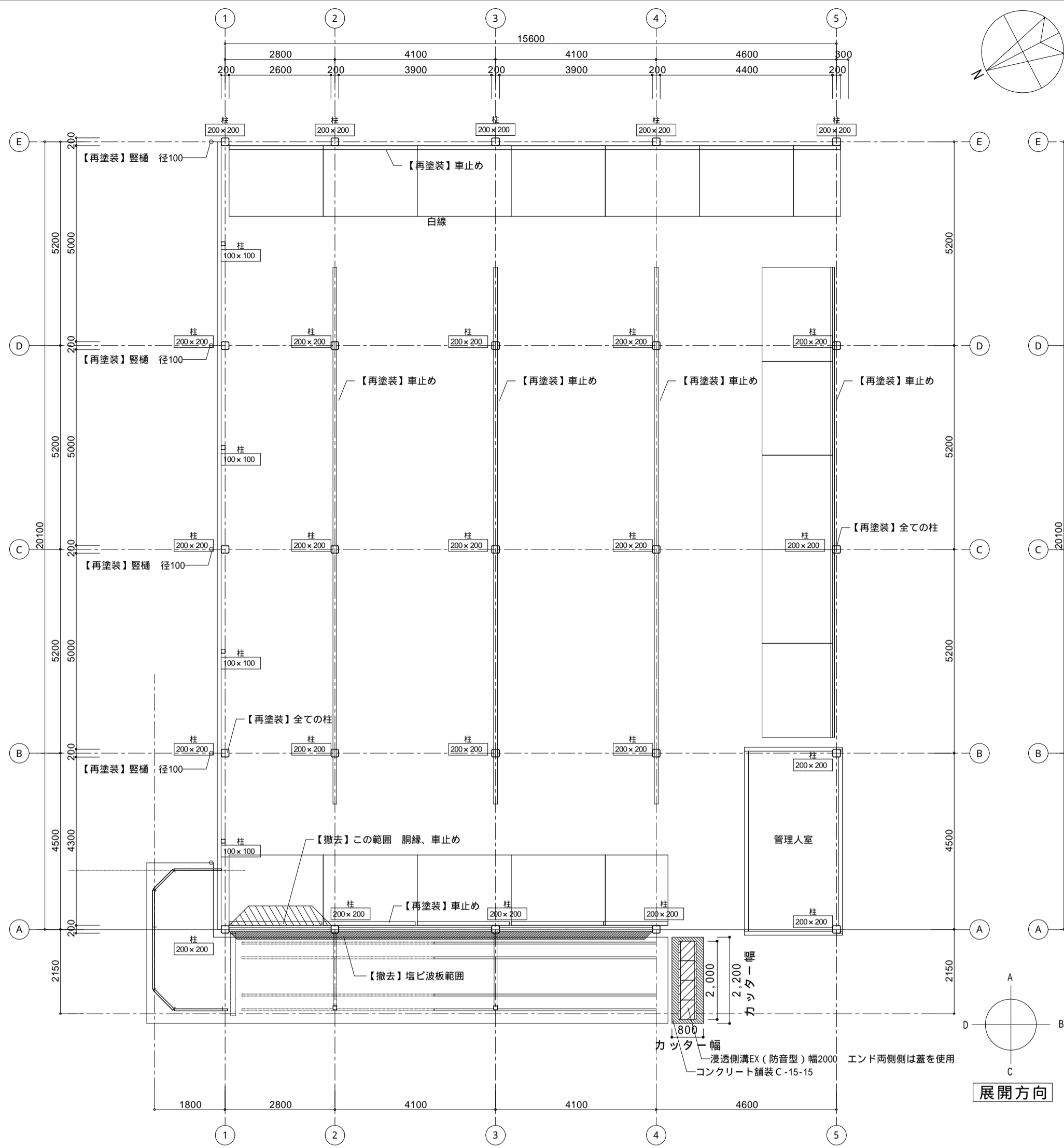
- 枠組本足場 W900 防火シートで囲う
- 枠組本足場 W600 防火シートで囲う
- 枠組本足場 W900【工程により設置】 防火シートで囲う

- 交通誘導員 (常駐1名、大型車両進入時等適宜増員)
- 工程打ち合わせによって利用者の侵入ルート



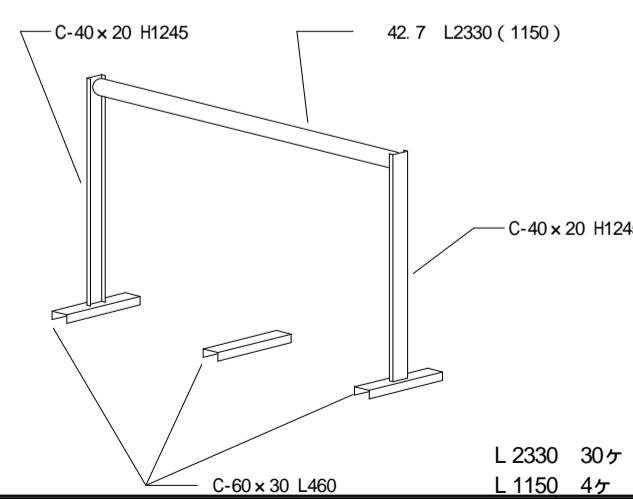
仕上表

改修場所	改修内容	既存仕様	改修仕様
管理人室			
外壁	塗装改修	石綿セメント板 t11 塗装(一般塗料)	外部用合成樹脂エマルジョンパテ外壁欠損部分補修・DP塗 RB種(下塗+中塗+上塗)
天井	貼替	化粧せっこうボード厚9mm	けい酸カルシウム板厚8mm+天井点検口600角X2箇所
廻縁	貼替	プラスチック廻縁	ボード厚9.0mmアルミ製 コ型
壁	幅木貼替	ソフト幅木 H=100	ビニル幅木(t=2) H=100
	壁下地貼替	耐水合板厚5.5mm下地	2類・タイプ 耐水ベニア(合板)厚5.5mm下地
	壁仕上貼替	石膏ボード厚9mm 一部石綿板VP	せっこうボード(GB-R)厚9.5mm+ビニルクロス貼り
床	貼替	Pタイル厚2.0mm	ビニル床タイル厚2.0mm
本体駐輪場			
樋	塗装改修	【本体駐輪場】 樋:再塗装、軒樋:撤去(交換)、【スロープ】 樋・横樋:撤去	樋:下地調整 RB種 球芯系プライマー DP塗装、軒樋: 150 新設、集水器: 4箇所 新設
1階駐輪場部分			
柱・梁・車止め	塗装改修	塗装(一般塗料) 鉄鋼面 OP	下地調整RB種、錆止めB種2回塗り、DP塗りB種
見上面全て	塗装改修	柱、梁、胴縁、デッキプレート、水平ブレース、レースウエイ、スロープ部下見上部全て	下地調整RB種、錆止めB種2回塗り、DP塗りB種
その他	塗装改修	車止め、側面の鋼製パネル、スロープ部手すり及び屋根下地全て	下地調整RB種、錆止めB種2回塗り、DP塗りB種
2階駐輪場部分			
手すり・鉄柱	塗装改修	2階踊り場手すり、屋根下地、北側鉄柱列、胴縁、看板フレーム及び柱のみ	下地調整RB種、錆止めB種2回塗り、DP塗りB種
塩ビ波板	撤去	1階駐輪場、スロープ、2階駐輪場及び北側面、全ての塩ビ波板	
片流れ駐輪場			
屋根	交換	小波板カラー鋼板 T=0.35・破風、アングル40 40 1.5材とも	小波板カラー鋼板 T=0.5・破風、アングル材40 40 1.5とも
樋	塗装改修	樋:再塗装、軒樋 100:撤去(交換)	樋:下地調整+DP塗装 軒樋 100:化粧硬質ポリ塩化ビニル 新設
腰板	交換	溶融亜鉛メッキ鋼板 角波サイディング アングル材とも	角波サイディング T=0.4 アングル材とも
外構			
ゲートフェンス等	塗装改修	門柱、門扉	下地調整RB種、錆止めB種2回塗り、DP塗りB種
フェンス	塗装・張替え	塗装:フェンスフレーム、フェンス柱(図示) 一部張替:ネット金網のみ(図示)	下地調整RB種、錆止めB種2回塗り、SOP塗りA種
浸透側溝	新設		浸透側溝EX(防音型)+蓋
車止め	新設	既存車止め撤去(図示)	アーチ形車止め

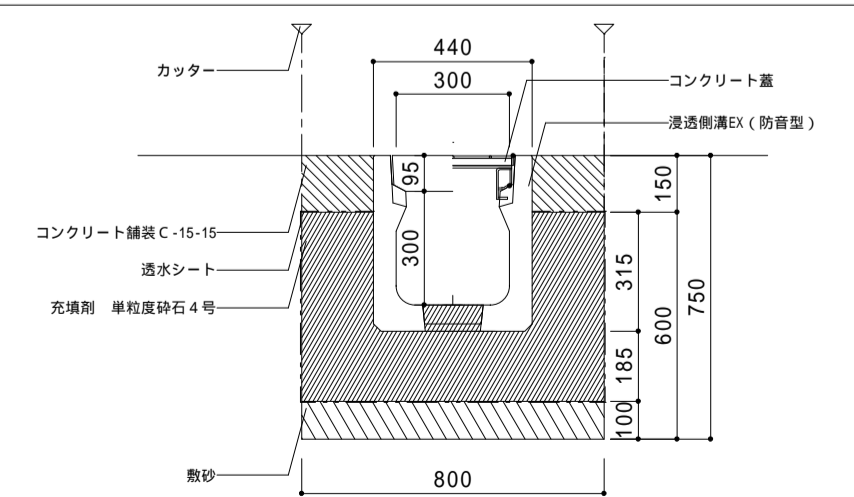
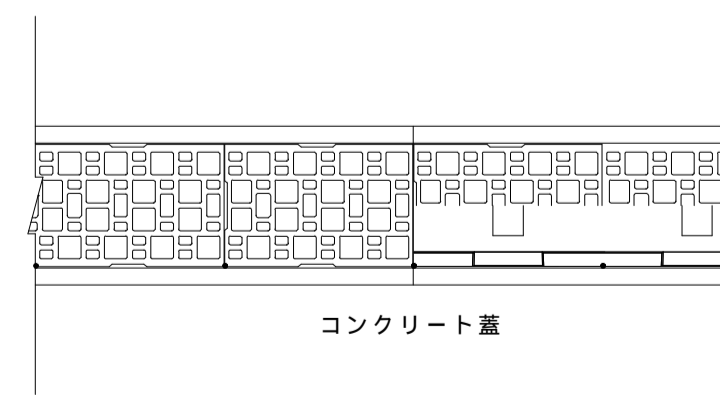
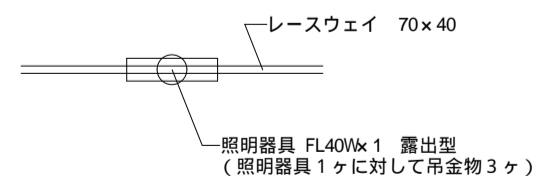


【 塗装改修対象箇所 A 14 参照 】

【 1階車止め 】



【 天井伏図-凡例 】



断面図 S : 1/20

断面図 S : 1/20

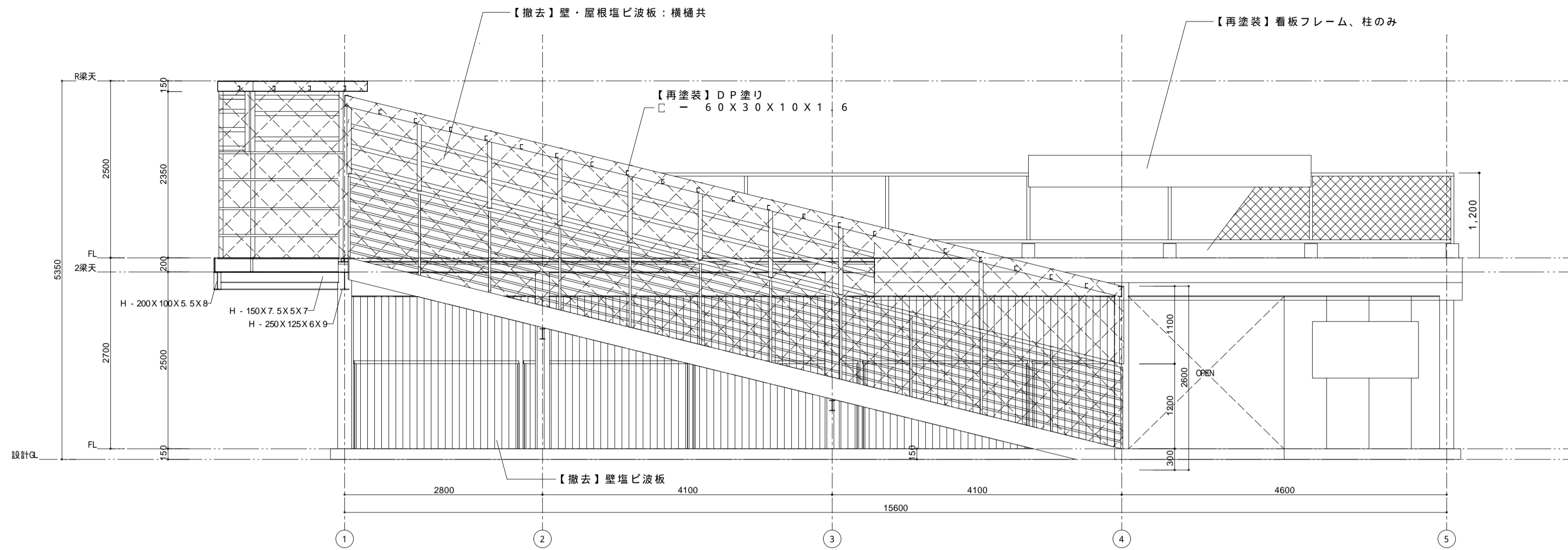
一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号
橋本一級建築デザイン事務所
〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302
一級建築士登録 第299760号 橋本光生

作成日 2025/5
検印

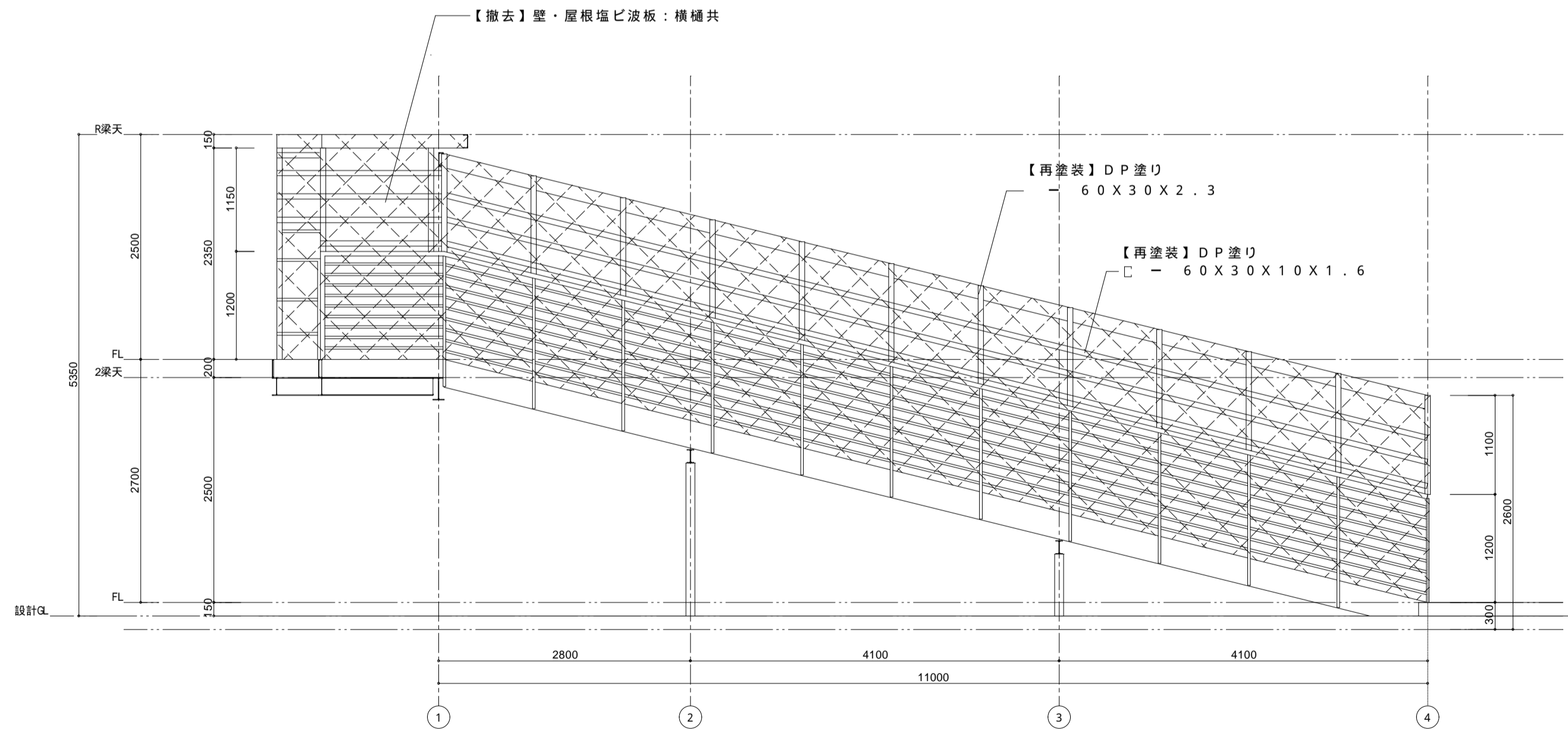
修正日
縮尺 1/100

工事名 京阪三室戸駅前自転車等駐車場改修工事
図面名 1階平面図 天井伏図(改修図)

図面番号 A-15

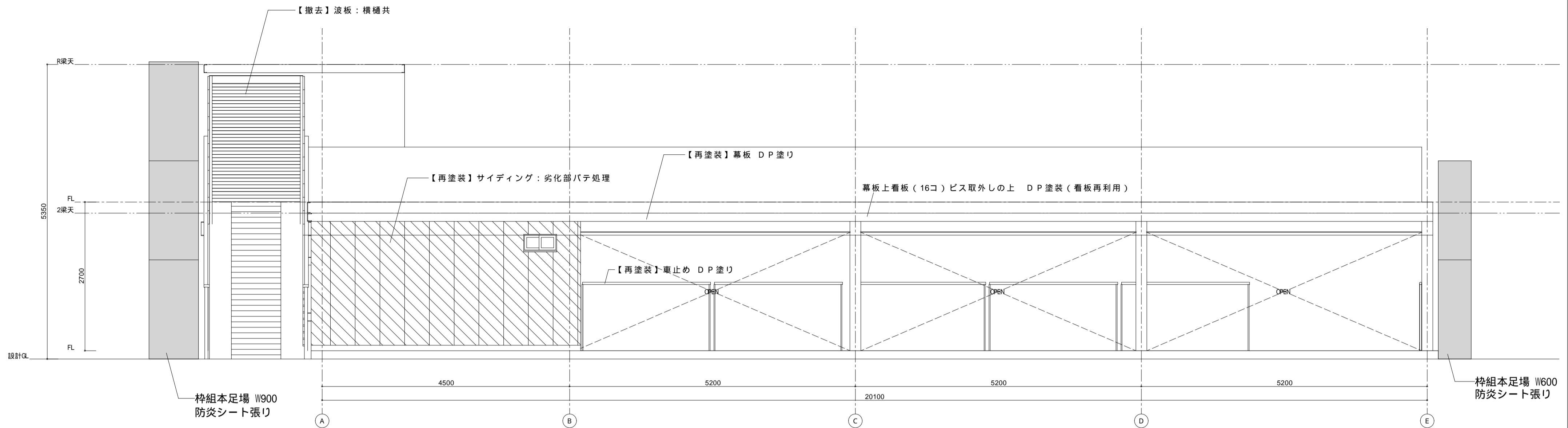


スロープ部断面、西側立面図 S : 1/50

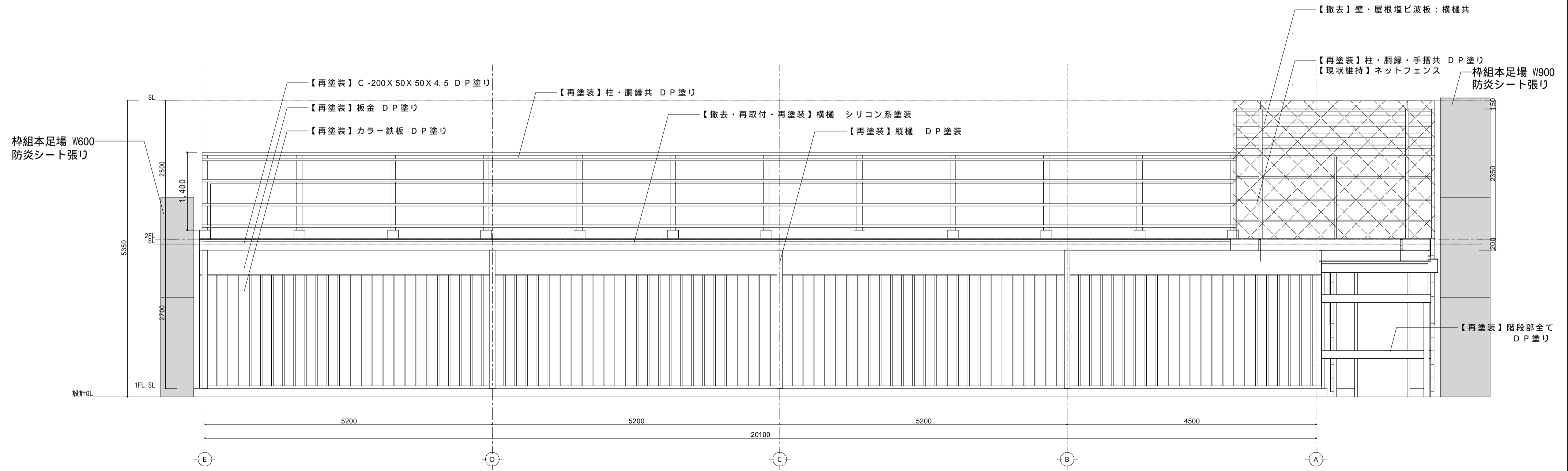


スロープ部立面図 S : 1/50

【 部材リスト 】	
鋼線・母屋	□ - 60X30X10X1.6
桁	[- 150X50X3.2
柱	- 60X30X2.3
13.0 クロス	



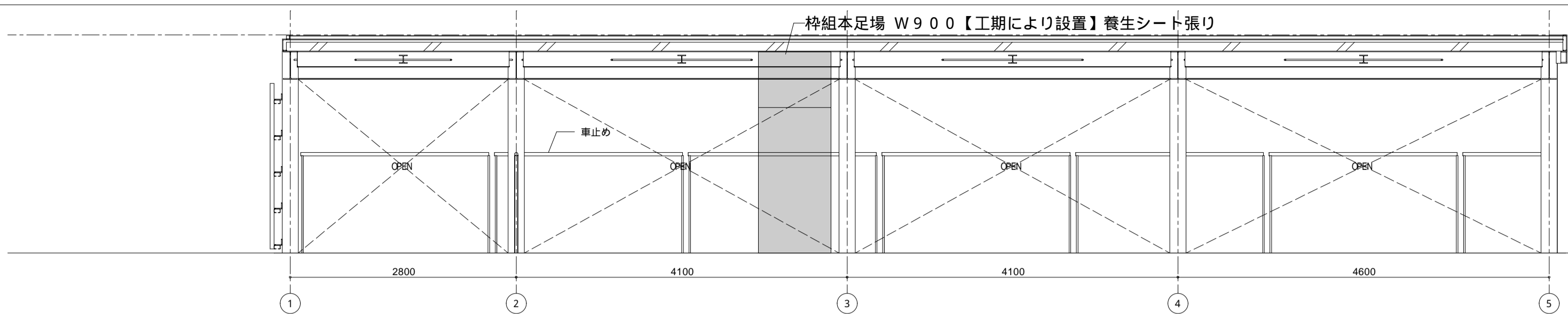
南立面図 S : 1/50



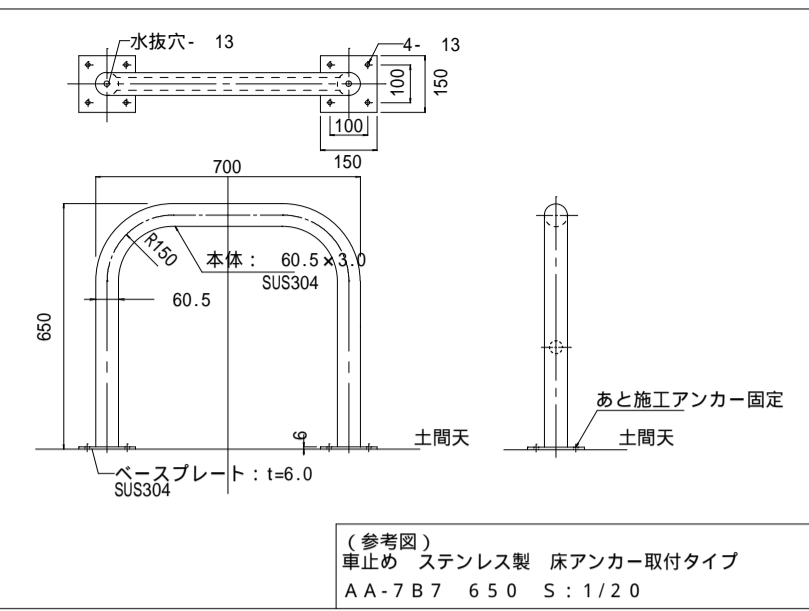
北立面図 S : 1/50

一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	作成日 2025/5	修正日	工事名 京阪三室戸駅前自転車等駐車場改修工事	図面番号 A-18
	検印	縮尺 1/50	図面名 南立面図・北立面図(改修図)	

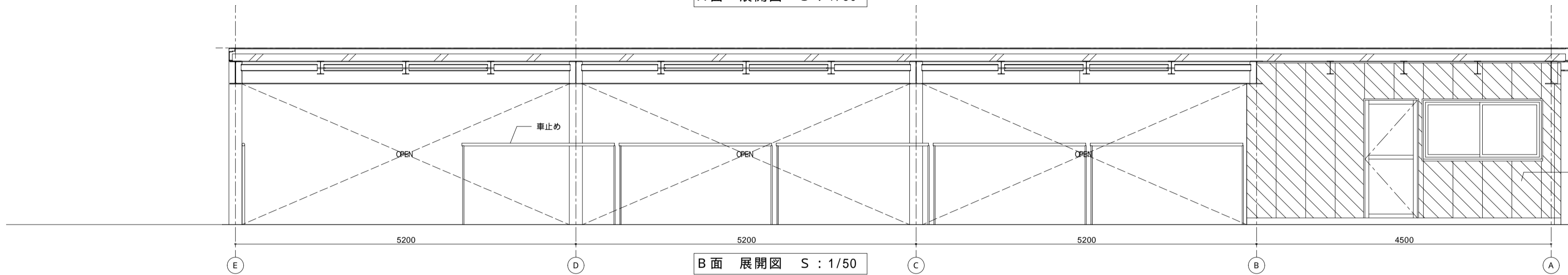
枠組本足場 W900【工期により設置】養生シート張り



A面 展開図 S : 1/50

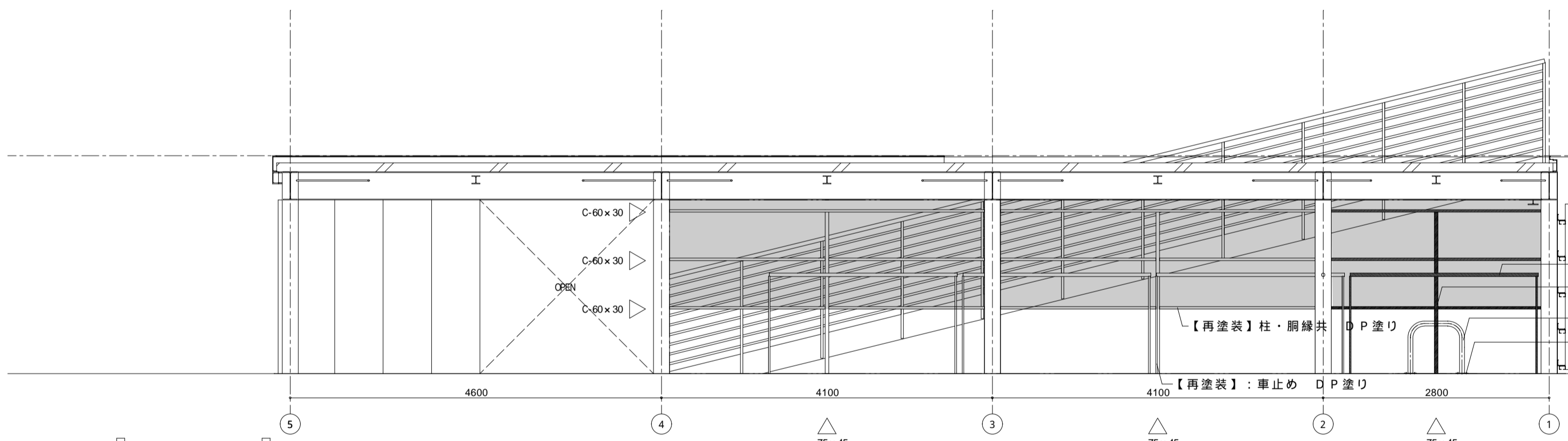


(参考図)
車止め ステンレス製 床アンカー取付タイプ
AA-7B7 650 S:1/20



B面 展開図 S : 1/50

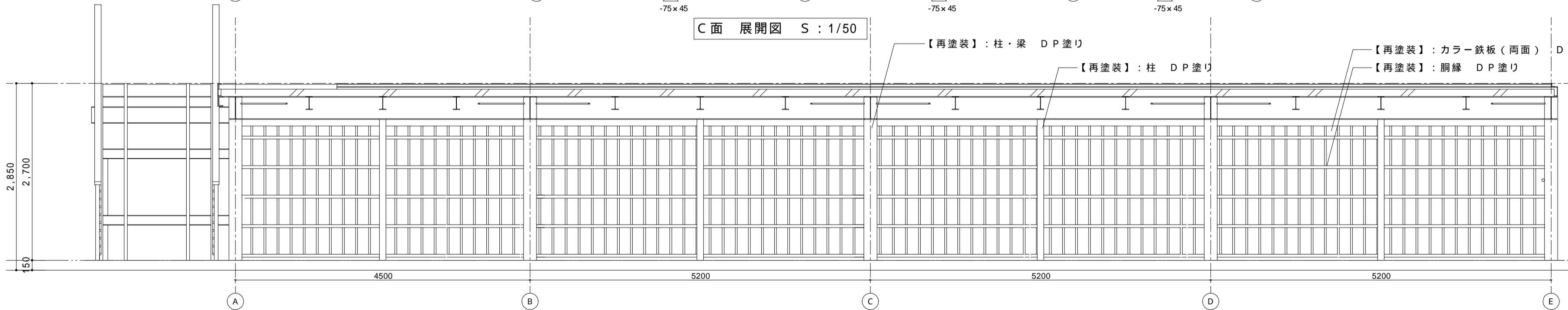
【再塗装】サイディング：NDA塗装
ただしサイディング、劣化部については、
外部用合成樹脂エマルジョンパテ処理の上施工



C面 展開図 S : 1/50

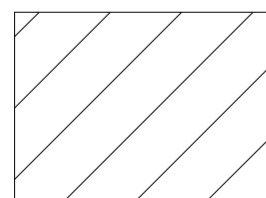
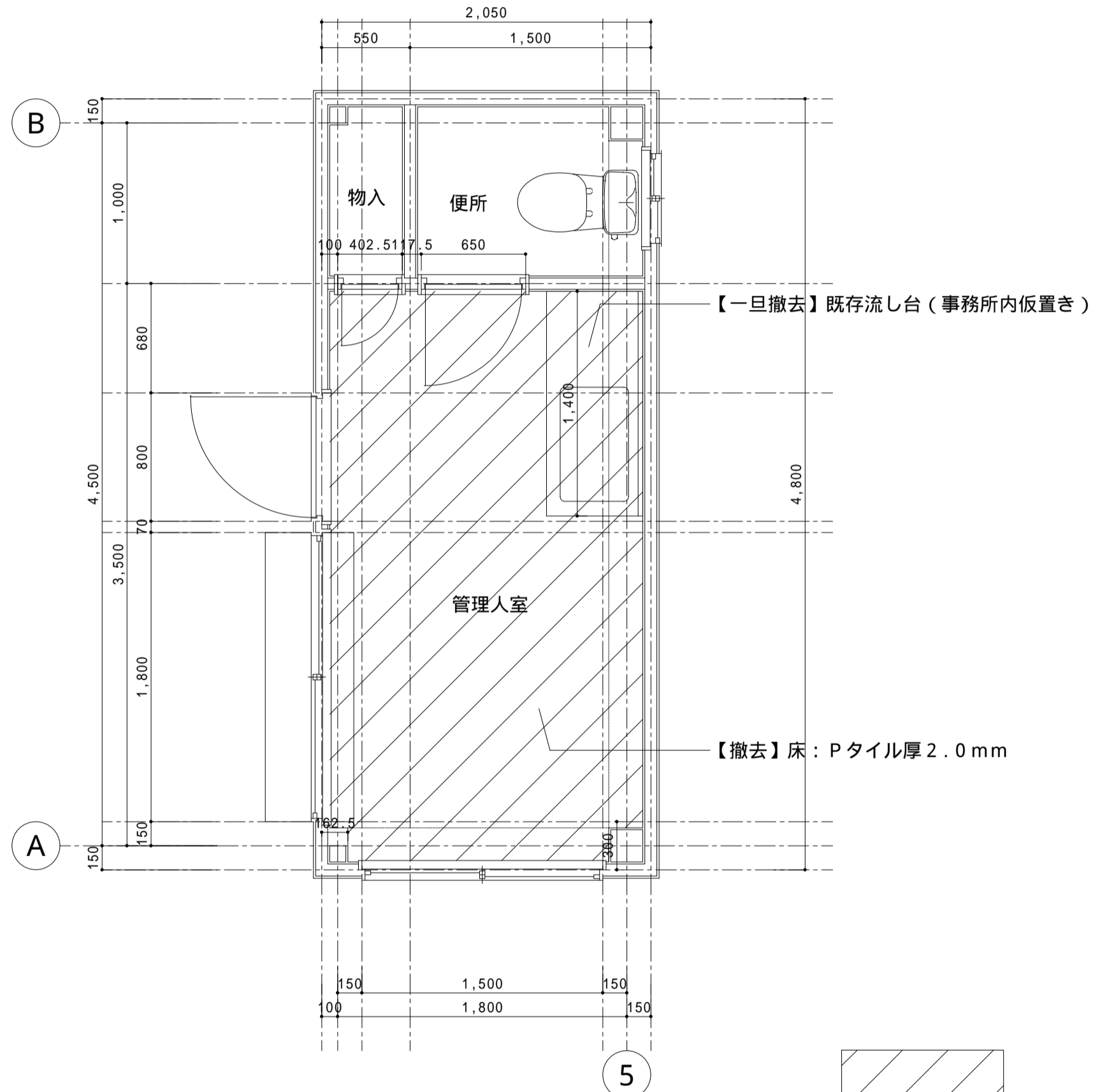
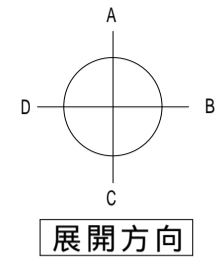
西面
透明波板張りの撤去範囲を示す

- 【撤去】車止め w 2.8m x L 2.15m
- 【撤去】1通り~2通り胴縁： -75X45・C-60X30
- 【新設】車止め 車止め ステンレス製 床アンカー取付タイプ AA-7B7 650同等品
- 【新設】あと施工アンカーARケミカルセッターHPアンカーHP-10 M10X140同等品 8本



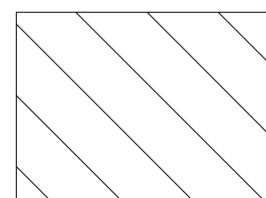
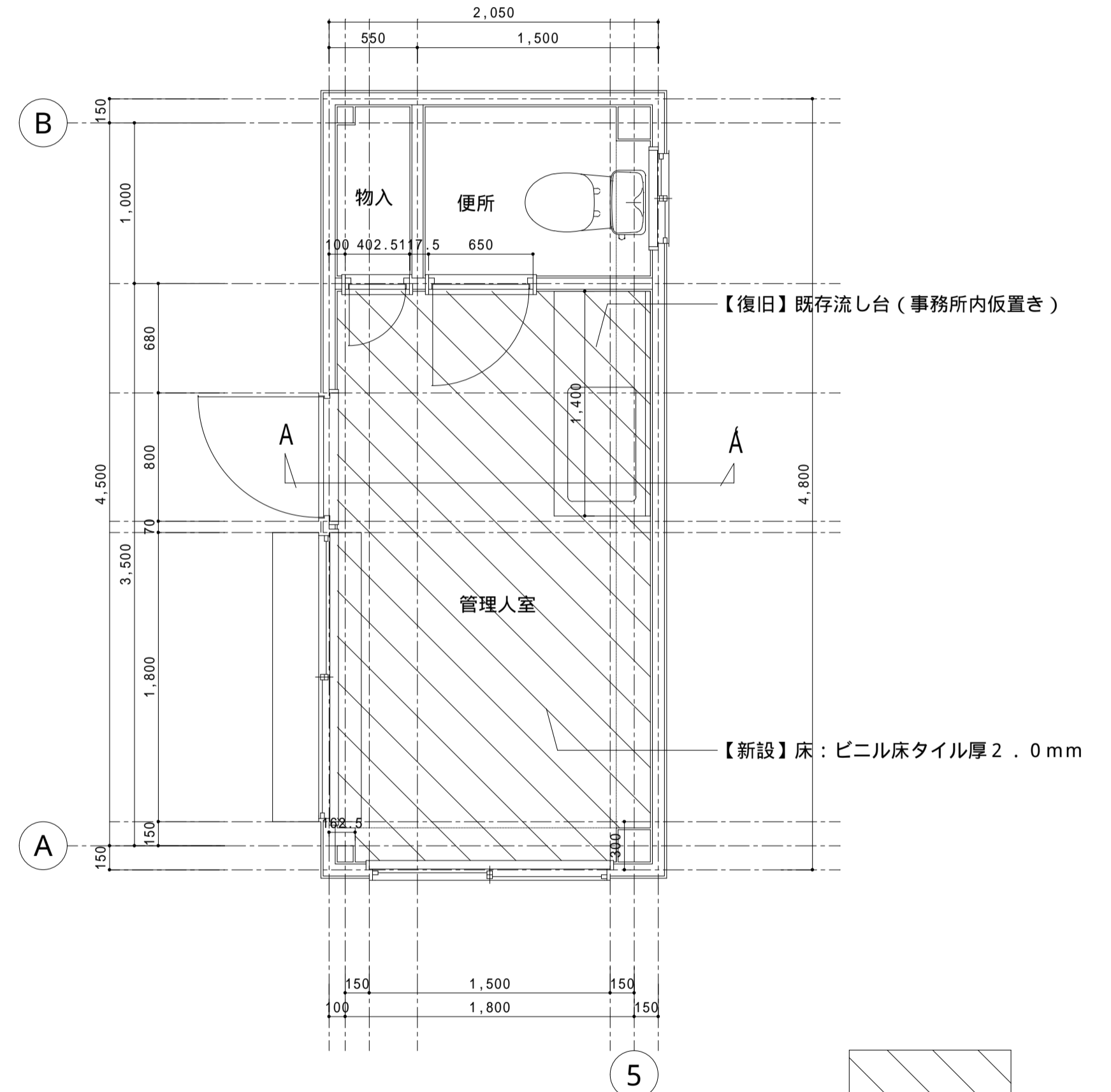
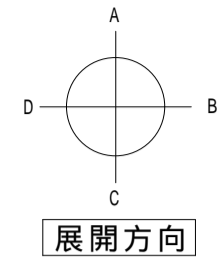
D面 展開図 S : 1/50

現状図



(改修範囲を示す) 【撤去】床範囲

改修図



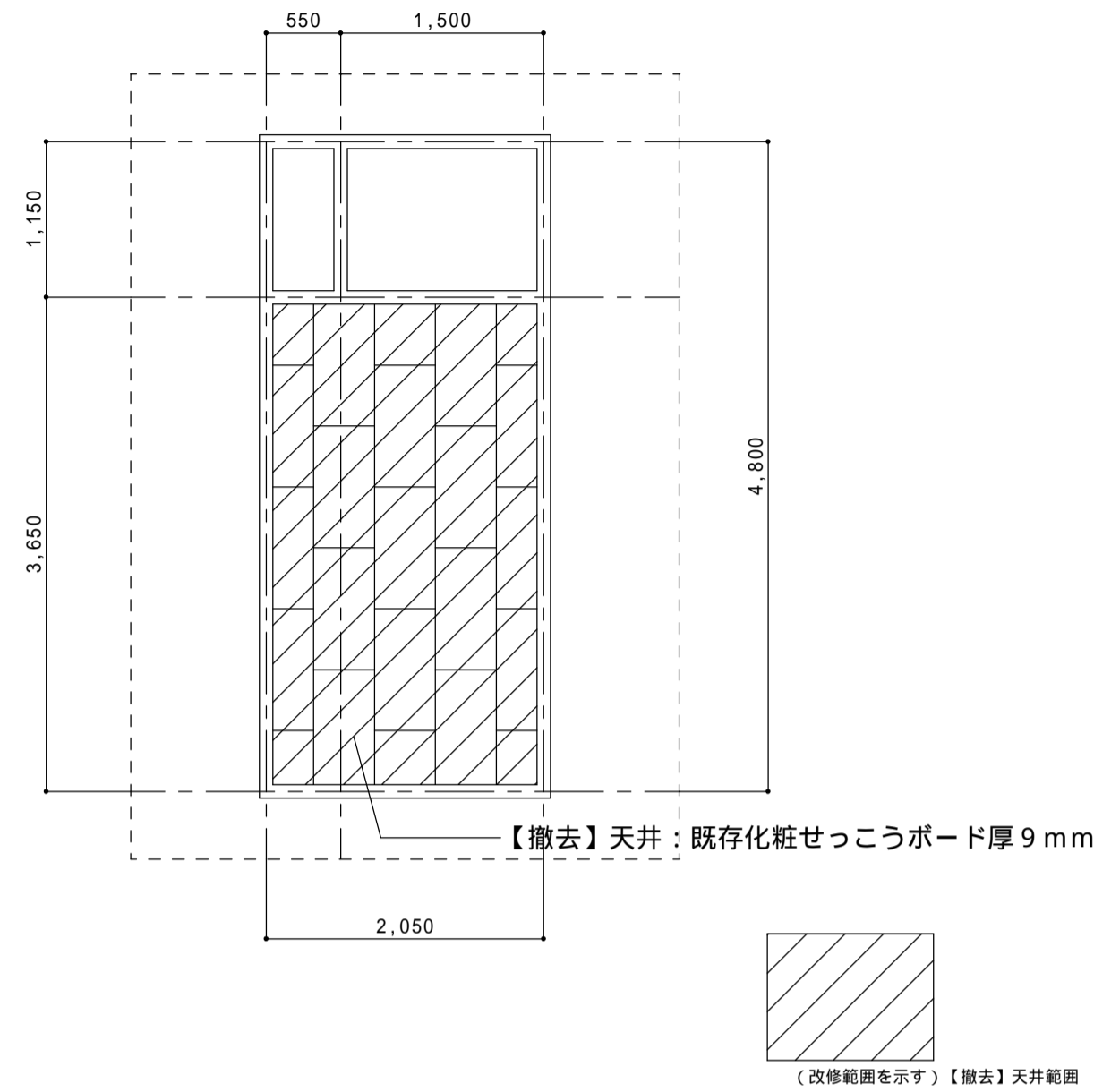
(改修範囲を示す) 【新設】床範囲

床：納品伝票、製造会社不明のためアスベスト含有の可能性がある 平面図 S : 1 / 3 0

平面図 S : 1 / 3 0

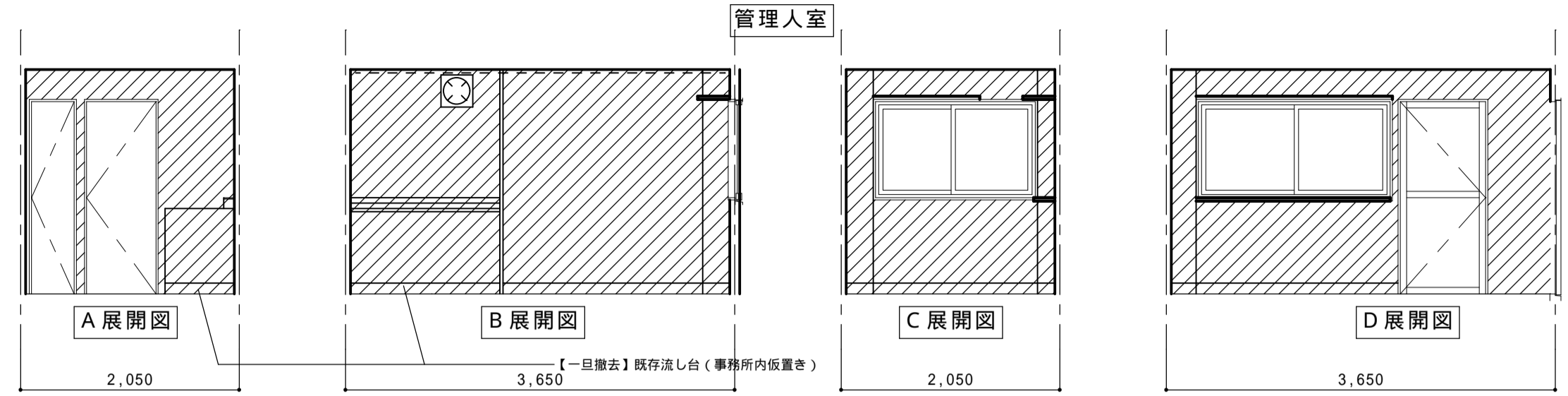
一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生		作成日 2025/5 修正日 検印 縮尺 1/30	工事名 京阪三室戸駅前自転車等駐車場改修工事 図面名 管理人室平面図(撤去図・改修図)	図面番号 A-20
--	--	--	--	--------------

現状図

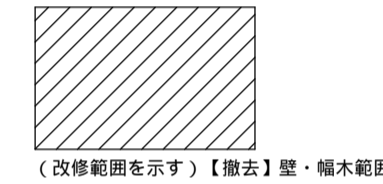


天井伏図 S : 1 / 5 0

天井：納品伝票、製造会社不明のためアスベスト含有の可能性がある



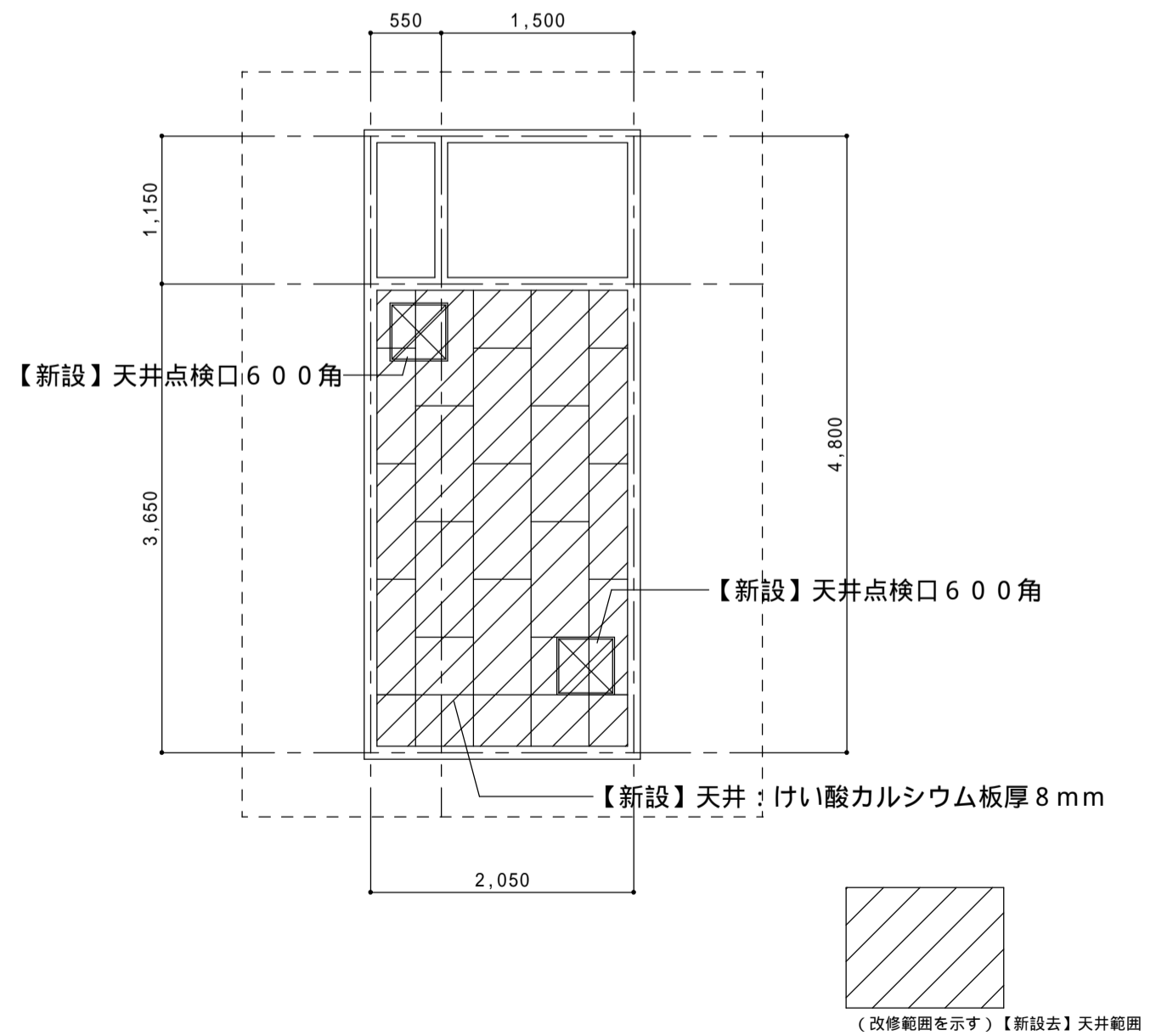
【撤去】天井	化粧せっこうボード厚9mm
【撤去】壁	耐水合板厚5.5mm下地 石膏ボード厚9mm 一部石綿板VP
【撤去】幅木	ソフト幅木 H=100
【撤去】床	Pタイル厚2.0mm
【撤去】廻縁	プラスチック廻縁



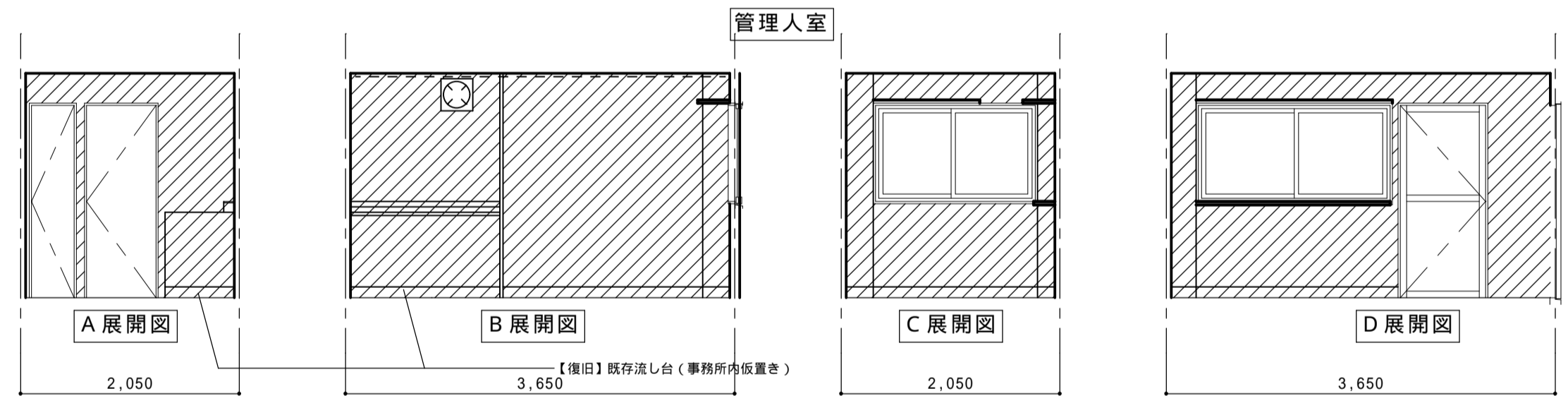
壁：納品伝票、製造会社不明であり、キッチンパネル下部に隠れている可能性がありアスベスト含有の可能性はある

展開図 S : 1 / 5 0

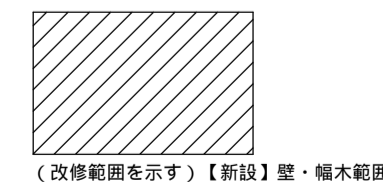
改修図



天井伏図 S : 1 / 5 0



【新設】天井	けい酸カルシウム板厚8mm
【新設】壁	耐水合板厚5.5mm下地 せっこうボード(GB-R)厚9.5mm ビニルクロス貼り
【新設】幅木	ビニル幅木 厚2X高さ100
【新設】床	ビニル床タイル厚2.0mm
【新設】廻縁	ボード厚9.0mm アルミ製コ型



展開図 S : 1 / 5 0

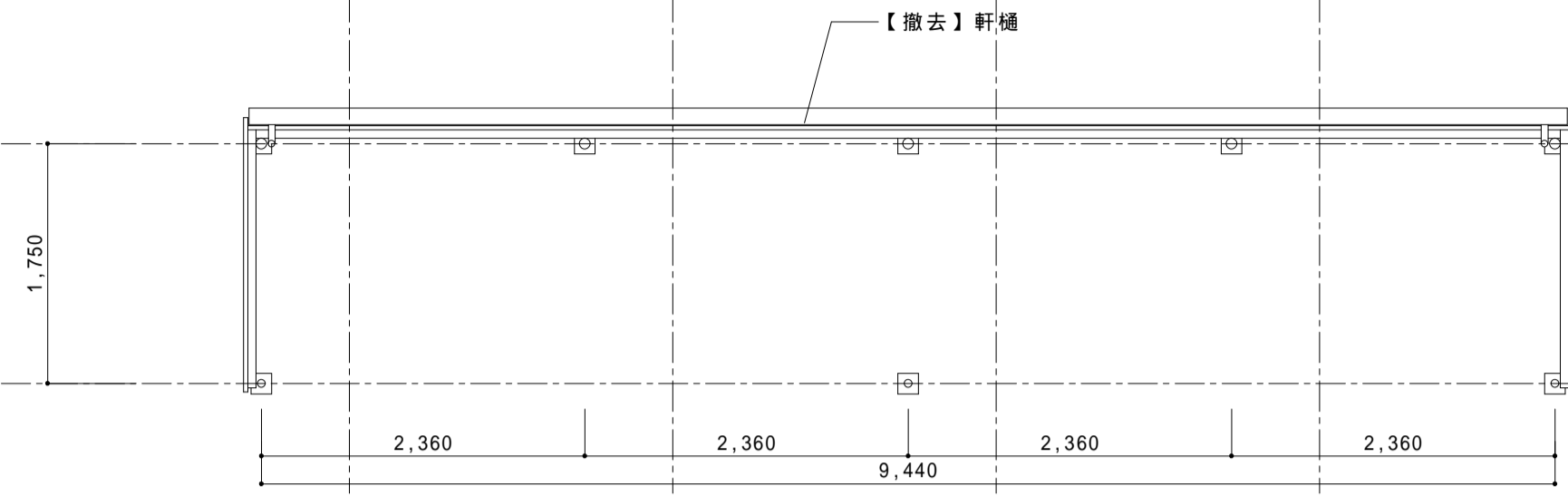
一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号
橋本一級建築デザイン事務所
〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302
一級建築士登録 第299760号 橋本光生

作成日	2025/5
修正日	
検印	

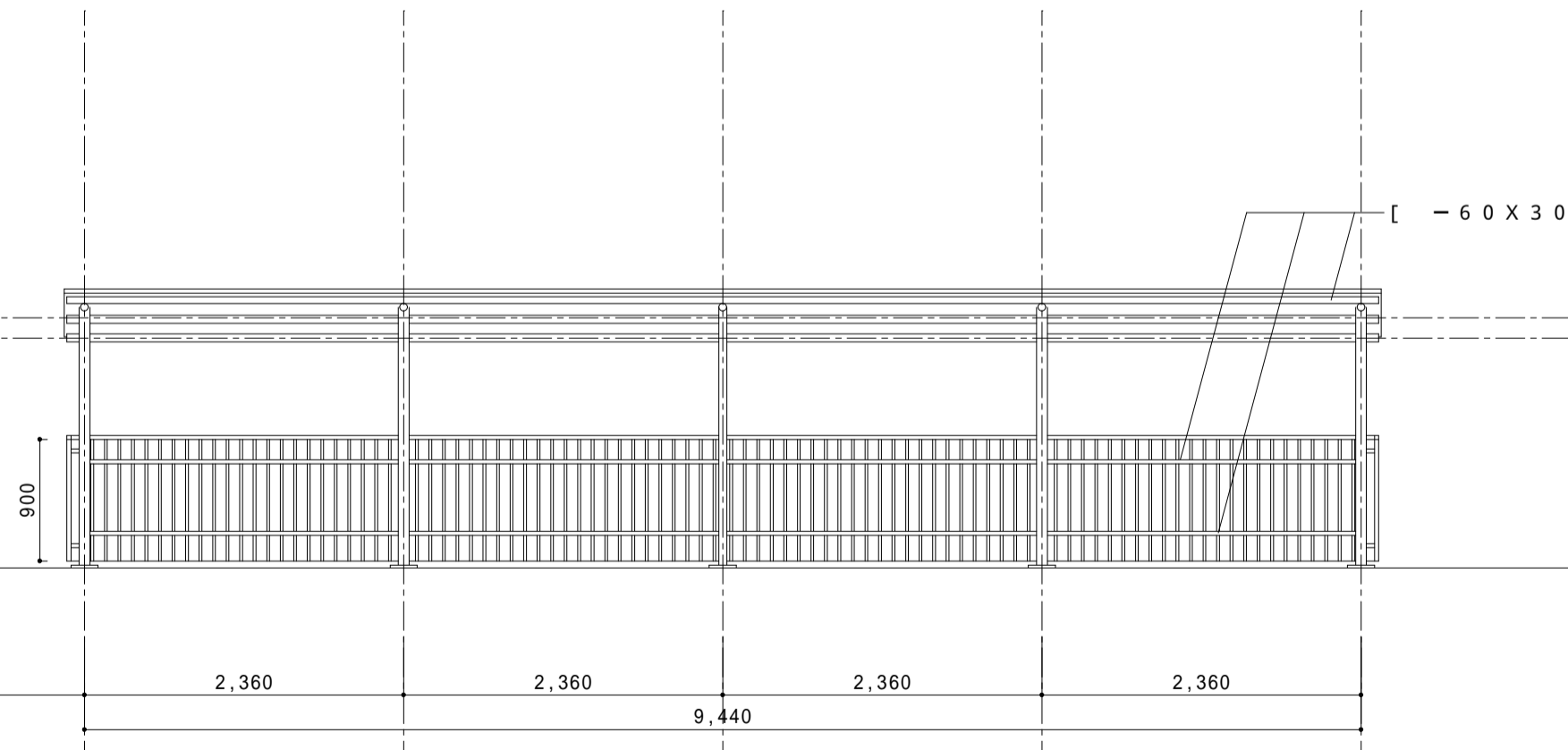
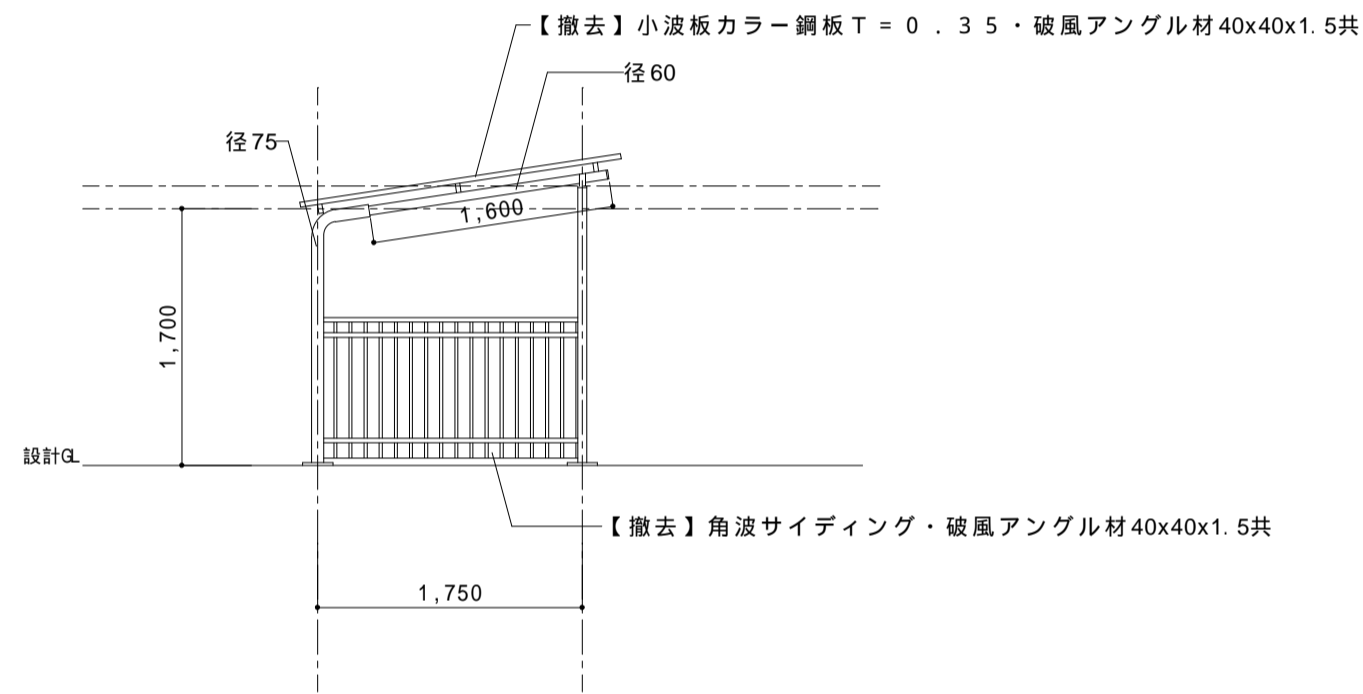
工事名	京阪三室戸駅前自転車等駐車場改修工事
図面名	管理人室展開図・天井伏せ図(撤去図・改修図)

図面番号	A-21
------	------

撤去図

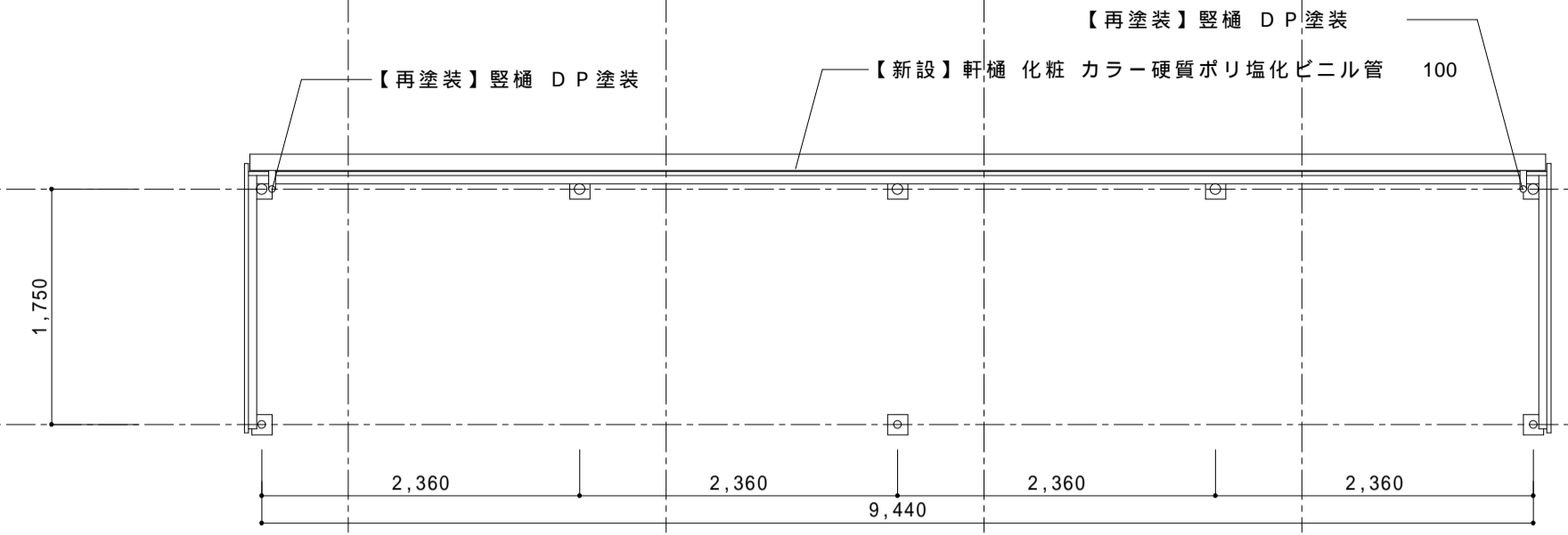


駐輪場 平面図 S : 1/50

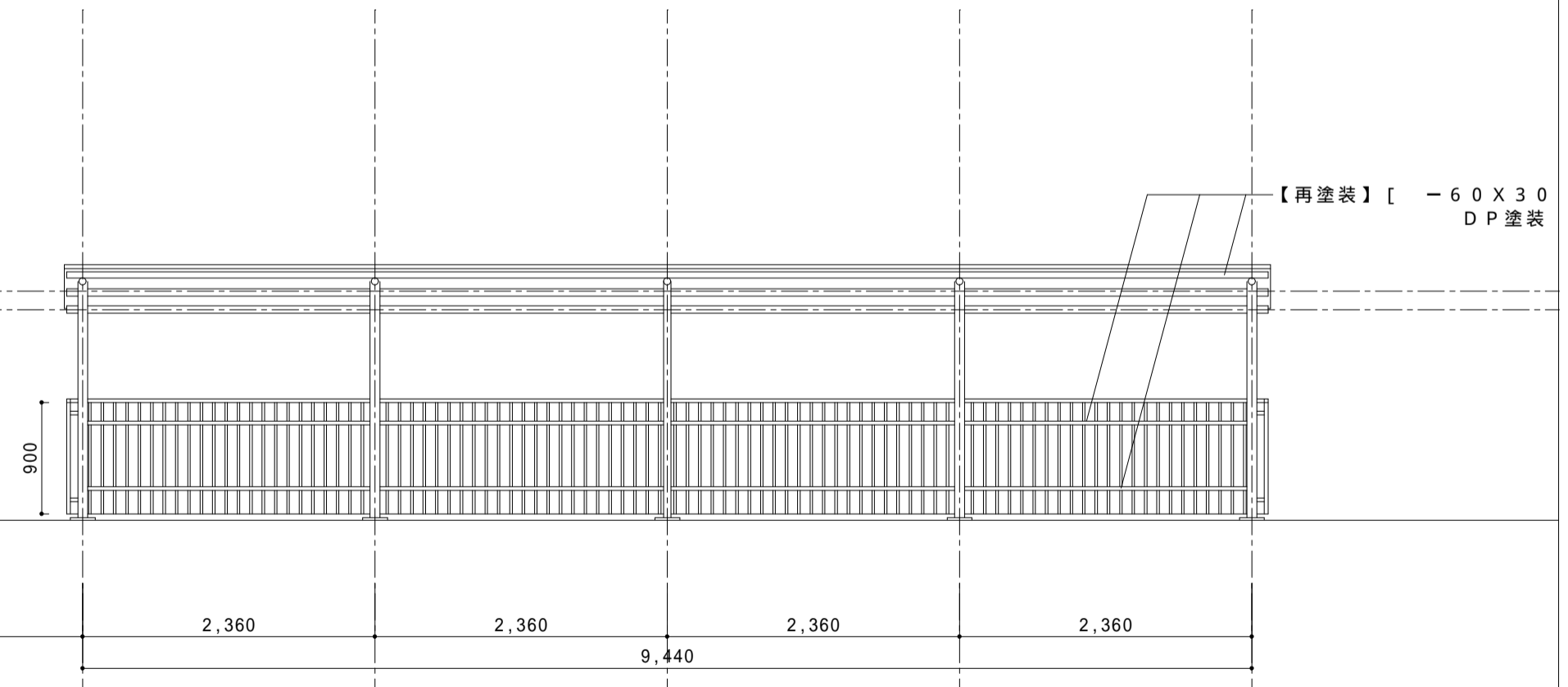
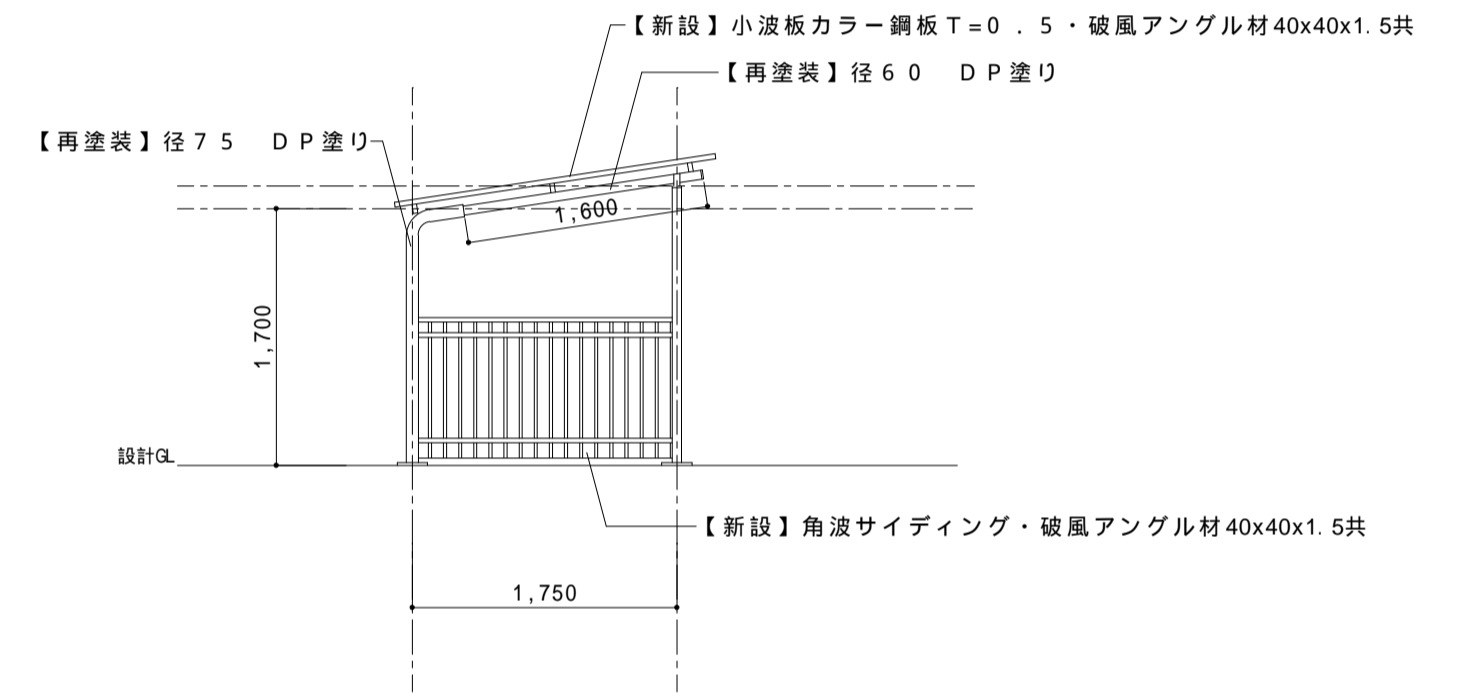


駐輪場 立面図 S : 1/50

改修図



駐輪場 平面図 S : 1/50



駐輪場 立面図 S : 1/50

一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	作成日 2025/5	修正日	工事名 京阪三室戸駅前自転車等駐車場改修工事	図面番号 A-22
	検印	縮尺 1/50	図面名 片流れ駐輪場 平面図・立面図(撤去図 改修図)	

電気設備工事特記仕様書 - 2

章	項目	特記事項			
電力貯蔵設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	直流電源装置	用途 その他	建築基準法用 過放電防止保護装置（直流不足電圧継電器）の設定電圧は、90Vとする。	消防法用	受変電設備専用
	交流無停電電源装置（UPS）	用途 方式	（ 一般形 簡易形		
	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	形式	オープン形	簡易形	キュービクル	
	連続運転可能時間	10時間（乙）	7.2時間（甲）		
	発電機	電気方式 電圧 定格出力	三相3線式 210V kVA以上	6.6kV 力率 0.8	415V
	原動機	種別	ガスタービン マイクロガスタービン	ディーゼル機関 燃料電池	ガスエンジン コージェネレーション
		定格出力 始動方式 冷却方式 現地負荷試験	kW（ PS）以上 電気式 ラジエーター式 行う	空気式 水循環式 行わない	
	燃料	種類 燃料小出槽 主燃料槽	重油 軽油	灯油	ガス（ ）
監視方式	警報盤による代表監視	中央監視盤による監視			
太陽光発電装置	太陽電池	アレイ 設置可能建築面積	公称最大出力 m ² 以下（長辺 m x 短辺 m）	kW以上	
	系統連系	受動	能動		
	パワーコンディショナ出力	相	線式	V	kW以上
	逆潮流	有	無		
	交流出力電圧	100V	200V		
	出力電気方式	三相3線式	単相3線式	単相2線式	
	外部移報	有	無		
	工事範囲	配管	配線	既設品取外し・再取付	
	施工方法	金属管配線	ケーブル配線		
	工事範囲	配管	配線	機器取付	
保安器用接地	本工事	別途工事			
形式	電子交換機	ボタン電話装置			
情報表示設備	工事種類	マルチサイン装置	出退表示設備	時刻表示設備	
	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	親時計及び付属装置	CR-PM プログラムタイマ（ カード式	CW-PM キー式		
子時計	特記なきものは	SWA ₃₃ -G ₉ B			
映像音響設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	施工方法	金属管配線	ケーブル配線	合成樹脂管配線	
拡声設備	工事範囲	配管	配線	既設品取外し・再取付	
	増幅器	用途	全館放送用（一般放送 非常放送）	ローカル放送用	
		自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。			
スピーカ	特記なきものは	SCHi-1V3-M	撤去品再取付		
誘導支援設備	工事範囲	配管	配線	既設品取外し・再取付	
	工事内容	音声誘導装置	検出方式（磁気式 無線式 画像認識）		
		インターホン	電話式	相互式	
		テレビインターホン	親機に子機カメラ角度調整機能（上下）を設ける。		
		トイレ等呼出し装置	1窓 3窓 5窓		
		呼出しボタン	壁付ボタン（プルスイッチの長さは0.2m程度とする） 壁付握りボタン（握りボタンの長さは1.2m程度とする）		
		通話機能			
		受付呼出し装置	誘導音		
テレビ共同受信設備	工事範囲	配去	配線	直列ユニット	
	アンテナ	UHF用 AM用	B5用 FM用	C5用 CATV	
	アンテナマスト	壁面取付形 自立形 配管用ステンレス鋼鋼管 一般構造用炭素鋼鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ） 圧力配管用炭素鋼鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ）			
	電界強度測定	電界強度及び品質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。			

章	項目	特記事項			
監視カメラ	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	画像	カラー	白黒		
	伝送方式	ネットワーク伝送方式	デジタル同軸伝送方式	〇	
	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	車両検出方式	ループコイル方式	光線方式		
	工事範囲	配管	配線	機器取付	取外し再取付
	工事種類	機械警備用配管 防犯装置	緊急通報設備用配管 入退室管理制御装置		
	自動火災報知装置	工事範囲	配管	配線	既設品取外し・再取付
		受信機	形 壁掛形 単独形 副受信機 壁面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。	級 自立形 複合形 窓	回線
		光警報装置			
	消火ポンプ始動	消火栓箱内押ボタン 発信機と連動（総合盤に始動表示灯を設ける。）			
	機器収容箱	消火栓一体形	単独形		
自動閉鎖装置	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	運動制御器	回線	【予備電源（蓄電池）内蔵】 自火報受信機と一体		
自動閉鎖装置	防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】 防煙ダンパ用 【別途工事 瞬時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構（電動式）DC24V 0.7A以下】 防火シャッター用 【別途工事 DC24V 0.6A以下】				
非常警報装置	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	電気方式	DC24V			
	電源装置	非常電源（蓄電池）	自動火災報知設備と兼用		
ガス漏れ火災警報装置	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	受信機	単独形	自火報受信機と一体		
	ガスの種類	都市ガス（13A）	液化石油ガス		
諸警報表示	受信機に諸警報表示窓（窓）を設ける。				
工事範囲	配管	配線	機器取付		
監視方式	警報盤	監視制御装置			
工事範囲	配管	配線	機器取付		
非接地電源用分電盤	キャビネット	鋼製	ステンレス製		
ナースコール装置	トイレ及び浴室等の 呼出押ボタン	有線式 防滴	無線式 防湿		
その他	オプション等の試験は、監督職員の指示による。				
電気方式	高圧 低圧	三相3線式 三相3線式 単相3線式 単2線式 （100V 200V）	6kV 200V 100/200V 200V		
ふ設方式	地中線	管路式	波付硬質合成樹脂管（FEP） ポリエチレン被覆管（PLP）		
	埋設深さ	特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装下面） から300mm以上とする。			
区分閉閉器	架空線	電柱	速心カプレストレストコンクリートポール		
	高圧負荷開閉器	7.2kV 300A			
	用途	架空引込用	地中引込用		
	構造	耐中埋じん用	耐重埋じん用		
	形式	引外し装置付き（SOG形）	引外し装置なし 避雷器内蔵		
マンホール及び ハンドホール	構造・寸法	標準図による	図示による。		
	蓋の文字	蓋の用途表示は電力とする。			
	ハンドホールにおいて	もケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合は、接地を省略してもよい。			
高圧ケーブル	屋外に使用する高圧ケーブルはEM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル（3層押出型）」に（よる 〇よらない） 高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。				
余長	高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。				
碍子、高圧ケーブル 端未処理	一般用	耐塩用	重耐塩用		
避雷器	屋外形	耐塩形			
装柱材	一般用	耐塩形			
外灯	基礎 本工事 別途工事				
	外灯ポールの材質が鋼製（SPC）の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。				
工事範囲	配管	配線	機器取付		
ふ設方式	地中線	管路式	波付硬質合成樹脂管（FEP） ポリエチレン被覆管（PLP）		
	埋設深さ	特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装（表層）下面） から300mm以上とする。			
	架空線	電柱	速心カプレストレストコンクリートポール		
マンホール及び ハンドホール	構造・寸法	標準図による	図示による。		
	蓋の文字	蓋の用途表示は通信とする。			
	ハンドホールにおいて	もケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合は、接地を省略してもよい。			

章	項目	特記事項			
調査 電波障害	調査範囲	測定のみ 工事前 工事中 完成後	対策工事実施設計書作成まで		
	測定時期	測定箇所			
	測定箇所	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。			
	測定内容				

別表 付属品・予備品

イーキーキャビネット	箱	キーボックス	テスター	マンホールフック
工具箱（ドライバー、モンキーレンチ、組スバナー、ハンマー）				
受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、2.0%とする。			

試験・検査一覧

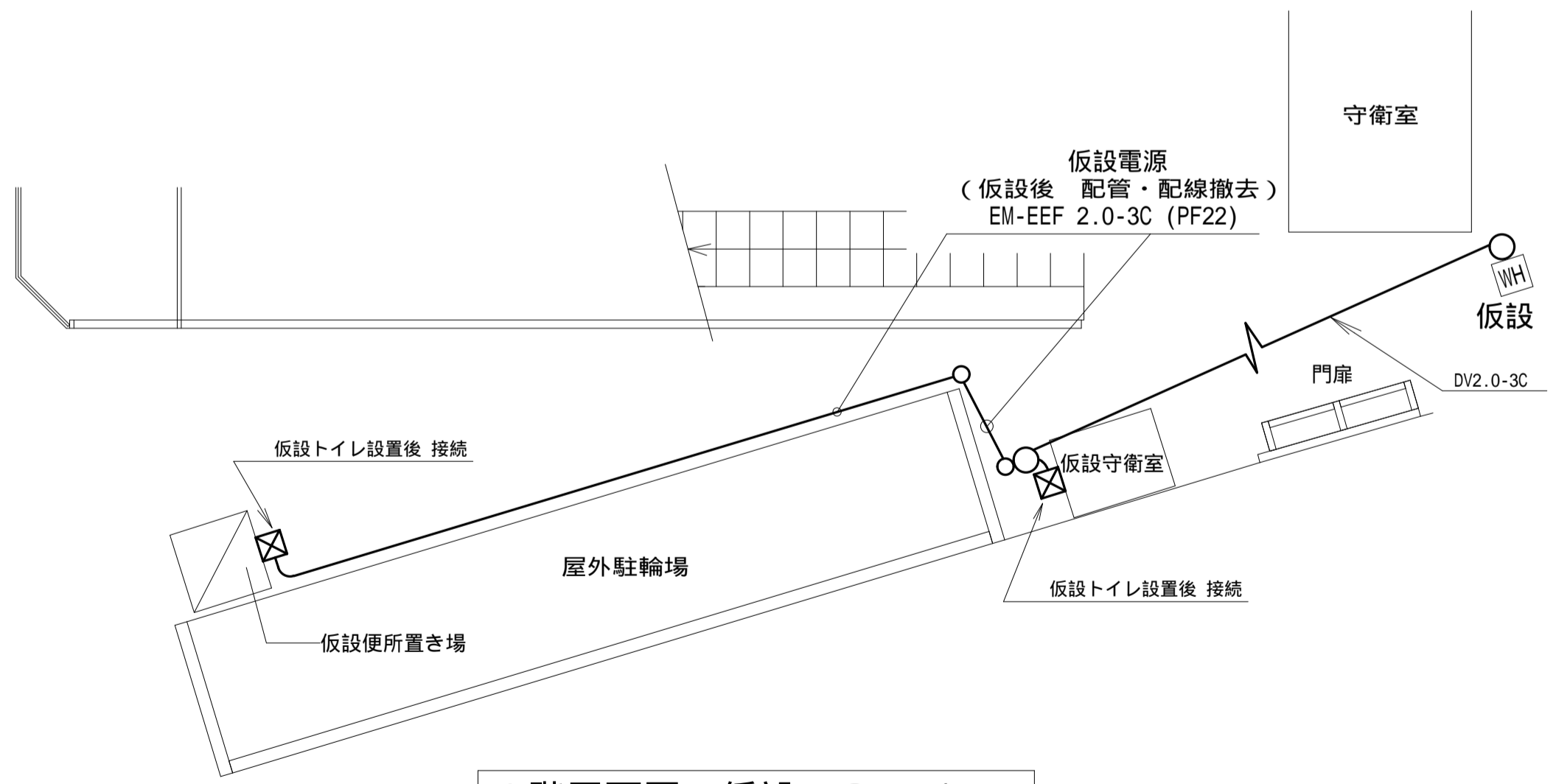
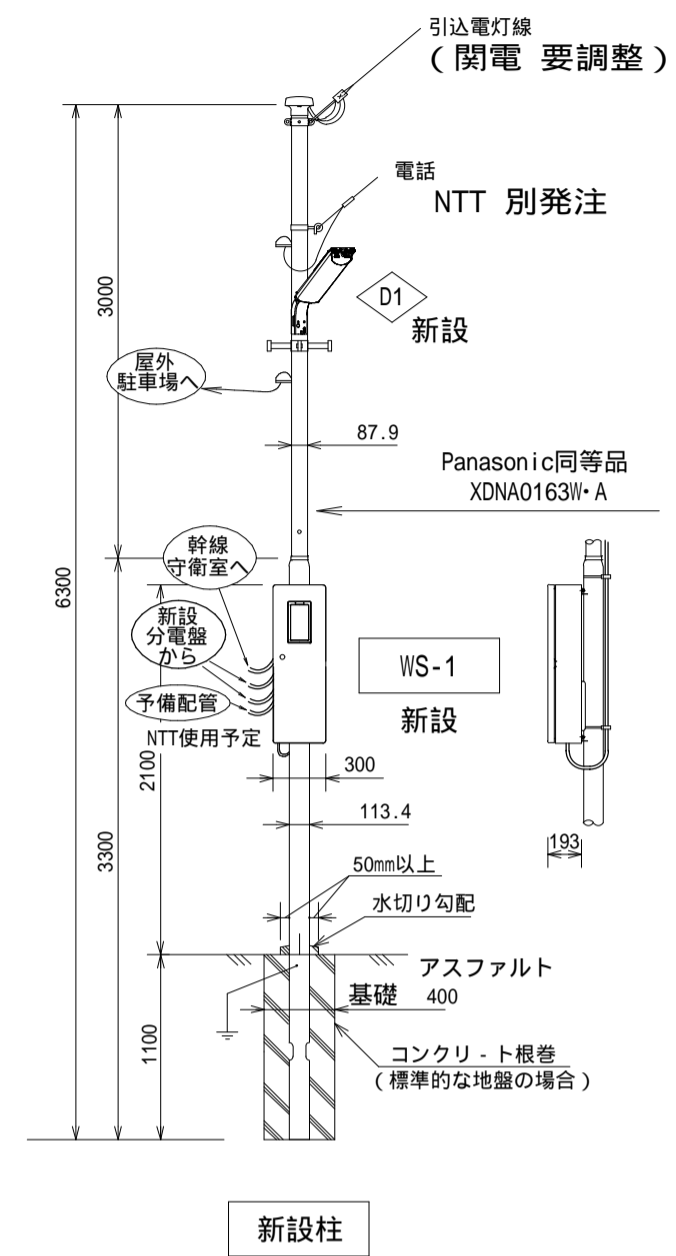
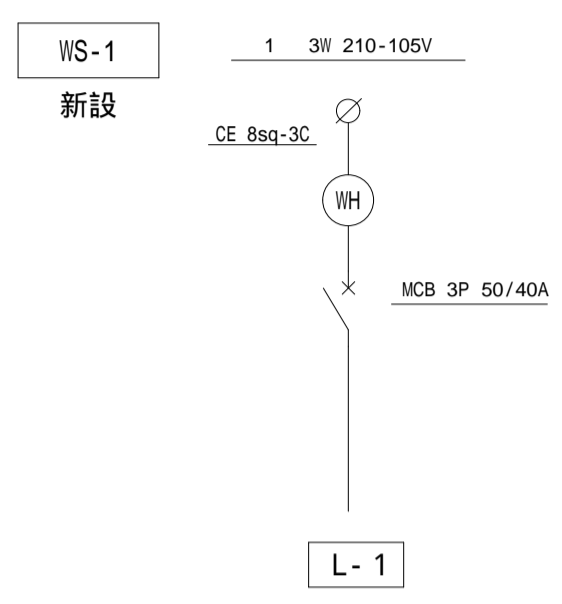
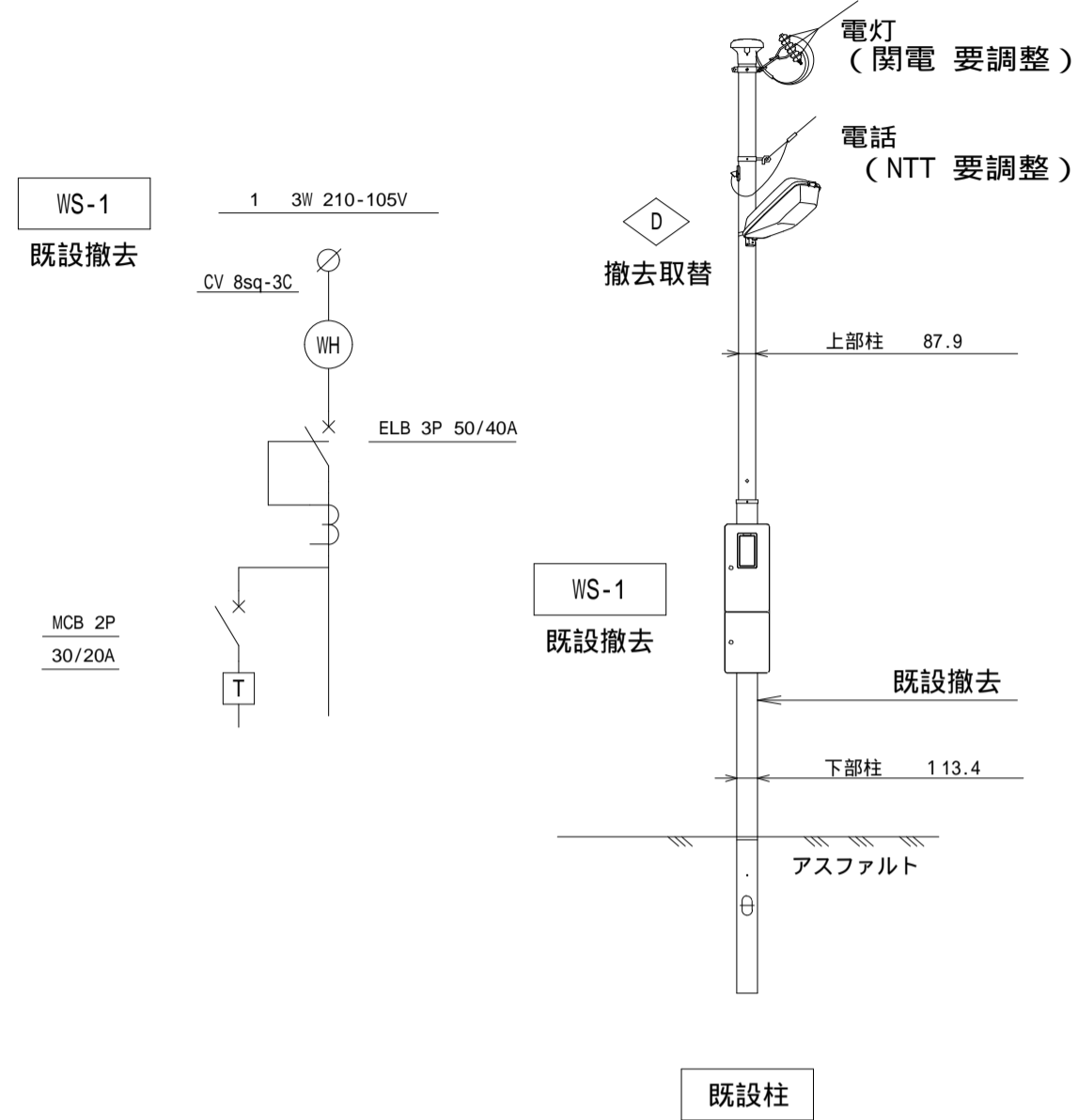
工事完成に際しては、各種試験、検査に合格の責任を持つ。
検査及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による他下記の項目とする。
受変電機器 動力盤及び電灯盤 耐圧試験 絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 機器機能試験 その他監督職員の指示するもの
工事着手に際し、事前に必要な機器（照明機器、空調機器、放送設備等）の機能確認を行い、確認結果報告書を提出する。
工事着手前に既設照明器具で床面照度を測定し、完成後の照度と比較する。（照度測定箇所は監督職員の指示する箇所とする。）
着工前・工事完成後、空調設備・換気設備の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
着工前・工事完成後、放送機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
後施工アンカーの施工確認試験（引張試験機による引張試験）は、1日の施工本数の3%以上かつ3本以上とする。
例 盤・ケ-ブルラック・ケ-ブルダクト等

その他

試験機器類の校正記録を提出する。
停電工事の必要時は、当該高圧受変電設備の電気主任技術者と協議し、打合せ記録を提出する。
尚、電気主任技術者の立会費用は本工事に含む。
工事に係る申請手続き費等の竣工に必要な費用は本工事に含む。
分電盤等の端子接続部施工管理手順は、電気設備工事監理指針（令和7年度版）の資料11（P1172）に基づき施工する。
鉄筋コンクリ-トをダイヤドリル等で貫通する時は、鉄筋探査機で開口位置を確認する。
整備不良の電動工具等持ち込まない。
構外搬出適切廃棄処分とする（電線、電線管、器具、管路等報告書を提出する）。
交通誘導員は大型機器搬入時及び監督職員が必要と指示した時は、安全確保のため交通誘導員を2名以上配置する。
カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。
主要なブルボックス内にはケーブル札を取り付ける。

機器取付高さ（参考寸法の為、盤の寸法・取付位置は監督員と協議する。）

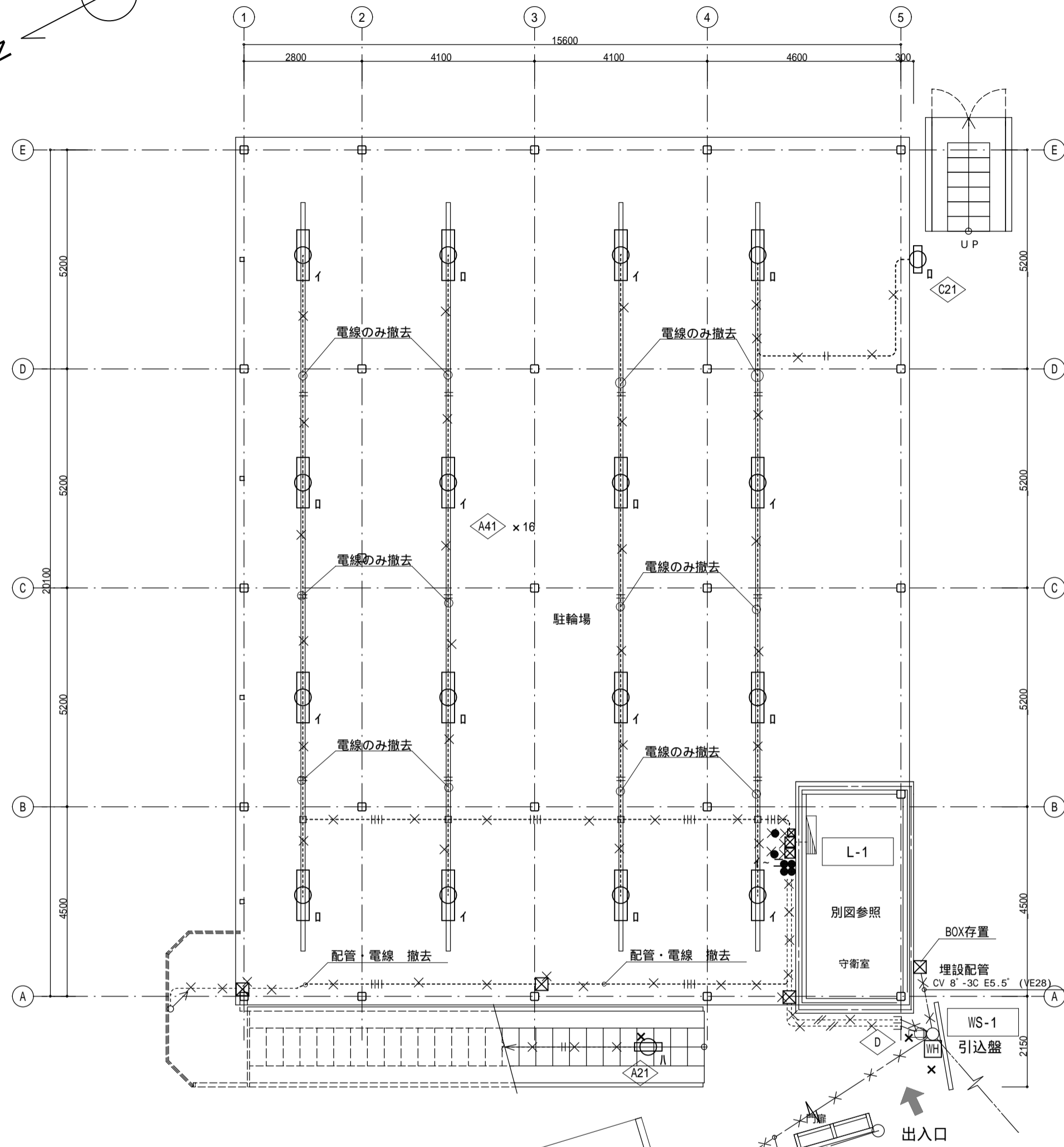
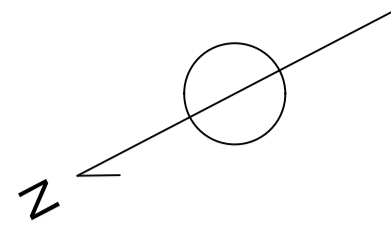
電力 共通	名称	測点	取付高 (mm)	電 話	名称	測点	取付高 (mm)
	取引用計器	地上-上端	2,000			端子盤	床上-上端
引込開閉器	〃	1,800		保安器函	天井下-上端	200	
				壁付位置ボックス	床上-中心	300	
動力	壁掛型制御盤	床上-上端	1,900	拡声、 時計	〃（和室）	〃	150
	手元開閉器	床上-中心	1,500		壁掛スピーカー	天井下-上端	200
	操作スイッチ	〃	1,300		アッテネーター	床上-中心	1,300
電 灯	分電盤	床上-上端	1,900	イン ター ホ ン	壁掛型親時計	床上-上端	1,900
	スイッチ（一般）	床上-中心	1,300		子時計	天井下-上端	200
	〃（身障者便所）	〃	900		壁掛インターホン	床上-中心	1,500
	コンセント（一般）	〃	300		〃（身障者）	〃	1,100
	〃（和室）	〃	150		壁付位置ボックス	〃	300
	〃（台上）	台上-中心	300		〃（和室）	〃	150
	〃（土間）	床上-中心	1,300		機器収納函	天井下-上端	200
	ブラケット（一般）	〃	2,100		直列ユニット	床上-中心	300
〃（踊場）	〃	2,500	〃（和室）	〃	150		
〃（鏡上）	鏡上端-中心	150	テレビ共聴				



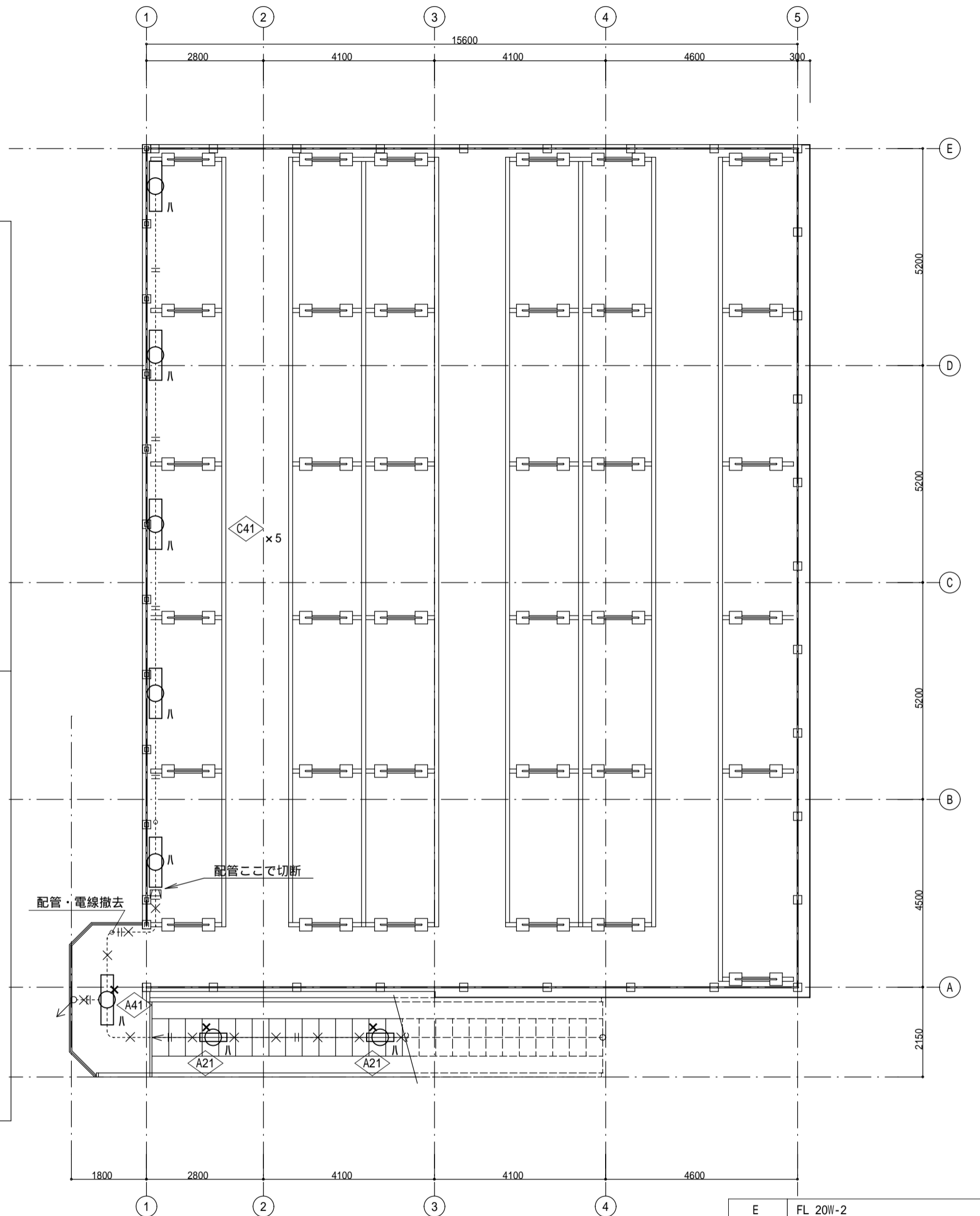
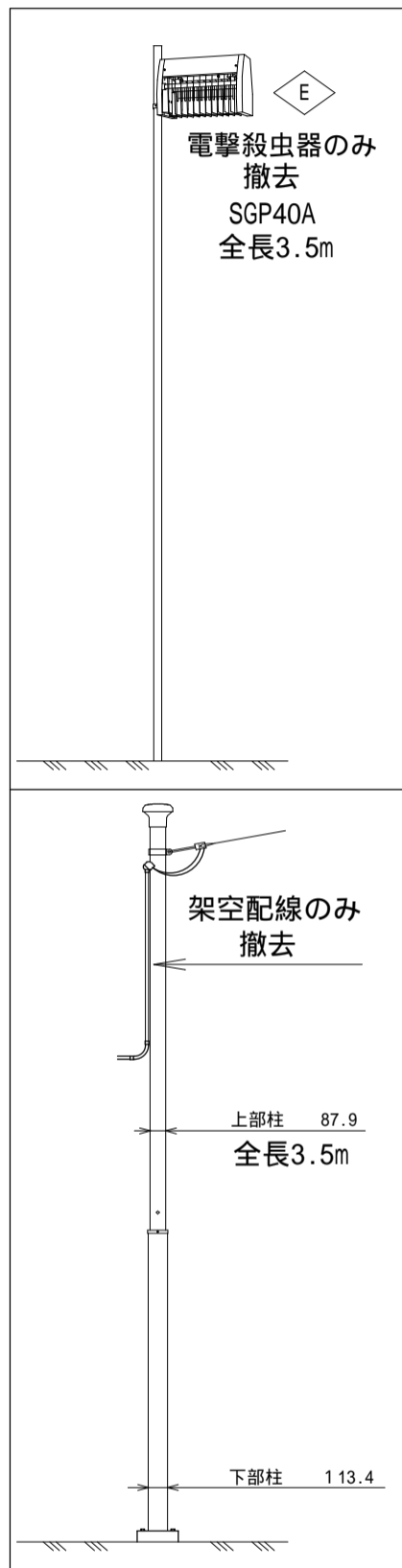
1階平面図 仮設 S : 1/100

照明器具姿図

A21	FL 20W-1	カ'-ド'付	A2	XLW203KENZ LE9	LED 6.0W	770 LM
A41	FL 40W-1	カ'-ド'付		FK22553		
撤去			新設			
B21	撤去	FL 20W-1	カ'-ド'付	B2	NNFW21071K LE9	LED 12.0W 930 LM
撤去			新設			
C21	FL 20W-1		C2	LBF3MP/RP-2-13	LED 14.9W	1480 LM
撤去			新設			
D	屋外灯		D1	防犯灯	公共品番 LBF2RP-10	明るさセンサー無し (スイッチ制御)
撤去			新設			
F21	撤去	FL 20W-1	F2	LSS1-2-15	LED 11.6W	1600 LM
F4	再使用	LSS9-4-48	脱着			
撤去			新設			



1階平面図 S : 1/100



屋上平面図 S : 1/100

記載なき配管配線は、下記に依る。

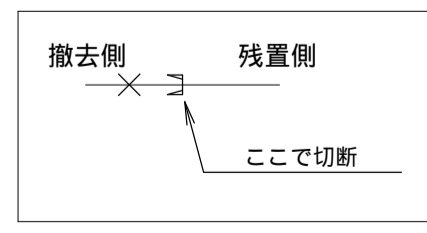
— —	IV 1.6×2	(CP19)	—//—	WF 1.6-2C	(CP19)
— —	IV 1.6×3	(CP19)	—///—	WF 1.6-3C	(CP19)
— —	IV 1.6×4	(CP25)	—////—	WF 1.6-2C×2	(CP25)
— —	IV 1.6×5	(CP25)	—/////—	WF 1.6-2C+3C	(CP25)

凡例

○	電灯盤	
□	電力メーター	
●	壁付スイッチ	1P15A
●L	"	1P 4A 片側付

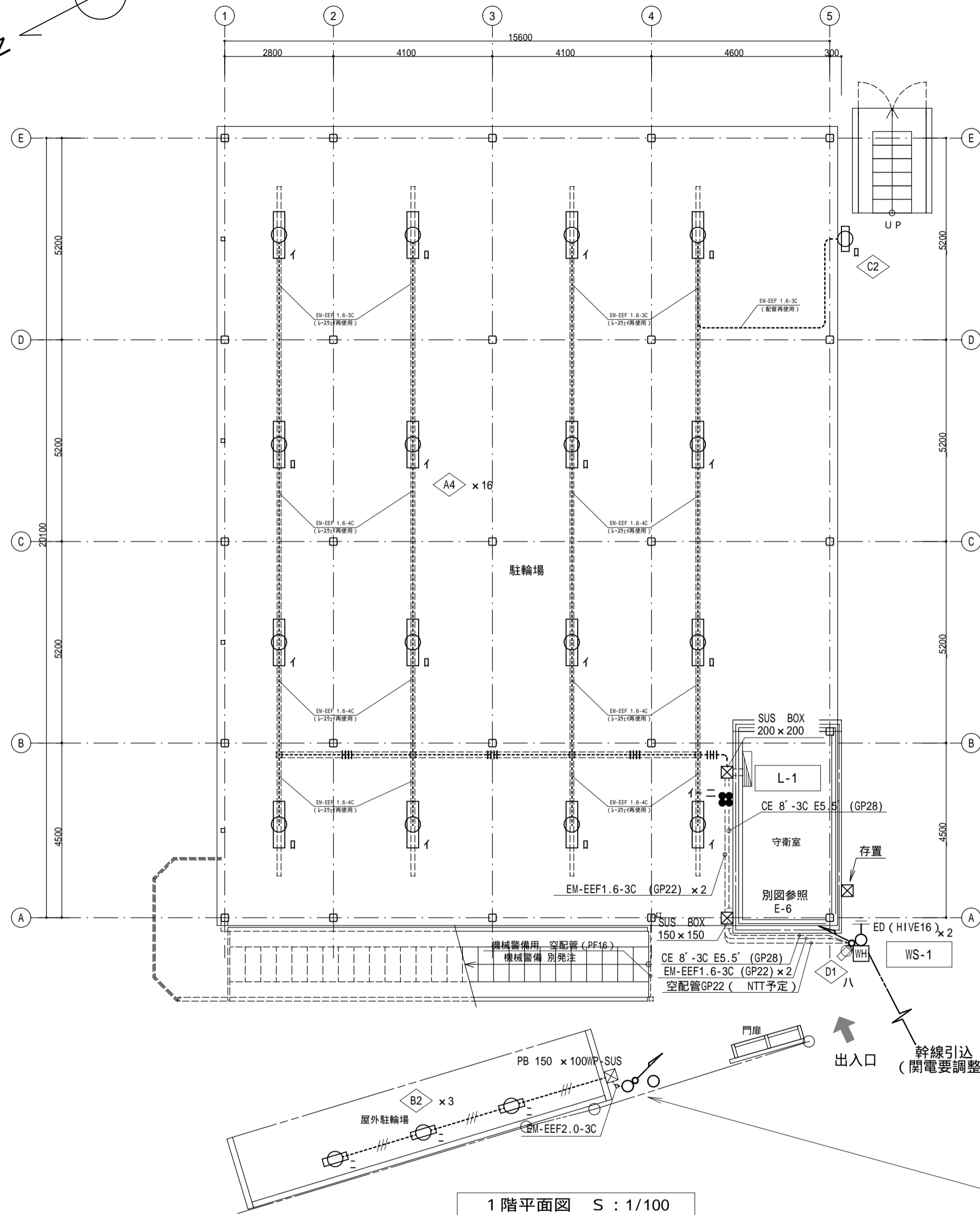
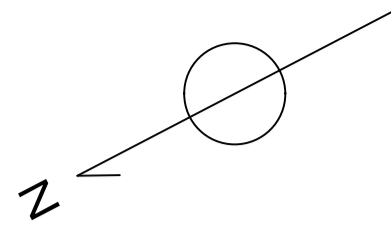
配管・配線

—	露出配管・配線
—	天井・壁いんべい
—	床下配管・配線
—	地中埋設配管・配線
—	架空配線

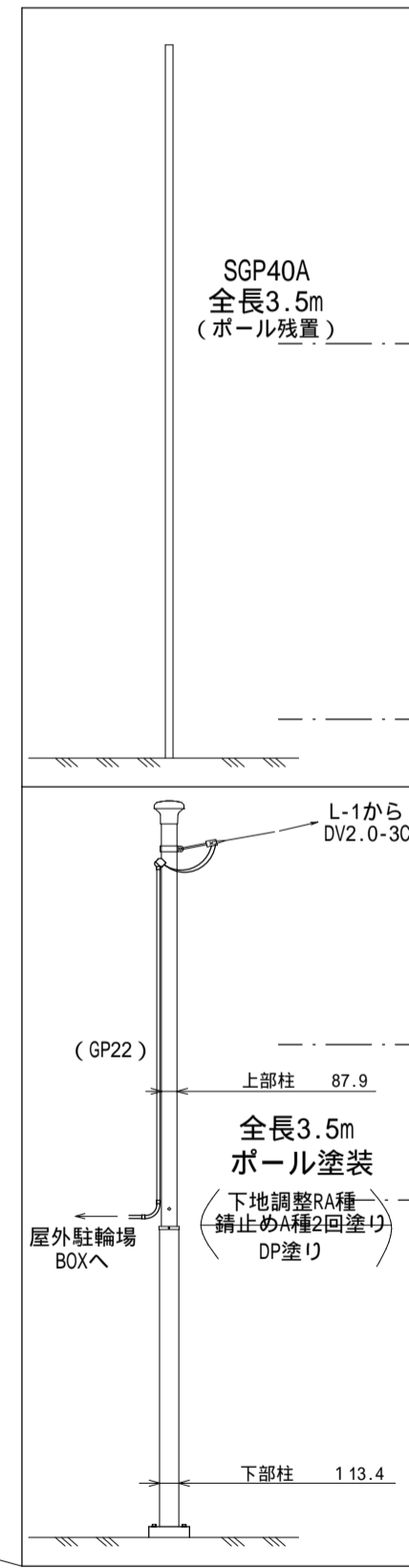


- 印 既設撤去取替
- 印 既設機器一時撤去清掃後再取付
- x印 撤去
- 印 既存のまま

E	FL 20W-2
電撃殺虫器	
撤去	

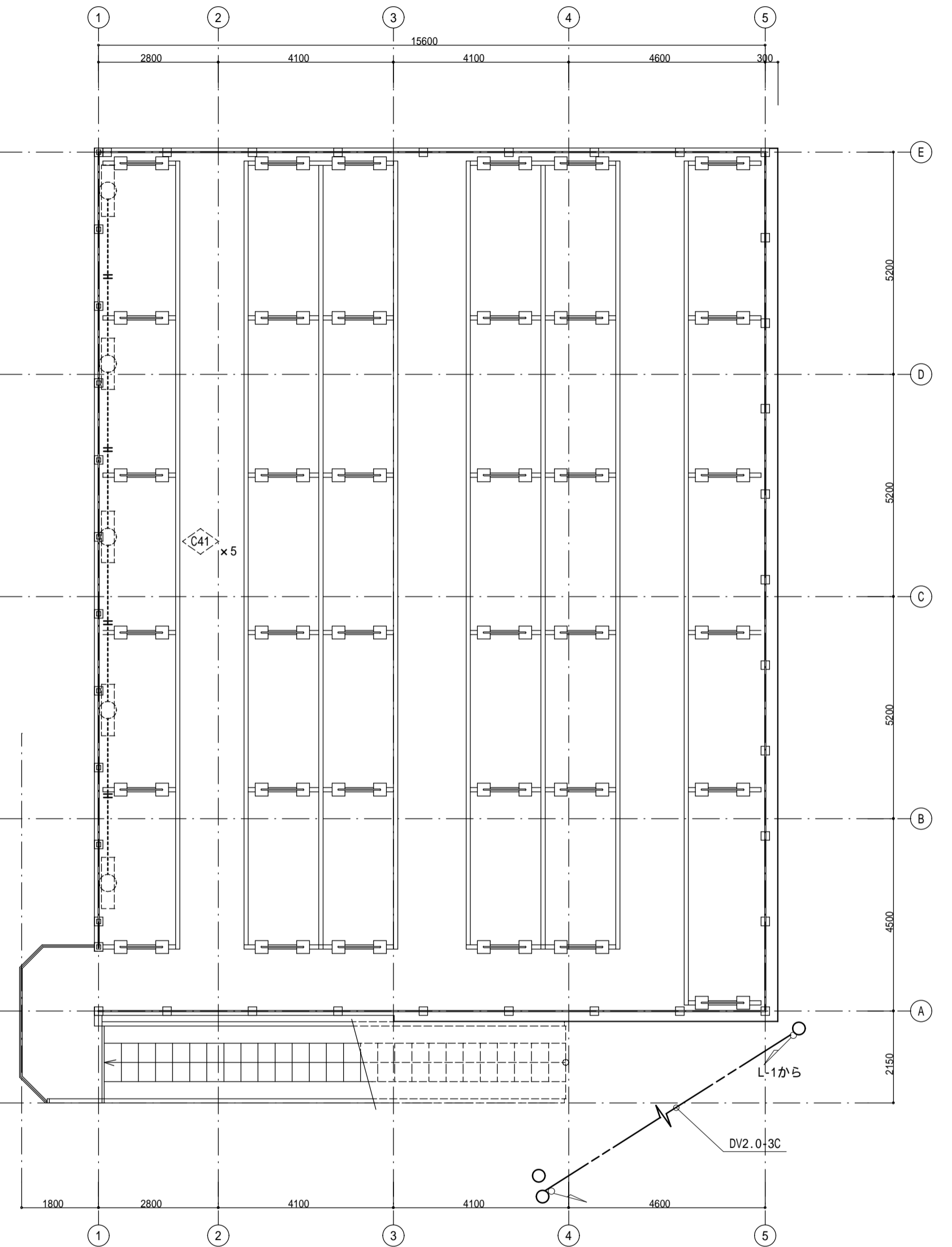


1階平面図 S : 1/100



SGP40A
全長3.5m
(ボール残置)

全長3.5m
ボール塗装
(下地調整RA種
錆止めA種2回塗り
DP塗り)



2階平面図 S : 1/100

配管・配線

凡例	記号	名称	規格
	○	電灯盤	
	WH	電力メーター	
	●	壁付スイッチ	1P15A

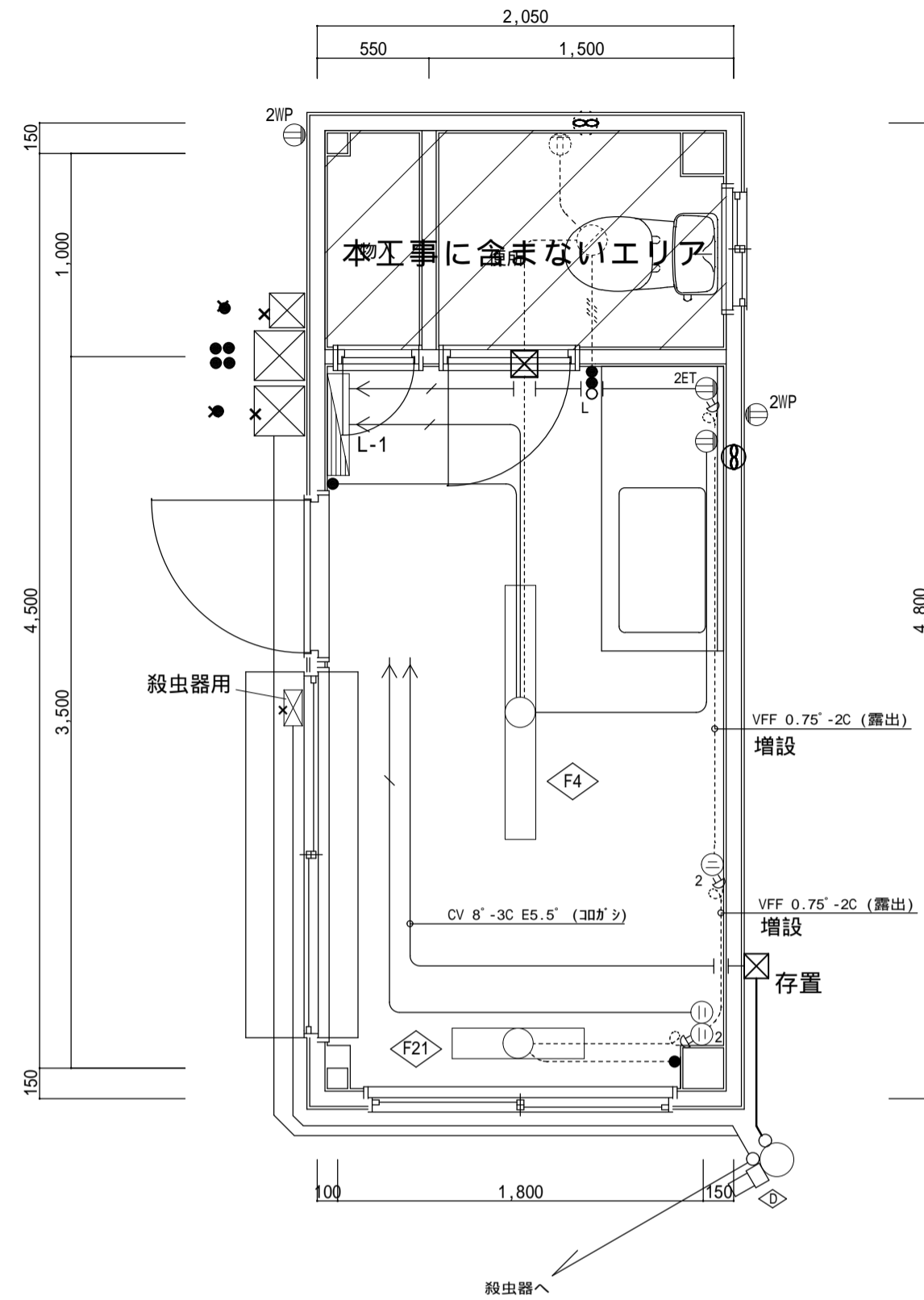
---	露出配管・配線
---	天井・壁いんべい
---	地中埋設配管・配線
---	架空配線

印 既設撤去取替
印 既存のまま

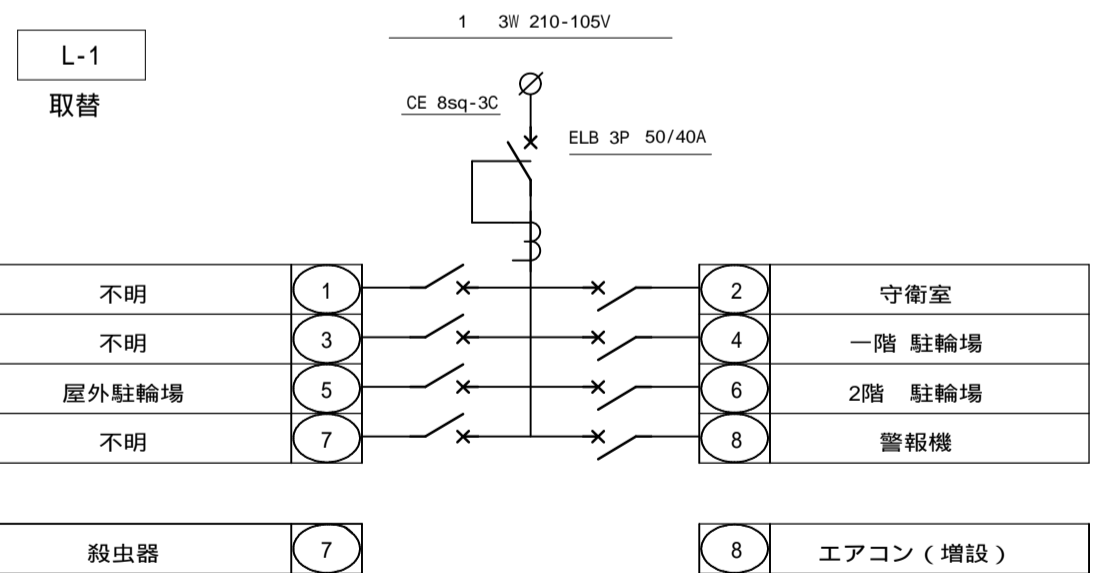
記載なき配管配線は、下記に依る。

---	IE 1.6×2	(GP22)	---	EM-EEF 1.6-2C	(GP22)
---	IE 1.6×3	(GP22)	---	EM-EEF 1.6-3C	(GP22)
---	IE 1.6×4	(GP28)	---	EM-EEF 1.6-2C×2	(GP28)
---	IE 1.6×5	(GP28)	---	EM-EEF 1.6-2C+3C	(GP28)

現状図



守衛室
配管・配線 全て撤去



記載なき配管配線は、下記に依る。

EM-EFF 1.6 - 2C	(PF16)
EM-EFF 1.6 - 3C (1E)	(PF22)
EM-EFF 1.6 - 2C×2	(PF22)
EM-EFF 1.6 - 2C+3C	(PF22)
EM-EFF 1.6 - 3C×2	(PF28)
EM-EFF 1.6 - 2C×2 (1E)	(PF22)
EM-EFF 1.6 - 3C×2 (1E)	(PF28)
EM-EFF 2.0 - 3C (1E)	(PF22)
EM-EFF 2.0 - 3C (1E)	(MM)

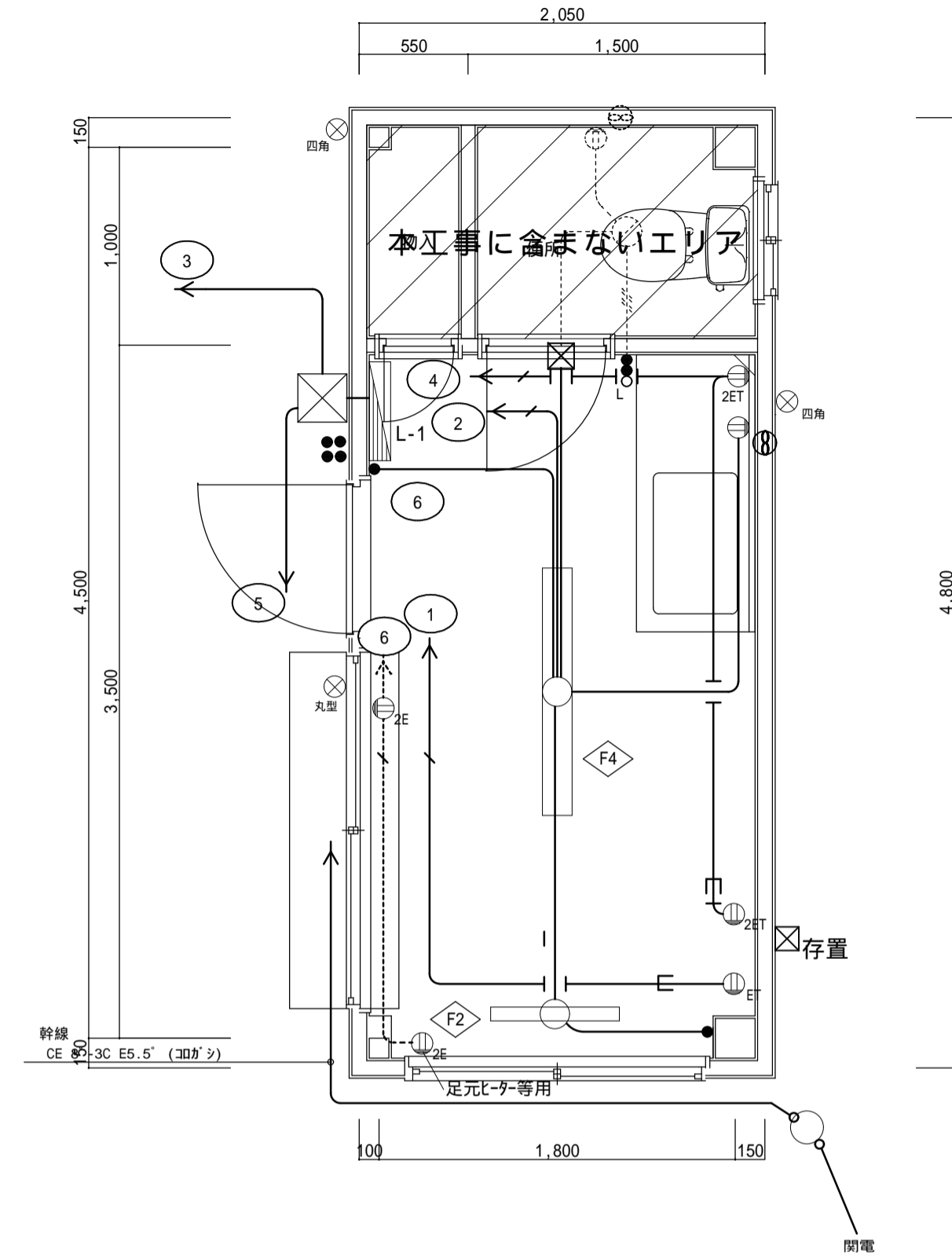
二重天井内はころがし配線とする。

印 既設撤去取替
印 既設機器一時撤去清掃後再取替
×印 撤去
印 既存のまま

凡例

電灯盤	
壁付スイッチ	1P15A ねど無し
ハットランプ	
埋込コンセント	2P 15A×1
"	2P 15A×2
"	2P 15A×1 接地端子付
"	2P 15A×2 接地端子付
"	2P 15A×2 接地極付防雨形
露出コンセント	2P 15A×2
接続ボックス	
機械警備受信機	
ハットセンサー	
カバープレート	丸：丸型形状 四角：四角形状

改修図



守衛室
点検口 2カ所あり (建築対応)
機械警備 別途発注

